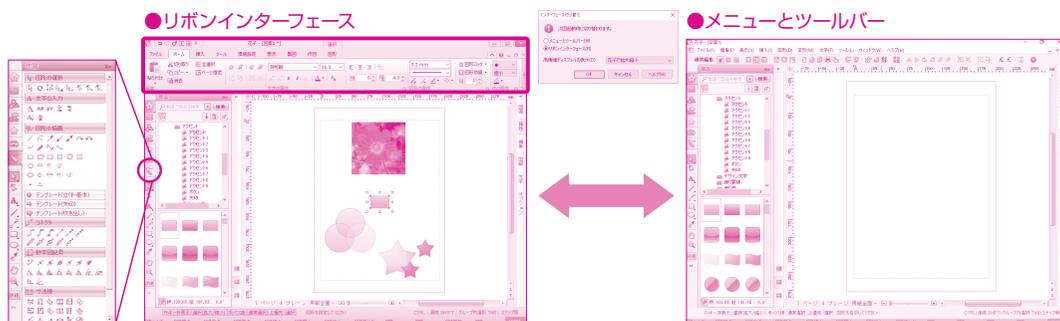


# 花子2021

## インストール方法 基本的な使い方

花子の操作画面には「リボンインターフェース」と「メニューとツールバー」があります。  
[ファイルインターフェース切り替え] を選択して、花子をどちらの画面で使うかを切り替えます。  
※花子を再起動すると、選択した操作画面で表示されます。  
※インストール直後は、リボンインターフェースで表示されます。



※ [作図] に切り替えると、すべての選択・描画ツールが表示されます。

## マニュアルでの表記について

- 本書では、Windows® 10 を使用して説明しています。ご使用のOSによっては、画面表示やOSの操作が一部異なる場合があります。
- お使いのディスプレイによっては、マニュアルの画面と大きさが異なる場合があります。
- お使いの環境によっては、花子の動作が管理されている場合があります。その場合は、設定の変更が禁止されたり設定が統制されたりします。
- 花子の画面には、リボンインターフェースを使用して操作する画面と、ドロップダウンメニュー・ツールボックスを使用して操作する画面があります。本書では、リボンインターフェースを使用して操作する画面で説明しています。ドロップダウンメニュー・ツールボックスでの操作については、ヘルプをご覧ください。
  - ▶ **花子ヘルプキーワード** メニュー対応表
- 画面上に表示されているメニュー名やシート名・項目名などは、[ ] で囲んで表記しています。リボンインターフェースの場合、タブ名も [ ] で囲んで表記しています。
- 画面図内でマウス操作を表す場合、ドラッグの場合には始点に 、終点に  の各マークを付けています。また、クリックの場合には  マークを、ダブルクリックの場合には  マークを付けています。

# 目次

花子でできること・新機能	H-1
花子でできること	H-1
花子の新機能・特長	H-4
インストール	2
花子をインストールする	2
インストールした内容を変更するには	15
花子の画面と操作性の特徴	19
花子の画面について理解する	19
花子の操作画面	19
文字入力カウインドウとサムネイル	23
マルチコンテンツウインドウ	25
クリップウインドウと操作で使うパレット	31
花子の操作性の特徴をつかむ ～絵を描く前に～	36
図形を描く基本操作 -クリックとドラッグ-	36
描画から図形選択への動作	37
思ったとおりの位置に図形を描く／移動するために -グリッドの表示とスナップ-	39
ヘルプと基本操作の学習	40
ヘルプで調べる	40
基本操作を学習する -レッスン花子-	41
花子の使い方	43
基本図形を配置してフロー図を作る	43
部品を活用して簡単な地図を作る	55
花子で描いた図形をほかのアプリケーションで使う	74
索引	79

花子フォトレタッチを使った写真の修整方法についても説明しています。

## ヘルプとWeb上のサポートFAQを活用!



ヘルプの画面から、ヘルプとWeb上のサポートFAQを同時に検索できます。

① 質問文を入力  
質問や、やりたいことを自分のことばで入力します。

② ヘルプ・WebFAQ一括検索 をクリック  
ヘルプとWeb上のサポートFAQから、関連するトピックが検索されます。

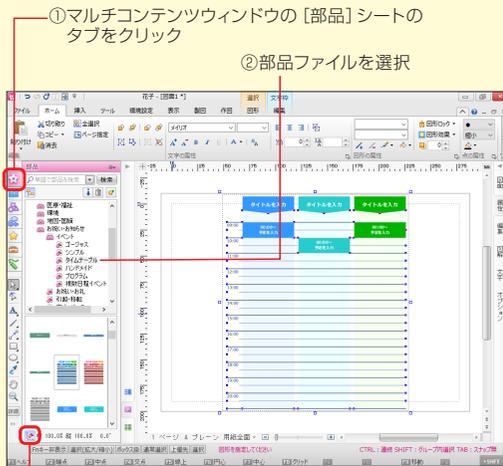
※検索された内容の末尾には、アンケートが付いて表示されます。  
ヘルプやサポートFAQの内容をよりよいものにしていくために、アンケートにご協力ください。

ヘルプ・WebFAQ一括検索の使い方について詳しくは ▶ P.40





## ● 部品の呼び出しは簡単



部品を呼び出す際の大きさ・傾きを、図面上で拡大縮小や回転した部品と同じにする(オン:初期値)か、登録されているとおりにする(オフ)をクリックして切り替えます。

## ● 部品を呼び出すときはキーワードで検索

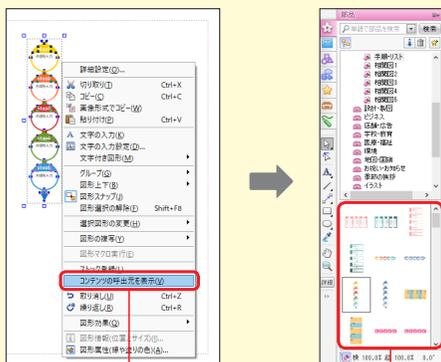


部品上で右クリックして「ファイルを開く」を選択すると、選択した部品のある部品ファイルが開く

## ● 呼び出し元を表示

図面で使われている部品が登録されている部品ファイルを、[部品] シートの一覧に表示できます。似た絵柄や同じジャンルの部品を探すときに便利です。

※画像ファイル(イメージ)の場合も同様に、画像ファイルがあるフォルダーの一覧を表示できます。



図面の部品上で右クリックし、「コンテキストの呼び出し元を表示」を選択

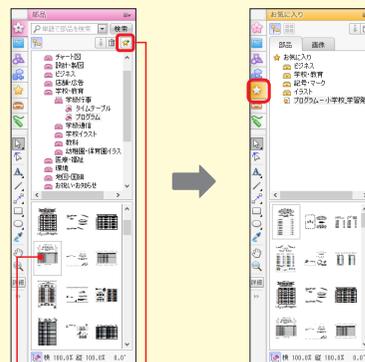
[部品] シートに、登録されている部品ファイルの一覧が表示される

## ● よく使う部品は「お気に入り」に追加

よく使う部品は「お気に入り」に登録して集めておくことができます。

※画像ファイル(イメージ)の場合も同様に、「お気に入り」に追加できます。

▶ P.28 ★ポイント よく使用する部品や画像をお気に入りに追加する





# 花子の新機能・特長

花子2021で追加、または強化された機能について紹介します。▶ [花子ヘルプキーワード](#) 新機能

## 情報へのアクセスをスムーズに —QRコード— **New!**

近年、身近なものでもよく見かけるQRコードを、簡単な操作で作成して挿入できるようになりました。花子が得意なポスターやチラシにQRコードを挿入することで、Webページなどにある、より多くの情報へとスムーズに案内することができます。

※お使いのプリンター・用紙によっては、QRコードが正しく読み取れない場合があります。

※リボンのメニューでは [挿入] タブの [QRコード] を選択します。

指定したURLや文章からQRコードを生成

QRコードの読み取りに対応した携帯端末などから情報へアクセス

## 文を読みやすく美しく ～初期フォントの変更～ **UP↑**

花子の初期フォントを、表示品質の高い、Windows標準フォント「游明朝」「游ゴシック」に変更しました。高解像度ディスプレイでも見やすく、初期設定の書体のままでも、きれいなタイトルや本文などで図面を仕上げられます。

※旧バージョンで作成した図面ファイルのフォントは変わりません。図面を保存したときの設定が維持されます。

●花子2020までの初期フォント

はなハナ花華  
はなハナ花華  
Hanako2021



●花子2021の初期フォント

はなハナ花華  
はなハナ花華  
Hanako2021

## 学校行事やイベントで すぐに活用! 実用品 **UP↑**

イラスト部品に加え、学校行事やイベントなどで利用されることが多いアイテムを部品化しました。デザインされたタイトルや項目枠を、用途に応じた内容に置き換えて仕上げます。

また、ご当地ピクトグラムも新登場。ポスターやチラシだけでなくとどまらず、学校行事・イベント開催に必要な物作りを幅広く支援します。

※マルチコンテンツウインドウ [部品] タブの [チャート図]、[学校・教育—学級行事]、[お祝い・お知らせイベント]、[マーカーご当地ピクトグラム]、[表] 以下の部品ファイルから選択します。

### ●プログラム



### ●タイムテーブル



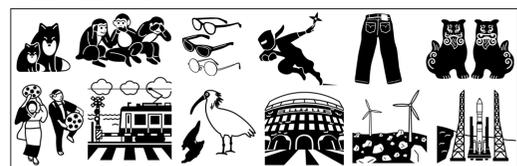
### ●ランキング表



### ●チャート図



### ●ご当地ピクトグラム





# 花子をインストールする

## インストール前に確認してください

インストールする前に、次の点について確認してください。

### 1. パソコンの動作環境 …> P.3

インストールするパソコンに、必要な空き容量やメモリがあるかなどを確認します。

### 2. シリアルナンバー・User IDの確認 …> P.3

インストールする前に、本製品のシリアルナンバーやジャストシステムのUser IDを用意しておきます。インストールするときに、シリアルナンバーやUser IDが必要です。

### 3. ジャストシステム製品をお持ちの場合

#### ◆旧バージョンの花子をお持ちの場合 …> P.4

旧バージョンの花子をお持ちの方は、必ずご確認ください。

#### ◆その他のジャストシステム製品をお持ちの場合 …> P.5

花子以外のジャストシステム製品をお持ちの方は、必ずご確認ください。

### 4. インストールを始める …> P.7

以上の確認が終わったら、本製品のインストールを始めます。

#### ★ポイント 花子の動作に関わる設定について

花子の描画・編集操作は、初期値の設定によって動作や結果が変わります。  
インストールが終わったら、花子で操作を始める前に、花子の操作性の特徴を確認しておきます。

▶ P.36 花子の操作性の特徴をつかむ ～絵を描く前に～

## 動作環境

OS	Windows 10 <sup>*1</sup> / Windows 8.1 各日本語版が正しく動作するパソコン *1 Windows 10では、下記エディションで動作します。 Windows 10 Home / Pro / Enterprise / Education ※64ビット版Windowsでは、32ビット互換モード(WOW64)で動作します。 ※デスクトップ上で動作します。 Windows 10では、デスクトップモードでの利用を推奨します。
ハードディスク 必要容量	1.3GB以上 ※お使いのハードディスクのフォーマット形式や確保容量などにより、必要容量は異なります。

- 本製品は同一ユーザーの使用するパソコン3台までインストールできます。ただし、同時に使用できません。
- 高精細ディスプレイ対応は、リボンインターフェース画面でのみ行っています。  
メニューとツールバー画面では、一部制限があります。
- 花子2021は、TWIN32ドライバー対応のデジタルカメラ、スキャナーまたはWintab仕様の筆圧タブレットからの入力に対応しています。
- 「JUST オンラインアップデート」を利用するには、インターネット常時接続環境が必要です。
- 64ビット版Windowsのデスクトップ検索機能では、花子図面の内容は検索できません。

## シリアルナンバー・User IDの確認

花子2021をインストールするときに、花子2021のシリアルナンバーやジャストシステムのUser IDを入力する画面が表示されます。▶ P.9 操作 **4** シリアルナンバー・User IDを入力する

お手元に購入後にメールでお知らせした18桁のシリアルナンバーを用意してください。シリアルナンバーを入力しないと、インストールを先に進められません。

また、今までにジャストシステム製品のユーザー登録をしたことがあり、User IDをお持ちの方は、お手元に10桁のUser IDも用意してください。優待版の場合は、User IDを入力しないとインストールを先に進められません。あとからUser IDを入力しなおすこともできます。

▶ P.15 **★ポイント** 使用者名を設定・変更する、User IDを入力しなおす

※J-Licenseの場合、シリアルナンバーやUser IDを入力する画面は表示されません。

### ? 困った インストールしたヘルプが表示されない

本製品の一部のヘルプは、Windowsヘルプ形式のヘルプになっています。Windowsヘルプ形式のヘルプは表示できないため、警告画面が表示されます。

※Windows 8.1では、警告画面の案内に従って、マイクロソフト社のホームページからモジュールをダウンロードすると、この形式のヘルプを表示することができます。

※Windows 10では、マイクロソフト社でのモジュールダウンロードの案内がなく(2020年12月時点)、この形式のヘルプを表示することができません。

## 旧バージョンの花子をお持ちの場合

### ★ポイント 旧バージョンの花子(花子9以降)をお持ちの方へ

旧バージョンの花子を削除する必要はありません。本製品と同じパソコンでお使いいただけます。旧バージョンの花子が不要な場合は、本製品のインストール途中やインストール後に削除することもできます。なお、インストール途中で削除できるのは、花子2020/2019/2018です。▶P.11 操作 6 旧バージョンの削除を確認する  
※お使いのOSで動作保証されていない旧バージョンをインストールしている場合は、本製品を安定してお使いいただくために、あらかじめ旧バージョンを削除してから本製品をインストールすることをお勧めします。

### ★ポイント 優待版の花子をお持ちの方へ

新しいパソコンに優待版の花子2021をインストールする場合でも、先に旧バージョンの花子をインストールしておく必要はありません。新しいパソコンにそのまま本製品をインストールしてください。  
※優待版は、インストールの操作途中で、User IDの入力が必要になります。

- 花子2009以前の花子は、Windows 8.1では動作保証されていません。
- 花子2012以前の花子は、Windows 10では動作保証されていません。

## 旧バージョンの花子の削除

旧バージョンの花子を削除しても、作成した図面や部品は残ります。▶[花子ヘルプキーワード](#) 旧バージョン

### ● 花子コンテンツ

本製品をインストールすると、旧バージョンの花子コンテンツ(事例・画像サンプル)は最新の内容に更新されます。

#### 旧バージョンの花子を削除するには

本製品の操作と同様に、コントロールパネルのプログラムのアンインストールで製品を選択して削除します。

▶P.16 花子を削除(アンインストール)する  
なお、花子2011・花子2010の場合は、[花子コンテンツ]も選択して削除します。

## 旧バージョンの花子のデータ

### ● 図面ファイル

花子9以降の花子、花子Ver.3.1で作成した図面は、そのまま本製品で利用できます。

※お使いのパソコンで、図面を保存しているフロッピーディスクなどが扱えない場合は、図面を読み込めません。

※花子2021で初期フォントが変更されましたが、旧バージョンで作成した図面ファイルのフォントは変わりません。図面を保存したときの設定が維持されます。

### ● 部品ファイル

そのまま呼び出して利用できます。

ただし、花子10以前の部品ファイルで呼び出し以外の操作を行う場合は、最新の部品ファイル形式(\*.PTM)に変換されます。

その他のファイルや他社製品データの読み込みなどの互換について詳しくはヘルプをご覧ください。

▶[花子ヘルプキーワード](#) 互換

### ★ポイント 花子部品をデジビューで確認できるようにするには

デジビューに花子部品ファイルを登録する必要があります。[環境設定]タブの[引き継ぎ/拡張機能]をクリックし、[デジビュー起動]を選択してデジビューを起動します。デジビューが起動したら、[挿入-部品]または[ツール-フォルダ-部品ファイルの検索]を使って登録します。▶[花子ヘルプキーワード](#) デジビュー

## 旧バージョンの花子の設定

- **[オプション]や[画面表示の設定]などの設定**  
花子2004以降の場合、一部の内容は自動的に花子2021に引き継がれます。  
引き継がれる内容について、詳しくはヘルプをご覧ください。▶[\[花子ヘルプキーワード\]](#) 互換
- **メニュー・ツールボックスの設定**  
花子2004以降の場合、設定を引き継ぎます。  
[ツール-拡張機能-登録ファイルの引き継ぎ]を使用します。  
ツールボックスについては、メニューとツールバーのインターフェースに切り替えて、初めて花子2021を起動した際に引き継ぐことができます。  
操作について詳しくは、ヘルプをご覧ください。  
※引き継ぎできるのは、花子をメニューとツールバーのインターフェースに切り替えている場合です。初期設定はリボンインターフェースのため、引き継ぎはできません。  
メニューとツールバーのインターフェースに切り替える方法については、P.19 花子の操作画面をご覧ください。  
▶[\[花子ヘルプキーワード\]](#) 登録ファイル

- **キーの設定、[ストック] / [お気に入り]の内容**  
それぞれ、次のバージョンの花子から設定やデータを引き継ぎます。  
操作について詳しくは、ヘルプをご覧ください。
- **キーの設定: 花子2004以降**  
[環境設定]タブの[引き継ぎ/拡張機能]をクリックし、[キーコンバータ]を選択します。  
▶[\[花子ヘルプキーワード\]](#) 登録ファイル
- **[ストック]の内容: 花子2004以降**  
[環境設定]タブの[引き継ぎ/拡張機能]をクリックし、[ストックコンバータ]を選択します。  
▶[\[花子ヘルプキーワード\]](#) 登録ファイル
- **[お気に入り]の内容: 花子2010以降**  
[環境設定]タブの[引き継ぎ/拡張機能]をクリックし、[お気に入りコンバータ]を選択します。  
▶[\[花子ヘルプキーワード\]](#) お気に入り-コンバート

## その他のジャストシステム製品をお持ちの場合

### 花子Pro／花子Policeシリーズをお持ちの場合

同じ世代の花子Pro・花子Policeと花子は、同じパソコンでは利用できません。  
花子Proまたは花子Policeがインストールされていると、同じ世代の花子のインストールを開始しても、インストールを続けることはできません。  
花子をインストールする場合は、先に同じ世代の花子Proまたは花子Policeを削除してください。  
なお、異なる世代の花子Pro・花子Policeと花子は、同じパソコンで利用できます。例えば花子2021の場合、花子Pro 4・花子Police 6と同じパソコンで利用できます。

- **花子Pro／花子Policeシリーズのデータ・設定**  
花子Proや花子Policeシリーズで作成した図面ファイル・部品ファイルは、花子2021でもそのまま利用できます。  
花子Pro・花子Policeシリーズの各種設定も、花子2018などと同様に、花子2021に引き継ぐことができます。

## 花子フォトレタッチシリーズをお持ちの場合

- **花子フォトレタッチ2・花子フォトレタッチ・花子フォトレタッチミニ・デジビュー**  
本製品をインストールすると、ハードディスクにインストールされていた次のアプリケーションは自動的に更新されます。

更新対象のアプリケーション

花子フォトレタッチ2	→	最新の
花子フォトレタッチ	→	花子フォトレタッチ3
花子フォトレタッチミニ	→	
デジビュー	→	デジビュー2.0

旧バージョンの花子フォトレタッチで作成した画像ファイル(\*.JMG) や部品ファイル(\*.DLB) は、そのまま最新の花子フォトレタッチ3で使用できます。

弊社製品・他社製品との互換について詳しくはヘルプをご覧ください。

▶ [花子ヘルプキーワード](#) 付録-データのやりとりと互換

- **花子フォトレタッチ2**  
本製品をインストールしても、花子フォトレタッチ3で追加・更新されたスタンプローラーの設定や任意タイル登録ファイルはコピーされません。新しいスタンプローラーや任意タイル登録ファイルを使う方法については、本製品をダウンロードし、解凍して作成されたフォルダー内のHANAKO¥DATAフォルダーにあるREADME.TXTをご覧ください。
- **花子フォトレタッチ3**  
本製品には、最新の「花子フォトレタッチ3」が搭載されています。  
本製品をインストールすると、従来の花子フォトレタッチ3は更新され、最新のものになります。

## 写真スタジオ・文字スタジオをお持ちの場合

写真スタジオ・文字スタジオがある環境に本製品をインストールすると、関連づけが変更されて、花子フォトレタッチ・JSフォントエフェクトツールが起動するようになります。

### 写真スタジオ・文字スタジオが起動するようにする

「JustSystems ツール&ユーティリティ」の画面を表示し、[商品共通]から[画像レタッチ関連づけツール/フォントエフェクト関連づけツール]を選択します。各ツールのアプリケーションを選択する画面でそれぞれ[写真スタジオ]・[文字スタジオ]を選択します。

▶ **P.15** ★ポイント 「JustSystems ツール&ユーティリティ」の画面を表示する

### ★ポイント ジャストシステム製品が複数ある場合のインストール順について

- すでにジャストシステム製品をインストールしてお使いの場合  
そのまま本製品をインストールしてください。
- すでにお持ちのジャストシステム製品と本製品を新しいパソコンにインストールする場合  
発売日の古い製品から順にインストールしてください。ただし、製品によっては、お使いのOSでは使用できない場合があります。対応OSをご確認のうえ、必要なアプリケーションだけをインストールしてください。

# インストールを始める

花子2021をインストールします。

購入手続きが完了した販売サイトから、花子2021のプログラムをダウンロードしておいてください。

ダウンロードしたファイルを解凍し、花子のインストールをスタートします。

※同一ユーザーが使用するパソコン3台までインストールできます。ただし、同時に使用できません。

## 1 インストールを始める準備をする

1. パソコンを再起動します。
2. 花子を使用するユーザーでサインインします。

### インストールに必要なアカウントの種類

「管理者」のユーザーアカウントが必要です。管理者アカウント以外でサインインしている場合は、インストールの途中で、管理者アカウントのパスワード、ユーザー名やメールアドレスを入力する画面が表示される場合があります。

### 管理者アカウントとは

Windowsのすべての機能を使えるユーザーのことです。アカウントの種類を確認するときは、コントロールパネルの「ユーザー アカウント」\*1 を選択します。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

\*1 お使いのOSによっては項目が異なる場合があります。

3. 自動的に起動したアプリケーションがあれば、すべて終了します。

インストール途中で、スクリーンセーバーが起動したり、モニターやハードディスクの電源が切れたりしないように、待ち時間や電源設定を調整してください。

## 2 インストールプログラムを起動する

1. ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
2. [インストール先]に、ファイルを解凍するフォルダーを設定します。  
参照 をクリックしてフォルダーを選択するほか、入力欄に直接入力できます。
3. **インストール** をクリックします。

ダウンロードしたファイルが解凍され、操作2.で指定したフォルダーの下に、インストールのための環境が展開されます。解凍が完了すると、インストールを始める画面が表示されます。

※インストールを始める画面が表示されない場合は、P.7

「★ポイント インストールを始める画面を表示する」の操作を行ってインストールを始める画面を表示し、P.8 操作 **2-4.**に進みます。

### ★ポイント インストールを始める画面を表示する

1. 画面下部のタスクバーにある  [エクスプローラー] をクリックします。
2. インストール先に指定したフォルダーの下に作成された「hanako2021」フォルダーを選択し、画面右側に表示される「HANAKO」フォルダーをダブルクリックします。
3. 画面右側の「AUTOPLAY(.EXE)」をダブルクリックします。

#### 4. 花子2021のインストール をクリックします。

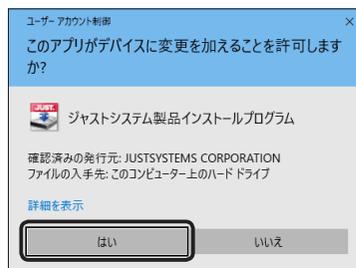


[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、操作 **2** -**5** に進みます。インストールプログラムが起動した場合は、P.9の操作 **3** に進みます。

#### インストールを始める画面に並ぶボタンについて

- SVGビューアプラグインのインストール**  
 SVGビューアプラグインをインストールします。花子の図面をSVG形式で保存した場合に、保存したデータを見るために必要です。  
 ※SVG (Scalable Vector Graphics) 形式は、ベクトル図形のインターネット標準フォーマットです。  
 ▶ [「花子ヘルプキーワード」 SVG](#)
- インストールで困ったら**  
 インストールでトラブルが発生したときの解決方法などを調べることができます。

#### 5. はい をクリックします。



※お使いの環境により、表示される画面が異なる場合があります。

#### 管理者アカウント以外でサインインしている場合

管理者アカウントのパスワードを入力し、**はい** をクリックします。必要に応じて、ユーザー名やメールアドレスを入力します。

▶ P.7 管理者アカウントとは



※お使いの環境により、表示される画面が異なる場合があります。

インストールプログラムが起動します。

※インストールは中止しないで、できるだけ最後まで進めてください。

#### ？困った インストールを始めるボタンをクリックしてもインストールが進まない

インストールプログラムを終了して、Windowsを再起動してからもう一度インストールを始めてください。そのほかの対処方法については、インストールを始める画面で [「インストールで困ったら」](#) をクリックし、次のヘルプをご覧ください。

▶ [「インストールで困ったら」](#) インストールを始めるボタンをクリックしてもインストールが進まない

#### ？困った 「お使いのOSには対応していません」と表示されてインストールできない

Windows 7に本製品をインストールすることはできません。

### 3 使用許諾契約を確認する

1. 使用許諾契約書をよく読んで、**同意する** をクリックします。



※J-Licenseの場合は、**確認して次へ** をクリックします。

### 4 シリアルナンバー・User IDを入力する

1. [シリアルナンバー]・[User ID]を入力して、**次へ** をクリックします。



※J-Licenseの場合は、この画面は表示されません。

シリアルナンバーの欄には、購入後にメールでお知らせした18桁の数字を入力してください。  
シリアルナンバーを入力しないと、インストールを先に進められません。

▶ P.3 シリアルナンバー・User IDの確認

#### ●優待版の場合

User IDが必要になるので用意してください。User IDを入力しないとインストールを先に進められません。

**！ 注意** **すでにUser IDをお持ちの方は、[User ID]の欄に10桁の数字を必ず入力してください**

ジャストシステム製品のユーザー登録をすると、User IDが発行されます。  
優待版の場合は、User IDを入力しないと、インストールを先に進められません。

▶ P.3 シリアルナンバー・User IDの確認

## 5 インストールを開始する

インストールを開始します。

インストールするフォルダーを変更する場合は、先にフォルダーを設定します。

▶ P.11 ★ポイント インストールするドライブやフォルダーを自分で決めたい

削除の対象となる製品がインストールされている場合は、インストール開始後に、削除を確認する画面が表示されます。

▶ P.11 操作 6 旧バージョンの削除を確認する

### 1. インストール開始 をクリックします。



インストールするフォルダーの空き容量がチェックされ、インストールが始まります。

インストールにはしばらく時間がかかります。

#### インストールするフォルダーについて

それぞれ次のフォルダーへインストールされます。

- ・花子などのプログラム
  - ¥Program Files (x86)\*1 ¥JustSystems
- ・部品などのデータ
  - ¥JUST

すでにジャストシステム製品がインストールされている場合は、ジャストシステム製品と同じフォルダーへインストールされます。

- ・¥Program Files (x86)\*1 ¥Justsystem
- ・¥JUST
- など

\*1 「¥Program Files」の場合もあります。

#### 旧バージョンの花子をお持ちの方へ

花子2021では、花子コンテンツ(事例・画像サンプル)は、花子のプログラムといっしょにインストールします。

※花子2008以降では、サンプルの利用方法を選択することはできません。すべてハードディスクにインストールして使用します。

#### ? 困った 空き領域の不足を知らせる画面が表示された

花子をインストールするために必要なハードディスク容量が不足しています。ハードディスクの不要なファイルを削除して空き容量を増やしてからインストールしてください。

#### ? 困った アプリケーションが起動中のため、インストールを続行できないというメッセージが表示された

一太郎などのジャストシステム製アプリケーション、またはブラウザなどが起動しています。メッセージに表示されているアプリケーションを終了し、インストールを継続してください。

アプリケーションやブラウザが起動していない場合は、**再試行** を何回か (5~10回) クリックして継続してください。継続できない場合は、ジャストシステム製以外のアプリケーションを終了し、常駐プログラムも解除・終了して、もう一度インストールを始めてください。

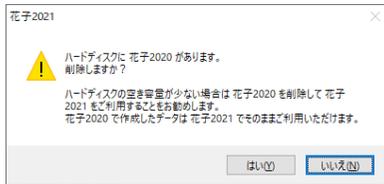
▼削除の対象となる製品がインストールされていない場合は  
6は表示されず、インストールがすぐに始まります。

## 6 旧バージョンの削除を確認する

### 1. 旧バージョンの花子を削除するかしないかを選択します。

※プログラムを削除しても、作ったデータは残ります。

花子2020の場合



#### 削除の対象となる製品

花子2020 / 2019 / 2018

※上記以外の旧バージョンの花子は、別途削除します。

▶ P.4 旧バージョンの花子を削除するには

## 7 インストールを終了する

### 1. インストールの完了を確認する画面が表示されたら、終了するをクリックします。



以上で、花子のインストールは終了です。

※再起動を確認する画面が表示されたときは、はいをクリックして、Windowsを再起動します。

インストール後に機能を削除したり、User IDや使用者名を設定したりすることもできます。

▶ P.15 インストールした内容を変更するには

#### ★ポイント インストールするドライブやフォルダーを自分で決めたい

P.10の操作 5-1の [インストール開始] 画面で、[インストールするフォルダーの設定] をクリックします。[インストールするフォルダーの設定] 画面が表示されるので、変更をクリックして、インストールするフォルダーを設定します。ほかのジャストシステム製品がインストールされている場合、ここで変更できるのは新しく作成されるフォルダーだけです。ジャストシステム共通ファイルなどは、今までと同じフォルダーにインストールされます。

#### ！注意 フォルダーを自分で決める場合、次のフォルダーへはインストールしないでください

- 他社製品がインストールされたフォルダー
- Windowsが作成したフォルダー (Windows、System32、System、SysWOW64 など)
- 64ビット版Windowsを使用している場合  
初期設定では\*Program Files (x86)が表示されます。これを\*Program Filesに変更しないでください。

#### ！注意 ダウンロードしたプログラムは大切に保管してください

ダウンロードし、解凍して作成されたフォルダーは、再度インストールする際に必要です。

# 花子の起動を確認する・ユーザー登録をする

## 1 花子をスタート(起動)する

### 1. デスクトップ画面の [花子2021] をダブルクリックします。\*1

\*1 J-Licenseの場合は、デスクトップ画面にアイコンは表示されません。

[ユーザー登録]の画面が表示されます。

\*J-Licenseの場合は、[ユーザー登録]の画面は表示されません。すぐに花子が起動し、起動ガイダンスメニューが表示されます。

▶ P.13 操作 **3** 画面の作成方法を選択する

Windowsを複数のユーザーで利用する設定にしているとき花子をインストールしたときは異なるユーザーでWindowsにサインインすると、花子が起動する前に、[使用者名の入力]ダイアログボックスが表示されます。使用者名を入力し、**OK** をクリックしてください。使用者名を変更する方法については、P.15をご覧ください。

#### ★ポイント 花子フォトレタッチを起動する

花子をインストールすると、花子フォトレタッチ3もインストールされます。デスクトップ画面にある  [花子フォトレタッチ3] をダブルクリックして起動します。  
\*J-Licenseの場合は、デスクトップ画面にアイコンは表示されません。

## 2 ユーザー登録をする

\*製品種類によっては、画面に表示される説明が異なります。ユーザー登録が完了している場合は、説明を読んで、操作 **2** -3へ進みます。

#### ★ポイント あとでユーザー登録する・登録内容を照会する

デスクトップ画面の  [JSユーザー登録・確認] をダブルクリックして表示される画面で、**登録へ** や **照会ページへ** をクリックします。

\*J-Licenseの場合は、デスクトップ画面にJSユーザー登録・確認のアイコンは表示されません。

### 1. **登録へ** をクリックします。



次回起動時からこの画面を表示しないときはクリックしてオンにする  
通常使っているブラウザが起動し、ユーザー登録のWebページが表示されます。  
画面に従って操作を進め、ユーザー登録をします。

●ユーザー登録は製品ごとに必要です。

### 2. ユーザー登録が完了したら、ブラウザ画面の [閉じる] をクリックしてブラウザを終了します。

[ユーザー登録]の画面に戻ります。

### 3. [ユーザー登録]の画面にある **閉じる** をクリックします。

次回からこの画面を表示しないようにする

**閉じる** をクリックする前に、[ユーザー登録]の画面にある [次回起動時から表示しない] をクリックしてオンにします。

[初期設定フォント変更]ダイアログボックスが表示されます。

### 4. 変更内容を確認し、**OK** をクリックします。

起動ガイダンスメニューが表示されます。

▶ P.13 起動ガイダンスメニューについて

### 3 図面の作成方法を選択する

1. メニューから、図面の作成方法を選択します。  
ここでは、[用紙を選ぶ] をクリックします。



[簡易用紙設定] ダイアログボックスが表示されます。

※ [用紙を選ぶ] 以外を選択したときは、[簡易用紙設定] ダイアログボックスは表示されません。

#### 起動ガイダンスメニューについて

起動ガイダンスは、次のメニューで構成されています。

- ・用紙を選ぶ…用紙を選んで、図面を新しく作成します。
- ・ファイルを開く…すでに保存しているファイルを開きます。
- ・前回の続き…前回花子終了時に開いていたファイルを開きます。
- ・レッスン花子…花子の基本操作を学習・体験できます。▶ P.41
- ・サンプル…花子にあらかじめ用意されている事例サンプルを開きます。
- ・新機能紹介…花子2021の新機能紹介や、花子2020からの変更点を見ることができます。
- ・初期値の説明…インストール直後の状態で使ったときの描画・編集機能について説明しています。▶ P.36

### 4 使いたい用紙を選ぶ

1. 用紙の一覧から、使いたい用紙を選択します。  
ここでは、[標準] を選択します。

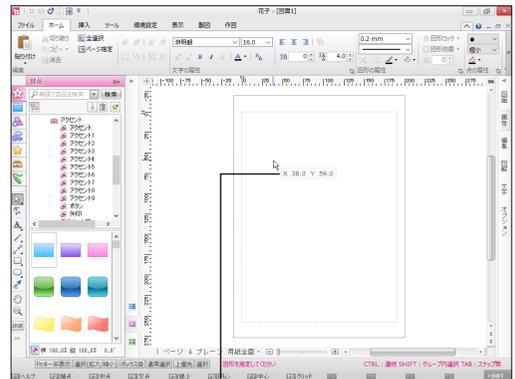


[標準] を選択すると、[ファイル-図面スタイル(用紙の設定)] で記憶した用紙の設定になります。  
インストール直後は、[A4 単葉 縦方向] に設定されています。

2. **OK** をクリックします。

花子の編集画面になり、A4 単葉 縦方向に設定された画面が表示されます。

▶ P.19 花子の画面について理解する



X,Yなどと表示された座標表示を消す方法

▶ P.21 ★ポイント 数値コマンド入力カウインドウを消すには

#### ★ポイント 従来の操作環境に戻したいときは

花子をドロップダウンメニューとツールボックスを使用して操作したい場合は、花子の操作画面を [メニューとツールバー] にします。[ファイル-インターフェース切り替え] を選択して切り替えます。

旧バージョンの花子から変更された操作性を、使い慣れた旧バージョンの動作に合わせることもできます。

花子のオプション画面を表示し、画面左下の **一括設定** をクリックして動作を合わせるバージョンを選択します。

※オプション画面は、リボンインターフェースの場合は【環境設定】タブの [オプション]、メニューとツールバーのインターフェースの場合は【ツール-オプション】を選択して表示します。

## 5 花子を終了する

図面の作成や印刷など、すべての作業が終わったら、花子を終了します。

### 1. [ファイル-花子の終了] を選択します。

花子が終了します。

編集中の図面を保存していないときは、図面を保存または更新するかを確認するメッセージが表示されます。**はい** をクリックすると、図面を保存してから花子を終了できます。

#### ? 困った [ファイル-花子の終了] が淡色で表示されて選択できない

コマンド実行中は花子を終了できないため、[ファイル-花子の終了] が淡色で表示されます。**[Esc]** キーを押して実行中のコマンドを終了してから、[ファイル-花子の終了] を選択します。

#### ★ポイント アップデートを知らせる画面が表示されたときは

花子をインストールすると、アップデートモジュールの配信を定期的にチェックしてお知らせする「JUSTオンラインアップデート」も同時にインストールされます。より安全・安心に製品をお使いいただくために、JUSTオンラインアップデートでアップデートモジュールを導入し、プログラムは常に最新の状態にしてご使用になることをお勧めします。

アップデートを知らせる画面が表示されたときは、実行する製品のチェックボックスをオンにして、**ダウンロードして実行** をクリックします。

#### ? 困った ツールボックスの引き継ぎを確認するメッセージが表示された

花子2021をメニューとツールバーのインターフェースに切り替えたあと、初めて起動した際に、旧バージョン(花子2004以降)のツールボックスの引き継ぎを確認する画面が表示されます。

※花子は、「リボンインターフェース」と「メニューとツールバー」の2つのインターフェースを利用できます。

▶ P.19 花子の操作画面

#### ●旧バージョンのツールボックスを引き継ぐ場合

**はい** をクリックします。

※引き継がない場合や、ツールボックスをカスタマイズしていなかった場合は、**いいえ** をクリックします。[ツール-拡張機能-登録ファイルの引き継ぎ] を選択して、あとから引き継ぐことができます。

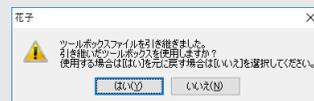
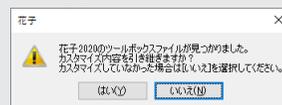
#### ●引き継いだツールボックスファイルの花子2021で使用する場合

ファイルの使用を確認する画面で **はい** をクリックします。

※使用しない場合は、**いいえ** をクリックします。花子2021の初期設定の内容に戻します。

引き継いだ登録ファイルは、[ツール-オプション]の[登録ファイル]で[ツールボックス割付登録ファイル]に設定すると使用できます。

※同じ環境に、複数の旧バージョンの花子がインストールされている場合は、旧バージョンの中で最も新しいバージョンの花子のツールボックスファイルが引き継ぎの対象になります。



#### ★ポイント デスクトップ画面の不要なアイコンを削除したい

デスクトップ画面に登録されたアイコンを削除したい場合は、Windowsのごみ箱に移動してください。

アイコンを削除してもプログラムは残るので、Windowsの[スタート]メニューなどから、各アプリケーションを起動できます。

※Windows 8.1の場合は、アプリ一覧画面などからアプリケーションを起動できます。



# インストールした内容を変更するには

インストールしたあと、花子を削除(アンインストール)したり、機能を変更したりすることができます。

## ● 花子の削除

花子2021をすべて削除(アンインストール)します。

▶ P.16 花子を削除(アンインストール)する

## ● 機能の変更

使用しない機能を削除したり、削除した機能を追加したりすることができます。

▶ P.17 花子の機能を変更する

## ● 環境を元に戻す

花子2021のメニューや画面表示の設定などを、インストール直後の状態に戻します。

▶ P.15 ★ポイント 花子の各種設定をインストール直後の状態に戻す

## ● 使用者名・User IDの変更

使用者名の設定・変更や、あとから入手したUser IDの入力をします。使用者名は、文書情報の現在編集者などに使用される名前で、必要に応じて変更できます。

現在の使用者名は、[ツール] タブの [ヘルプ] をクリックし、[バージョン情報] を選択すると確認できます。

※使用者名には、ジャストシステム製品で使用者名の登録をしている場合はその名前が、登録をしていない場合はWindowsの登録名がインストール時に自動設定されます。

▶ P.15 ★ポイント 使用者名を設定・変更する、User IDを入力しな  
おす

### ★ポイント 使用者名を設定・変更する、User IDを入力しな おす

使用者名やUser IDは、使用者情報変更ツールを使って、あとから変更することができます。

「JustSystems ツール&ユーティリティ」の画面を表示し、[商品共通] から [JS使用者情報変更ツール] を選択します。ツールが起動したら、対象の製品名を選択して情報を設定し、**登録** をクリックします。

▶ P.15 ★ポイント 「JustSystems ツール&ユーティリティ」の画面を表示する

※使用者名は、各ユーザーで設定した内容が変更されます。法人名・シリアルナンバー・User IDは、管理者アカウントのユーザーで設定した内容が変更されます。

※ [変更対象製品] で [すべての製品] を選択した場合、シリアルナンバー・User IDの変更はできません。

※J-Licenseの場合は、使用者名・法人名の設定・変更だけができます。

### ★ポイント 花子の各種設定をインストール直後の状態に戻す

花子のメニューや画面表示の設定などは、環境を元に戻すツールを使って、インストール直後の状態に戻すことができます。「JustSystems ツール&ユーティリティ」の画面を表示し、[商品共通] から [環境を元に戻すツール] を選択します。環境を元に戻すツールが起動したら、環境を元に戻す製品名を選択し、**元に戻す** をクリックして操作を進めます。

▶ P.15 ★ポイント 「JustSystems ツール&ユーティリティ」の画面を表示する

### ★ポイント 「JustSystems ツール&ユーティリティ」の画面を表示する

Windows 10の場合は、Windowsの [スタート] ボタンをクリックし、アプリ一覧から [JustSystems ツール&ユーティリティ] JustSystems ツール&ユーティリティ] を選択します。

Windows 8.1の場合は、アプリ一覧画面で [JustSystems ツール&ユーティリティ] をクリックします。

# 花子を削除(アンインストール)する

花子2021の機能をハードディスクからすべて削除する場合は、次の操作をします。

## 1 アプリケーションを終了する

▶ P.7 操作 1 インストールを始める準備をする

## 2 花子2021を削除する

### 1. Windows のコントロールパネルを表示します。

※Windows 10の場合は、タスクバーの左端にある [スタート] ボタンをクリックし、アプリ一覧から [Windows システムツール - コントロールパネル] を選択します。

※Windows 8.1の場合はWindowsの [スタート] を右クリックし、[コントロールパネル] を選択します。

### 2. [プログラムのアンインストール] を選択します。

### 3. [花子2021] を選択し、[アンインストール] を選択します。

### 4. プログラムの削除を確認する画面が表示されるので、**はい** をクリックします。

花子2021が削除されます。



※アンインストールは中止しないで、できるだけ最後まで進めてください。

操作の途中で、[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合

**はい** をクリックします。

管理者アカウント以外でサインインしているときは、管理者アカウントのパスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力して **はい** をクリックします。必要に応じてユーザー名やメールアドレスも入力します。

※お使いの環境により、表示される画面が異なる場合があります。

### ★ポイント 別のドライブにインストールしなおす

インストールしたすべてのジャストシステム製品を削除します。そのあと、再度インストールを行う際に、P.10 操作 5-1.の [インストール開始] の画面で、[インストールするフォルダーの設定] をクリックします。[インストールするフォルダーの設定] 画面で **変更** をクリックして、インストール先のドライブを変更します。

# 花子の機能を変更する

使用しない機能を削除したり、削除した機能を追加したりします。

機能を追加するときは、ダウンロードし、解凍して作成されたフォルダーが必要です。

## 1 アプリケーションを終了する

▶ P.7 操作 **1** インストールを始める準備をする

## 2 コントロールパネルからインストールプログラムを起動する

### 1. Windows のコントロールパネルを表示します。

※Windows 10の場合は、タスクバーの左端にある [スタート] ボタンをクリックし、アプリ一覧から [Windows システムツール-コントロールパネル] を選択します。

※Windows 8.1の場合はWindowsの [スタート] を右クリックし、[コントロールパネル] を選択します。

### 2. [プログラムのアンインストール] を選択します。

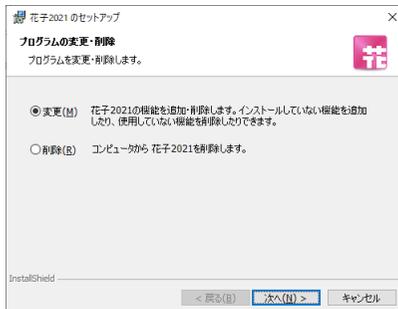
### 3. [花子2021] を選択し、[変更] を選択します。

インストールプログラムが起動します。

### 4. 次へ をクリックします。

## 3 プログラムの変更を選択する

### 1. [変更] を選択して、次へ をクリックします。



花子2021をすべて削除(アンインストール) する場合は、[削除] を選択します。

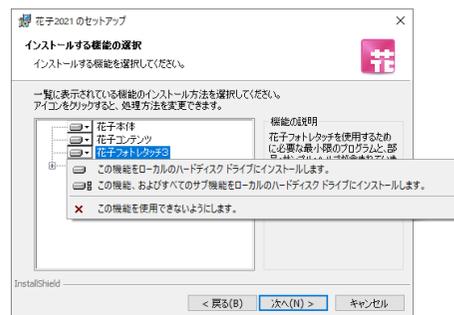
▶ P.16 花子を削除(アンインストール) する

## 4 インストール、または削除する機能を選択する

### 1. インストールまたは削除する機能の [ ] をクリックし、メニューから操作を選択します。

追加・削除できる機能について

▶ P.18 インストールして使用できる機能



### ●機能を追加する場合

[この機能をローカルのハードディスク ドライブにインストールします。]、または [この機能、およびすべてのサブ機能をローカルのハードディスク ドライブにインストールします。] を選択します。

### ●機能を削除する場合

[この機能を使用できないようにします。] を選択します。

### 2. 機能の選択が完了したら、次へ をクリックします。

あとは、画面に従って操作を進めます。

操作の途中で、[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合 ▶ P.16



# 花子の画面について理解する

## 花子の操作画面

花子をスタートすると、花子の操作画面が表示されます。各部分の詳しい機能についてはヘルプをご覧ください。リボンのメニューやアイコン上にポインターを合わせた際に、アイコンの機能を説明する画面(アプローチインフォ)を表示することもできます。

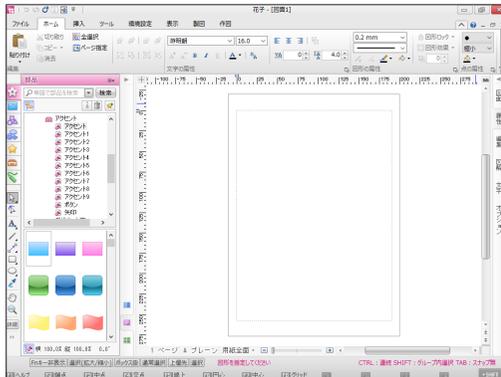
▶ [花子ヘルプキーワード] 画面の名称、アプローチインフォ

花子には、次の操作画面があります。どちらの画面を使用するかは、[ファイル-インターフェース切り替え]を選択して切り替えます。

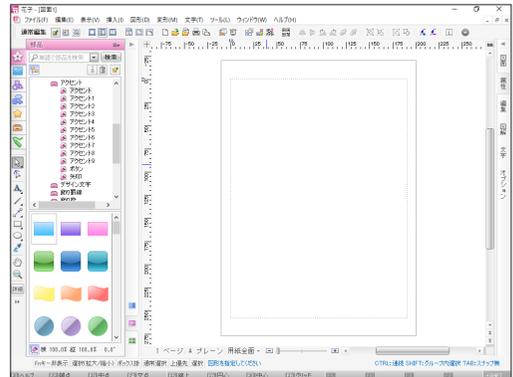
次に花子を起動したときから、選択した操作画面で表示されます。

※インストール直後は、リボンインターフェースで表示されます。

### ●リボンインターフェース



### ●メニューとツールバー



### ★ポイント 描画パレットの機能を使いたい/描画パレットを表示したい

花子2011までの花子の画面と同様に、描画パレットを表示して作図することもできます。メニューとツールバーのインターフェースに切り替えてから、シンプルツールバーの一番下にある  をクリックします。画面左側に描画パレットが表示されます。

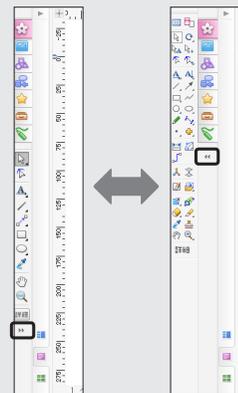
マルチコンテンツウィンドウのタブの下にある  をクリックすると、描画パレットが非表示になり、シンプルツールバーが表示された元の状態に戻ります。

※リボンインターフェースでは、描画パレットは使用できません。

▶ [花子ヘルプキーワード] 旧バージョンと同じ画面にしたい、描画パレット

描画パレットに切り替えなくても、花子の選択・描画ツールの機能を一覧で見えます。

マルチコンテンツウィンドウを【作図】シートに切り替えます。▶ P.29 作図



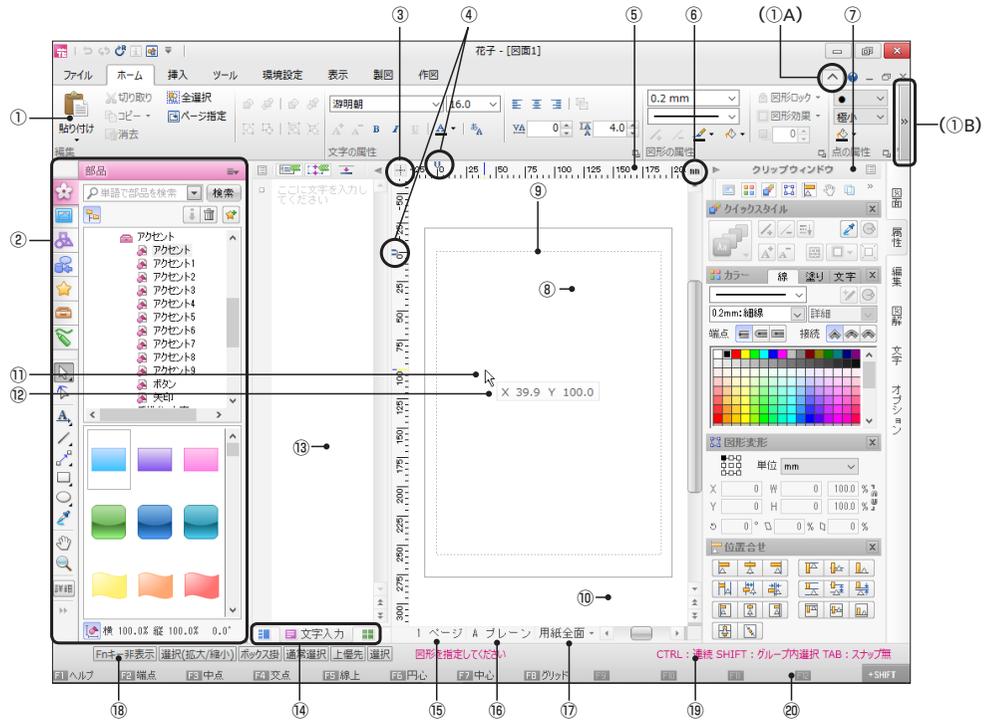
## リボンインターフェース

リボンインターフェースに対応した操作画面です。リボンのメニューは、[ホーム] [作図] など、目的別に分類されたタブで構成されています。やりたい操作に合わせてタブを切り替えて操作します。

※リボンメニュー (①) は、[ホーム] タブで表示しています。

※⑦⑧は、インストール直後は最小化された状態で表示されます。

※⑬⑭は、画面表示をカタログ表示に切り替えているときにだけ表示されます。▶ [花子ヘルプキーワード] カタログ表示



### ① リボンメニュー

編集や設定の機能を集めたメニューです。

目的のタブに切り替えて、各機能に割り付けたアイコンやメニューをクリックします。

※画面解像度やサイズにより、画面にすべての機能を表示できない場合は、画面右端の [ ] (①B) をクリックすると、続きのメニューを表示できます。また、メニュー右上にある [ ] (①A) をクリックすると、メニューをタブだけの状態にできます。

### ② マルチコンテンツウィンドウ

部品や画像、基本的な図形など、花子で入力できるコンテンツを集めています。左端上側のタブでシートを切り替えて各コンテンツを入力します。左端下側には、図形の選択や描画の基本機能をアイコンに割り付けたツールバーも表示されます。

▶ P.25 マルチコンテンツウィンドウ

### ③ 原点移動

ドラッグすると、原点(座標0,0の位置)を移動することができます。

※クリックして表示される[単位系の設定]ダイアログボックスで、原点の座標を数値で指定することもできます。

### ④ 原点マーク

画面上の位置を座標で表す場合に、基準となる位置(原点)を表します。

※インストール直後は、印字領域の左上の角が原点となります。

### ⑤ スケール

画面左端や上端に表示されている定規のことです。

**⑥ 単位切替**

現在基準となっている単位を表示します。  
 クリックするたびに、mm→inch→(ユーザー単位)  
 の順に単位が切り替わります。

**⑦ クリップウィンドウ**

複数のシートで構成され、図形の編集・配置などの操作で使用するパレットを配置しています。  
 ※インストール直後は、最小化された状態で表示されます。  
 ▶ P.31 クリップウィンドウと操作で使うパレット

**⑧ 用紙**

図形を描く領域を、用紙に似た形で表しています。

**⑨ マージンライン**

プリンターで印刷されない領域と印刷できる領域の境界線です。マージンラインの内側が印刷されます。

**⑩ ワークスペース**

編集作業を行う領域です。印刷したくない図形を一時的に待避させるときなどに利用します。

**⑪ ポインター**

マウスの動きに合わせて画面上を移動し、選択した機能や位置により形状が変わります。  
 ※数値コマンド入力がある場合は、ポインター右下部に、数値コマンド入力ウィンドウが表示されます。

**⑫ 数値コマンド入力ウィンドウ**

座標や長さなど、数値をキー入力して図形を描くための画面で、ポインター右下に表示されます。  
 ※座標などの情報だけを表示する設定にもできます。  
 ▶ [花子ヘルプキーワード] 数値コマンド入力

**⑬ 文字入力ウィンドウ/サムネイル**

文字を入力・編集する画面(文字入力ウィンドウ)、または図面を構成している各ページの縮小一覧画面(サムネイル)を表示します。表示幅も変更できます。  
 ※インストール直後は、最小化された状態で表示されます。  
 ▶ P.23 文字入力ウィンドウとサムネイル

**⑭ サムネイル/文字入力ウィンドウ/ページ一覧切替**

サムネイル・文字入力ウィンドウ・ページ一覧の各画面を切り替えます。  
 ▶ P.23 文字入力ウィンドウとサムネイル

**⑮ ページ切替**

現在編集中のページを表示します。クリックして、表示ページを切り替えます。  
 ※縦スクロールバーの ・ をクリックしても、ページを切り替えられます。  
 ※背景ページに切り替えることもできます。

**⑯ プレーン切替**

現在編集中のプレーンを表示します。クリックして、表示・編集するプレーンを切り替えます。  
 ※プレーンパレットでプレーンを切り替えることもできます。  
 ▶ P.32 プレーンパレット、▶ [花子ヘルプキーワード] プレーン

**⑰ 表示倍率切替**

現在の画面倍率を表示します。  
 をクリックして、倍率を切り替えます。右側のスライダーのつまみをドラッグするか、・ をクリックして、倍率を変更することもできます。  
 ※編集画面の表示幅が狭いときは、スライダーやボタンは表示されません。編集画面が広がると表示されます。

**⑱ ファンクションキー表示切替**

コマンド実行中に有効なファンクションキー (  ~  ) の機能を画面最下部に表示します。クリックするたびに、キーの表示/非表示が切り替わります。

**⑲ ステータスライン**

選択したコマンドの説明や、操作を促すメッセージなどを表示します。左側にはコマンドやツールの設定内容を表示し、クリックして設定を変更できます。右側には、組み合わせキーを表示します。

**⑳ ファンクションキー表示**

ファンクションキーの表示を有効にしている場合に、キーの機能を表示します。キーの表示をクリックして、機能を実行することができます。

**★ポイント 数値コマンド入力ウィンドウを消すには**

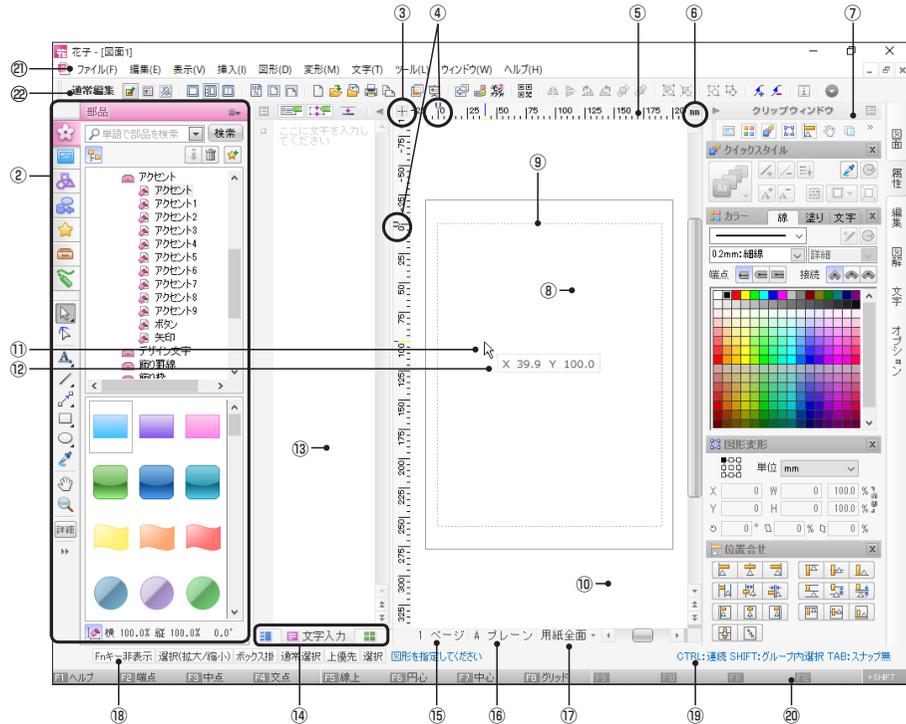
[製図] タブで [数値コマンド入力] をクリックして [有効にする] を選択するか、 +  (し) キーを押します。数値コマンド入力の有効/無効を切り替えることができます。数値コマンド入力の [有効にする] メニューにチェックマーク () が付いていると有効、付いていないと無効な状態です。

## メニューとツールバー

花子2012までの花子と同様に、メニューとツールボックスで構成された操作画面です。従来の花子と同じように操作したい、描画パレットを使って作図したいという場合は、メニューとツールバーの操作画面にします。

※操作画面を切り替える方法 ▶ P.19 花子の操作画面

※メニューバー (21) は、標準メニューで表示しています。



操作画面を構成する基本的な機能は、リボンインターフェースの操作画面と同じです。

▶ P.20 ②～⑤、▶ P.21 ⑥～⑩

### ②1 メニューバー

ドロップダウンメニューの第1階層メニューを表示しています。

### ②2 ツールボックス

編集や設定のための基本的な機能を、アイコンに割り付けています。

クリックすると、それぞれの機能を実行できます。図形選択や描画ツールなど、選択している機能に応じて表示される機能は変化します。

▶「花子ヘルプキーワード」 ツールボックス、オートピックアップ

？ 困った 描画パレットやツールボックスのアイコン画像が小さすぎる

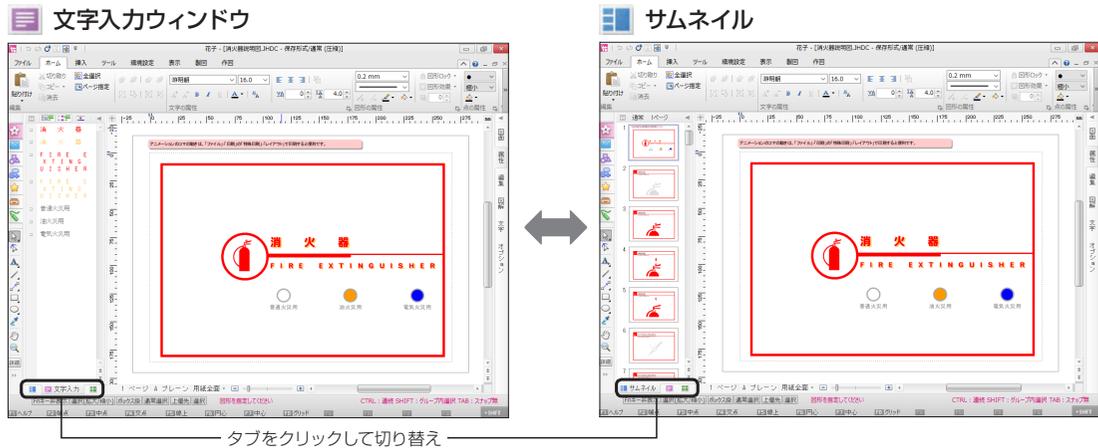
▶「花子ヘルプキーワード」 アイコン画像が小さすぎる

# 文字入力カウインドウとサムネイル

花子の編集画面は、「文字入力カウインドウ」「サムネイル」を表示して、それぞれを切り替えて利用できます。インストール直後は最小化されているので、元の大きさに戻してから利用します。

※以降の画面図では、マルチコンテンツウインドウ・クリップウインドウを最小化した状態で説明しています。

- マルチコンテンツウインドウ・クリップウインドウを最小化する方法 ▶ P.25, P.31  
▶ [花子ヘルプキーワード] 文字入力カウインドウ、サムネイル



エディター感覚で文字を入力・編集しながら図面を作る画面です。文字入力カウインドウで、同じページ内の文字データをまとめて表示・編集できます。

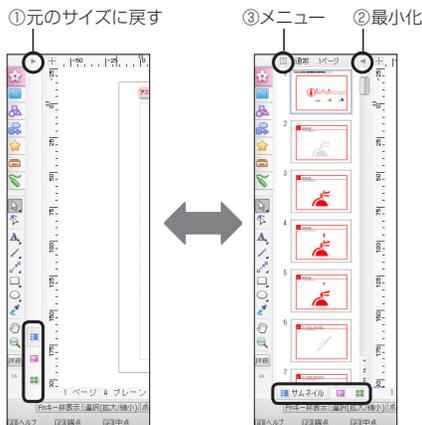
▶ P.59 ★ポイント 文字をまとめて入力する

※インストール直後は、文字入力カウインドウのタブが選択された状態で最小化されています。

図面を構成するページの縮小一覧を表示して図面を作る画面です。ページ構成を確認しながら、図面の編集作業を進めることができます。

一覧のページをドラッグして、ページの移動や入れ替えをしたり、メニューを使って、ページの挿入・複製・削除をしたりできます。

▶ P.24 ページを移動する・入れ替える、ページを挿入・削除・複製する



表示しているタブをクリックしても、サイズを切り替え

## ● 最小化した文字入力カウインドウ／サムネイルを元に戻す (①)

画面左下の [文字入力]、または [サムネイル] のタブをクリックします。または、マルチコンテンツウインドウと編集画面の境界上部にある ▶ [元のサイズに戻す] をクリックするか、境界上でクリックします。

## ● 文字入力カウインドウ／サムネイルを最小化する (②)

文字入力カウインドウ／サムネイル上部にある ◀ [最小化する] をクリックします。

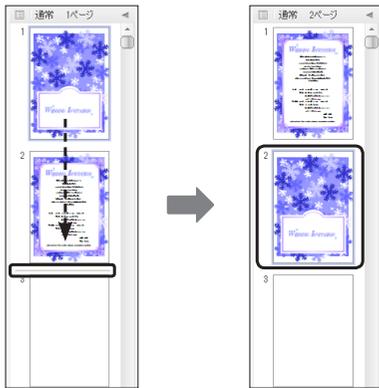
### ● メニューを表示する (③)

画面左上の [メニュー] をクリックします。  
文字入力カウインドウの場合は文字サイズや表示スタイルの設定を、サムネイルの場合はページの挿入・削除などの操作ができます。

### ● ページを移動する・入れ替える

サムネイルを表示し、ページ一覧上でページを選択してドラッグします。  
移動先を示すグレーのラインが表示されるので、目的の位置でボタンを離します。

#### ● ページの移動



1ページ目をドラッグして、2ページと3ページの間へ移動

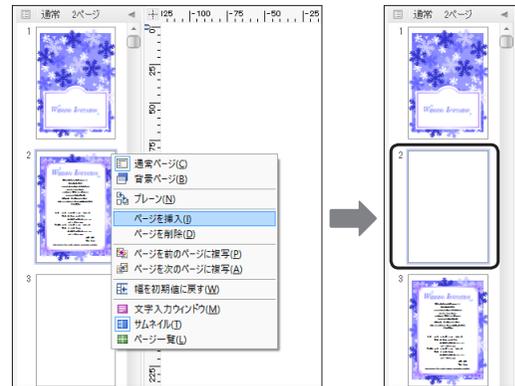
### ● ページを挿入・削除・複写する

サムネイルを表示し、ページ一覧の対象ページ上で右クリックします。

操作に応じて、メニューから [ページを挿入] ~ [ページを次のページに複写] を選択します。

※任意のページに複写するとき、対象ページを複写先までドラッグし、**[Ctrl]** キーを押したままマウスのボタンを離します。

#### ● ページの挿入



2ページ目を選択し、右クリックしてメニューから [ページを挿入] を選択

#### ? 困った 文字入力カウインドウが消えた

文字入力カウインドウが最小化されていると、文字入力カウインドウが消えたように見えます。  
画面下部の [文字入力] のタブをクリックするか、▶ [元のサイズに戻す] をクリックすると、文字入力カウインドウが表示されます。

▶ P.23 最小化した文字入力カウインドウ/サムネイルを元に戻す

#### ★ ポイント ページを移動/複写/挿入する

ページの移動や複写・挿入の操作は、メニューからも行えます。  
リボンインターフェースの場合は、[ツール] タブの [ページ] をクリックします。メニューとツールバーの場合は、[編集-ページ] から選択します。

▶ [「花子ヘルプキーワード」](#) ページ-移動/複写/挿入

#### ★ ポイント 花子の編集画面を活用する

花子の編集画面は、文字入力カウインドウ・サムネイルのほかに、画面全体にページの一覧を表示する「ページ一覧」があります。  
また、編集画面にも種類があり、インストール直後は「カタログ表示」と呼ぶ種類になっています。  
花子の編集画面について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

▶ [「花子ヘルプキーワード」](#) 編集画面

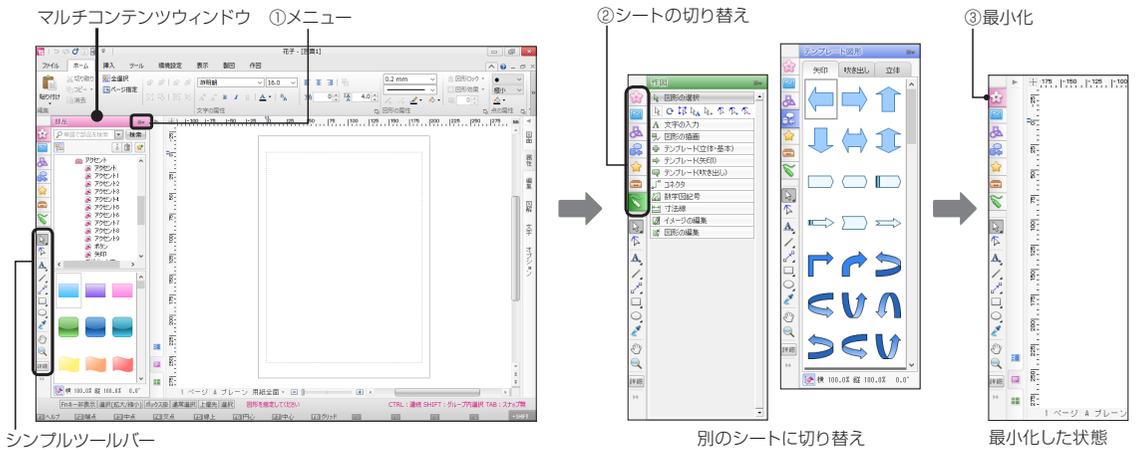
## マルチコンテンツウィンドウ

花子の画面左側には、部品や画像・図形など、花子のコンテンツを入力する「マルチコンテンツウィンドウ」が表示されます。コンテンツごとにシートが分かれているので、使用するコンテンツに合わせてシートを切り替えて図面に呼び出します。

また、図形選択や描画のための基本的な機能を割り付けたツールバーも表示されます。

▶ [花子ヘルプキーワード] マルチコンテンツウィンドウ

### マルチコンテンツウィンドウの使い方



- **各シートのメニューを表示する (①)**  
マルチコンテンツウィンドウのシート名の右横にある [メニュー] をクリックします。シートごとのメニューが表示されます。  
図面上の選択図形との置換やサイズ指定の方法、マルチコンテンツウィンドウのシートの動作などを設定できます。

- **シートを切り替える (②)**  
左側にある、絵で示された各シートのタブ( [部品] ~ [作図] ) をクリックして切り替えます。  
※ [メニュー] の [オプション] タブにポインターを重ねてシート切替をオンにして、タブにポインターを合わせると、シートが自動的に切り替わるようにもできます。

- **マルチコンテンツウィンドウを最小化する/元のサイズに戻す (③)**  
選択しているシートのタブをクリックします。マルチコンテンツウィンドウが最小化されます。  
元の表示に戻すときは、最小化されたシートのタブをクリックします。

マルチコンテンツウィンドウの機能を使用しないときは自動的に最小化して、画面を広くする

シート右上部の [メニュー] をクリックし、[オプション] シートを自動的に最小化] を選択して、チェックマークが付いた状態にします。  
マルチコンテンツウィンドウのシートの領域からポインターを外している間は最小化の状態になり、花子の編集画面を広くできます。最小化した領域のタブをクリックすると、シートが表示されます。

#### ? 困った マルチコンテンツウィンドウが消えた

画面左端に、絵で示されたシートのタブが見えていないときは、マルチコンテンツウィンドウが最小化されています。シートのタブをクリックすると、元のサイズに戻ります。

シートのタブが見えていないときは、マルチコンテンツウィンドウが非表示になっています。[表示] タブで [画面表示切替] をクリックし、[マルチコンテンツウィンドウ] を選択すると表示されます。

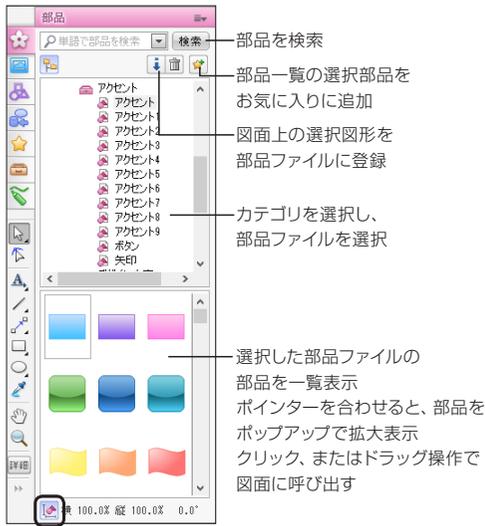
## 各シートの機能

花子のコンテンツは、マルチコンテンツウインドウの各シートからクリック、またはドラッグ操作で図面に呼び出します。

### 部品

部品一覧を表示します。花子に付属の部品を利用できます。図面上の選択図形を部品ファイルに登録したり、よく利用する部品を「お気に入り」に追加したり、よく利用する部品を「お気に入り」に追加したりできます。

※コンテンツパレットの「部品」シートと同様の機能です。



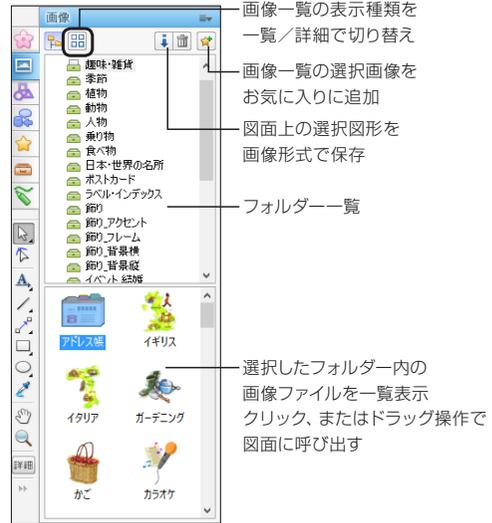
オン(ボタンが押された状態)の場合、図面上で拡大縮小・回転した図形と同じ拡大縮小率・回転角で部品を呼び出す  
右横には、呼び出す際に適用する倍率・回転角を表示

### 画像

フォルダー一覧を表示します。パソコンなどにある画像データを利用できます。

選択図形を画像形式で保存したり、よく利用する画像を「お気に入り」に追加したりできます。

※コンテンツパレットの「画像」シートと同様の機能です。



画像一覧の表示種類を一覧／詳細で切り替え

画像一覧の選択画像をお気に入りに追加

図面上の選択図形を画像形式で保存

フォルダー一覧

選択したフォルダー内の画像ファイルを一覧表示  
クリック、またはドラッグ操作で図面に呼び出す

### ！注意 花子2011までの花子をお使いの方へ

マルチコンテンツウインドウを表示中は、コンテンツパレットは表示できません。

▶ P.35 **？困った** コンテンツパレットが表示されない～花子2011までの花子をお使いの方へ～

### ？困った フォルダー一覧が消えた

部品一覧の上にある [フォルダツリー] をクリックします。

※別のシートに切り替えても、フォルダー一覧が表示されます。



### ★ポイント 部品一覧の表示領域を広げる

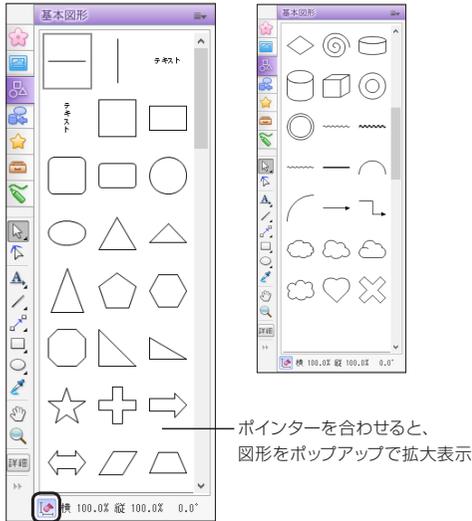
フォルダー一覧と部品一覧との境界にポインターを合わせます。ポインターが に変化したら、上下にドラッグして、一覧の表示領域のサイズを調整します。

境界付近でドラッグ



## 基本図形

直線や長方形・円など、よく使用する基本的な図形の一覧を表示します。文字を入力する文字枠や、図形をつなぐコネクタも呼び出して利用できます。部品と同様、目的の図形をクリック、または図面までドラッグして呼び出します。



オン(ボタンが押された状態)の場合、図面上で拡大縮小・回転した図形と同じ拡大縮小率・回転角で図形を呼び出す右横には、呼び出す際に適用する倍率・回転角を表示

## テンプレート図形 (矢印・吹き出し・立体)

矢印や吹き出し・立体など、よく使用する特殊な形の図形の一覧を表示します。シートをクリックして種類を切り替え、目的の図形をクリック、または図面までドラッグして呼び出します。

シートをクリックして、テンプレート図形の種類を切り替え



オン(ボタンが押された状態)の場合、図面上で拡大縮小・回転した図形と同じ拡大縮小率・回転角で図形を呼び出す右横には、呼び出す際に適用する倍率・回転角を表示

### ★ポイント 線や塗りの設定を反映して呼び出す

基本図形とテンプレート図形にある図形は、[ホーム] タブの図形の属性や、カラースタイルパレットの設定(線色や線種・塗りなど)を反映して呼び出すことができます。▶ P.33 カラースタイルパレット

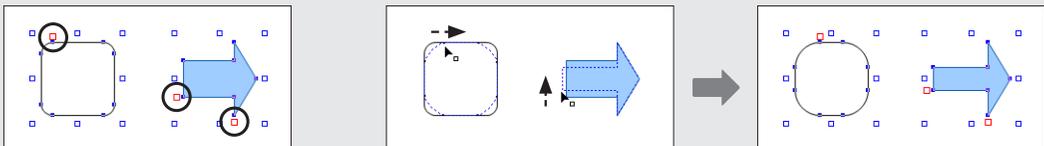
シートの [メニュー] をクリックし、[挿入時に描画時の属性を適用] を選択して、チェックマークが付いた状態にします。※チェックマークが付いていない状態に戻すと、一覧に表示されているとおりの線・塗りが設定された図形になります。図形の属性やカラースタイルパレットの設定には影響されません。

### ★ポイント 編集ポイントを利用して、傾きや長さなどの形を調整する

図形が選択された状態のときに編集ポイント(赤い □ マーク)が表示されている場合は、編集ポイントをドラッグして、傾きや長さなどを調整することができます。基本図形・テンプレート図形の多くは、編集ポイントがあります。なお、編集ポイントが2つ以上表示される場合は、編集ポイントの位置によって、形の変化のしかたが異なります。

※図形選択マークの表示を大きなデザインに切り替えている場合は、編集ポイントの表示も変わります。

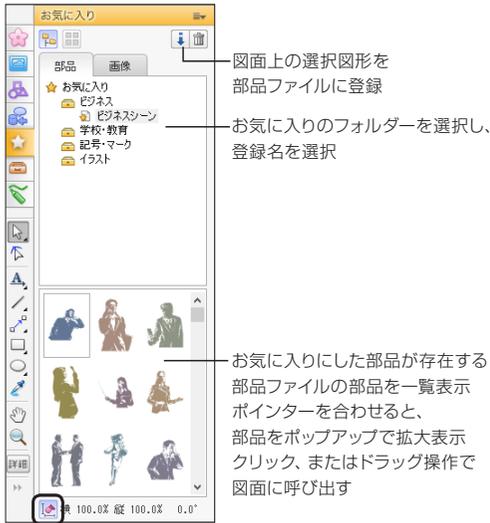
▶ ★ポイント P.38 図形選択マークの表示を大きくし、マークを使った操作をしやすくする



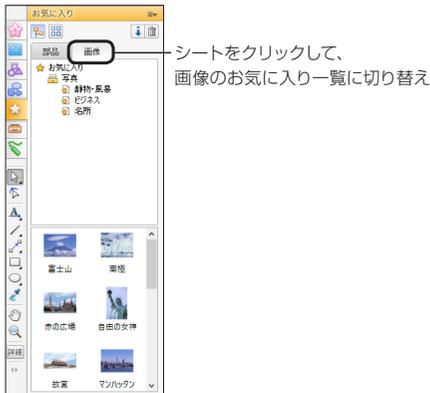
編集ポイントをドラッグして形を調整

## ★ お気に入り (部品・画像)

[お気に入り]に追加した部品や画像を一覧します。シートをクリックして、部品または画像のお気に入りの一覧に切り替えて、図面に呼び出します。



オン(ボタンが押された状態)の場合、図面上で拡大縮小・回転した図形と同じ拡大縮小率・回転角で部品を呼び出す。右横には、呼び出す際に適用する倍率・回転角を表示



## 📁 ストック/参照図形

シートをクリックして、ストックまたは参照図形の一覧に切り替えます。

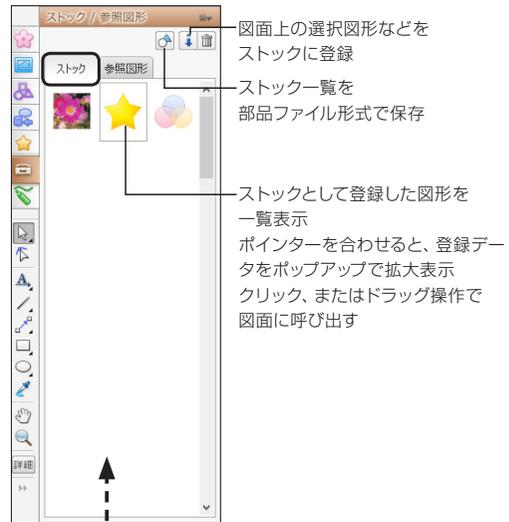
### ● [ストック] シート

ストックとして登録した図形の一覧を表示します。ストックには、よく使用する図形や部品・画像などを登録することができます。

お気に入りとは異なり、図形・部品・画像などの種類に関係なく、同じ一覧に登録して表示できます。登録した内容は、部品ファイルとして保存することもできます。

※ストック一覧に登録できるのは、最大100個です。

※コンテンツパレットの[ストック]シートと同様の機能です。



図面上で選択した図形を一覧へドラッグしてもストックとして登録できる

### ★ポイント よく使用する部品や画像をお気に入りに追加する

部品ファイルが異なる部品や保存先の異なる画像を、部品・画像それぞれのお気に入りの一覧から呼び出せます。フォルダーを自由に作成できるので、使い勝手に応じてグループ分けできます。

部品の場合は、部品一覧でお気に入りに追加したい部品を選択し、[部品]シートの [お気に入りに追加] をクリックして、名前や作成先を設定します。[お気に入り]シートの一覧に、部品へのリンクが追加登録されます。画像の場合も、[画像]シートで同様の操作で登録できます。

▶ [花子ヘルプキーワード] お気に入り

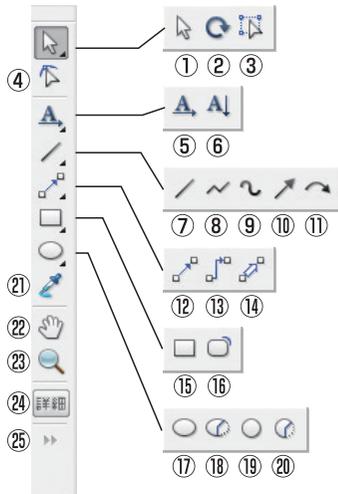


## 描画ツールの機能 - シンプルツールバー

基本的な描画や図形選択などの機能をシンプルツールバーとして配置しています。「貼る」操作だけでは足りない、ちょっとした図を描く・図形を選択状態に戻すときなどに利用します。

なお、すべての描画・選択ツールの機能を利用したいときは、マルチコンテンツウィンドウの【作図】シートを利用します。▶ P.29 作図

▶ [花子ヘルプキーワード] シンプルツールバー



①のように、アイコンの右下に  が表示されている機能は、階層になっています。アイコン上でマウスのボタンを押し続けると、同じグループにある別の機能のアイコンが表示されます。ボタンを押したままマウスを動かし、選択したいアイコン上でボタンを離して機能を切り替えます。

- ① 図形の選択(拡大/縮小)
- ② 図形の選択(回転・せん断)
- ③ 図形の選択(自由変形)
- ④ 図形の選択(部分選択・変形)
- ⑤ 横組文字枠作成
- ⑥ 縦組文字枠作成
- ⑦ 直線
- ⑧ 連続直線
- ⑨ 自由曲線
- ⑩ 終点矢印直線
- ⑪ 片側円弧矢印
- ⑫ コネクタ(直線型片矢印)
- ⑬ コネクタ(カギ型片矢印)
- ⑭ コネクタ(幅付き片矢印)
- ⑮ 長方形
- ⑯ 丸め長方形
- ⑰ 全楕円
- ⑱ 楕円弧
- ⑲ 全円
- ⑳ 円弧
- ㉑ スポイト
- ㉒ パン
- ㉓ ズームイン・アウト
- ㉔ 詳細
- ㉕ 描画パレットの表示/非表示

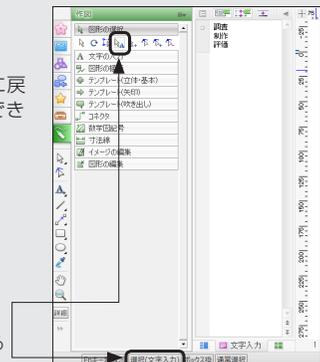
※リボンインターフェースでは、描画パレットは使用できません。

### ? 困った シンプルツールバーが何も選択されていない状態になった

シンプルツールバーにない機能が選択された状態になっています。必要に応じて、 [図形の選択(拡大/縮小)] をクリックして、図形が選択できる状態に戻しておきます。選択されている機能は、【作図】シートや画面下部の表示などで確認できます。

[例] 文字入力ウィンドウで文字入力や操作をしたとき

何も選択されていない状態のときは、画面下部や【作図】シートの表示を確認する

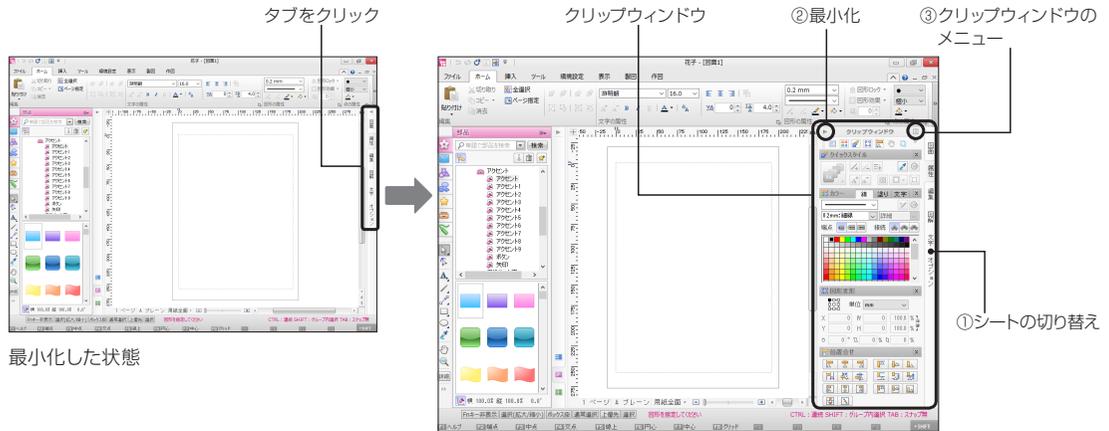


# クリップウィンドウと操作で使うパレット

花子では、画面右側に「クリップウィンドウ」と呼ぶ機能を用意しています。  
クリップウィンドウは複数のシートで構成されています。描画・編集によく使う機能を集めたパレットをシートに配置し、切り替えて利用します。

※クリップウィンドウは、インストール直後は最小化されています。  
▶[花子ヘルプキーワード] クリップウィンドウ、パレット、パレットトレイ

## クリップウィンドウの使い方



最小化した状態

### ● シートを切り替える (①)

クリップウィンドウの各シートは、右側にある各シートのタブ(図面～オプション)をクリックして切り替えます。

※インストール直後は次のパレットが表示されます。

シート名	パレット	背景の設定
図面	図面切替 スクロール 図面 プレーン	表示しない
属性	クイックスタイル カラースタイル 図形変形 位置合せ	表示しない
編集	文字付き図形 図形加工 効果	表示しない
図解	図解	表示しない
文字	フォント	表示しない
オプション	オプション	表示しない

表示されているシートのタブをクリックすると、クリップウィンドウが最小化します。  
もう一度クリックすると、元のサイズに戻ります。

### ● クリップウィンドウを最小化する／元のサイズに戻す (②)

クリップウィンドウの左上隅にある ▶ [最小化する] をクリックすると、クリップウィンドウが最小化します。

元の表示に戻すときは、画面右端に表示される ◀ [元のサイズに戻す] をクリックします。

※選択されているシートのタブをクリックするのも同じ機能です。

### ● クリップウィンドウのメニューを表示する (③)

クリップウィンドウの右上隅にある [メニュー] をクリックすると、クリップウィンドウのメニューが表示されます。

クリップウィンドウのシートの背景にブラウザを表示したり、すべてのパレットをトレイに格納したり、クリップウィンドウの内容をインストール直後の状態に戻したりします。

▶ [花子ヘルプキーワード] ブラウザシート、クリップウィンドウの初期化、クリップウィンドウが消えた

## いろいろなパレット

図形の描画や編集をするときによく使う機能をパレットとして用意しています。  
ここでは、クリップウィンドウのシート順に、配置しているパレットを紹介します。  
各パレットの機能の詳細についてはヘルプをご覧ください。▶ [花子ヘルプキーワード](#) 花子のパレット

### 図面切替パレット

現在開いている花子の図面ファイルを一覧し、対象の図面ファイルを切り替えます。  
複数の図面ファイルを、マウス操作でも簡単に切り替えながら編集・参照することができます。



### スクロールパレット

用紙全体に対する画面の表示位置を確認できます。  
全体を見ながら、図面の拡大・縮小や表示位置の変更ができます。



### 図面パレット

1/50や1/100といった、実際の長さに対する図面の縮尺を設定したり、用紙サイズや用紙の縦横を切り替えたりします。  
グリッドの表示や、よく使用するスナップの有効/無効を切り替えることもできます。



### ブレーンパレット

入力ブレーンを切り替えます。  
各ブレーンの表示/非表示や選択の設定を切り替えることもできます。



#### ★ポイント パレットの使い方

花子のパレットは、クリップウィンドウ上部にあるパレットトレイに収納されています。パレットトレイのアイコンをクリックして、クリップウィンドウや用紙・ワークスペース上に呼び出します。  
各パレットは、パレットのタイトルバー上でマウスのボタンを押してドラッグし、用紙やワークスペース上の好きな位置に移動できます。



各パレットの機能に応じた  
パレットメニューを表示

パレットを閉じて、  
パレットトレイに収納

#### ? 困った パレットの内容が消えた

パレットのタイトルバーをダブルクリックすると、タイトルバーだけの表示になります。もう一度タイトルバーをダブルクリックすると、パレット全体の表示に戻ります。それでもうまく表示できないときは、クリップウィンドウをインストール直後の状態に戻します。クリップウィンドウの [メニュー] をクリックし、[クリップウィンドウの初期化] を選択します。

▶ [花子ヘルプキーワード](#) パレットの内容が消えた

## クイックスタイルパレット

選択した図形に、線や塗り・文字色や図形効果を組み合わせたスタイルを適用します。好みのスタイルを、サンプルの一覧から選択するだけで設定できます。

線種・線幅や色合い、文字サイズや個々の図形効果を、あとから微調整することもできます。

※クイックスタイルパレットのサンプルの一覧をカスタマイズすることはできません。

▶ P.52 手順6. クイックスタイルで色・スタイルを決める



## カラースタイルパレット

図形の線や塗り、文字の色などを設定します。

[線]・[塗り]・[文字]のタブをクリックして、各シートを切り替えます。

※初期設定では、カラースタイルパレットの色の一覧(カラーパレット)は[ハイカラー]が選択されています。

※色の一覧部分にポインターを合わせると、色のRGB値を確認できます。

### [線] シート



図形の線種や線色を設定

### [塗り] シート



図形の塗りつぶしの色やパターン、グラデーションなどを設定

### [文字] シート



文字のサイズ・色・フォントや、文字枠の組み方などを設定

## 図形変形パレット

数値を入力して、図形の幅・高さを変えたり、回転・せん断したりします。

▶ P.48 ★ポイント 数値を指定して拡大縮小する・幅や高さをそろえる -サイズ/図形変形パレット-



## 位置合せパレット

左揃え、上揃えなど、複数の図形の位置をそろえたり、間隔をそろえたりします。

用紙に対する配置を調整することもできます。

▶ P.48 ★ポイント 複数の図形の位置をそろえる -位置合せ/位置合せパレット-



## 文字付き図形パレット

図形に入れた文字の折り返しや配置・余白など、文字付き図形の設定をします。



## 図形加工パレット

図形の輪郭線や領域を加工して新しい図形を作ります。



## 効果パレット

図形や枠にさまざまな効果を加えることができます。

### [変形] シート



### [アート] シート



### [色] シート



## 図解パレット

キーワードを入力し、タイプやスタイル・カラーセットを選択するだけで図解にします。

### [オートチャート] シート



### [ブロック図形] シート



## F フォントパレット

文字に使うフォントや文字サイズ・文字色などを設定します。

フォントを系統ごとに分類して表示し、プレビューでイメージを確認しながら、適切なフォントを設定することができます。



## オプションパレット

グリッド・スナップの設定や、描画方法・図形の選択方法など、花子の操作環境を切り替えます。



## 参照図形パレット

参照図形の元図の一覧を表示します。

※インストール直後は、どのシートにも配置されていません。

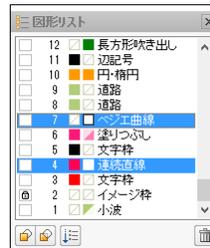
※マルチコンテンツウインドウの[参照図形]シートと同様の機能です。



## 図形リストパレット

図面上にある図形の一覧を表示します。図形の個数や種類、選択状態を確認できます。

※インストール直後はどのシートにも配置されていません。



## ？ 困った コンテンツパレットが表示されない～花子2011までの花子をお使いの方へ～

コンテンツパレットで利用していた部品・画像・ストックのコンテンツは、画面左側のマルチコンテンツウインドウから呼び出します。

▶ P.25 マルチコンテンツウインドウの使い方

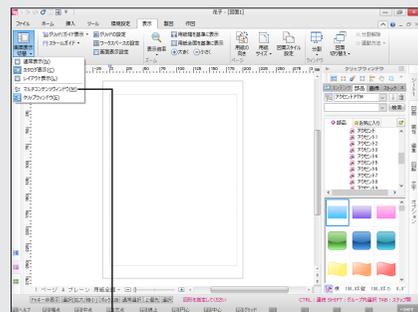
マルチコンテンツウインドウが表示されている場合は、コンテンツパレットは表示されません。

花子2011までの花子と同じように、部品や画像をコンテンツパレットから利用したい場合は、マルチコンテンツウインドウを非表示にする必要があります。[表示] タブで [画面表示切替] をクリックし、[マルチコンテンツウインドウ] を選択すると、マルチコンテンツウインドウの表示/非表示が切り替わります。

※メニューとツールバーのインターフェースでは、[表示-画面表示切替-マルチコンテンツウインドウ表示] です。

マルチコンテンツウインドウを非表示にしたあと、クリップウインドウにシートを追加してパレットレイから [コンテンツ] をクリックします。

▶ [花子ヘルプキーワード] シートの追加



マルチコンテンツウインドウを非表示にするとコンテンツパレットを表示できる

# 花子の操作性の特徴をつかむ

## ～絵を描く前に～

花子の描画や編集操作は、操作環境の設定によって動作や結果が変わります。花子の操作性の特徴を知り、各項目の設定値を調整することで、スムーズな編集操作を進められるようにします。ここで取り上げている内容以外について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

▶「花子ヘルプキーワード」初期値の設定、オプション

### ★ポイント オプションの設定を使いこなす

花子の操作環境は、オプションパレット、またはオプション画面で設定します。  
※オプションパレットとオプション画面で表示される項目名は、異なることがあります。

#### ●オプションパレット ▶ P.35

操作環境の大半の項目と、よく切り替えて使うグリッドの表示・スナップの項目が集められています。インストール直後はクリップウィンドウの「オプション」シートに配置されています。すぐに項目を切り替えられて便利です。

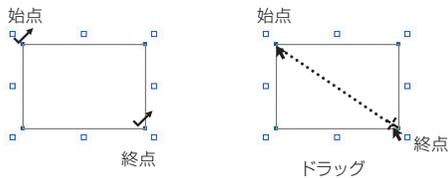
#### ●オプション画面（「環境設定」タブの「オプション」／「ツールオプション」）

操作環境やファイル操作に関する、すべての項目が集められています。使い慣れた、花子2015以降の各バージョンの動作に合わせてたり、インストール直後の設定に戻したりできます。また、初期値の設定から変更した項目だけを表示することもできるので、部分的に設定を戻したいときにも便利です。

## 図形を描く基本操作 -クリックとドラッグ-

花子の描画ツールを使用する場合は、次のどちらの操作でも図形を描けます。

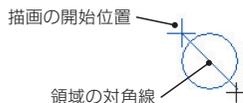
- 始点と終点でそれぞれクリックする
- 始点の位置でマウスのボタンを押したままドラッグし、終点でマウスのボタンを離す



### 描画を補助するマークの表示

インストール直後は、描画の開始位置を示す+マークや領域の対角線を表示する設定になっています。描画時の目安に利用します。

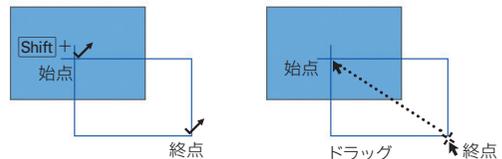
設定項目 ▶ オプションパレット [入力時に補助線表示]



### ●すでに描いた、塗りのある図形上や図形の線分上を始点にする場合

次のどちらかの方法で描画します。

- [Shift]キーを押したまま、始点をクリックする
- 図形を選択状態が解除されていることを確認してから、ドラッグ操作で描画する



### ●塗りのある図形上や線分上を始点としてクリックしたときの動作

インストール直後は、塗りのある図形上や線分上を始点としてクリックすると、描いた図形が選択される設定になっています。選択された状態でドラッグすると、描いた図形が移動してしまいます。

次の項目で動作を変更することができます。

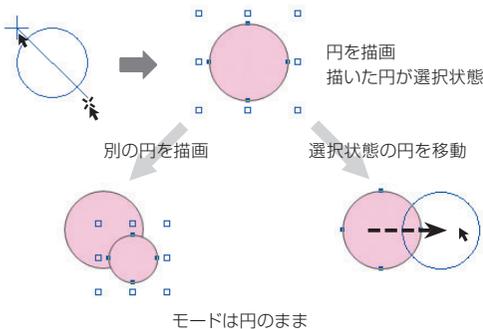
設定項目 ▶ オプションパレット [コマンド中に図形選択]

## 描画から図形選択への動作

花子で描画や挿入した図形に編集を加えるには、対象の図形を選択状態にする必要があります。花子で図形を描いた場合は、次のように動作します。

### ● インストール直後の動作

花子の描画ツールで図形を描くと、同じ描画コマンドを使える状態のまま、描いた図形が選択された状態になります。この状態からは、描いた図形を移動・拡大／縮小する、同じ図形種類を描く、どちらの操作にも進めます。



### ● インストール直後の動作をするための設定

上記のような動作をするために、インストール直後は、次のように設定されています。これらの1つでも有効になっていない状態では、図形を描く→図形の位置を調整する→続けて同じ図形を描く...といった一連の操作をスムーズに進めることはできません。

オプションパレットの項目名	初期値	設定が[しない]だった場合の動作
[入力した図形を選択]	[する]	描いた図形は、自動的には選択されません。図形を選択する操作が、別に必要です。
[続けて描画]	[する]	図形を描くとすぐに、[図形の選択(拡大/縮小)]が選択された状態に切り替わります。同じ図形を描くために、描画コマンドを選択しなおす操作が必要です。
[コマンド中に図形選択]	[する]	描画コマンドが選択された状態では図形は選択できません。図形を描いたあとに移動などの操作を行うには、図形の選択ツールを選択する操作が必要です。

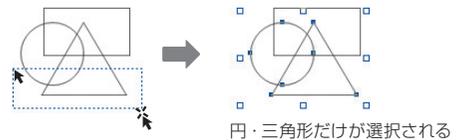
### ● 図形の選択方法

インストール直後、図形の選択方法は[ボックス掛]になっています。また、クリック操作でも図形が選択できるように、[図形選択]ダイアログボックスの[1図形選択可能]もオンで、有効になっています。

この場合、次のどちらかの方法で図形を選択できます。

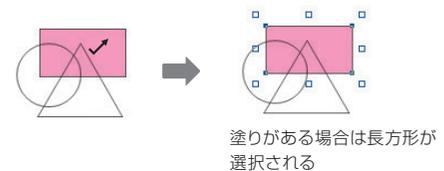
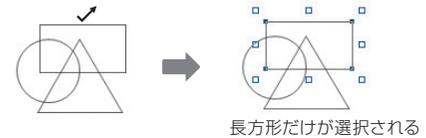
#### ● [ボックス掛]

対象にする図形の線の一部が掛かるように、範囲をドラッグする



#### ● [1図形選択]

対象にする図形の線上、または塗りが設定されている場合は塗りの部分をクリックする



#### 図形の選択方法を変更する

選択する図形の状態や位置などに応じて、図形の選択方法を切り替えて利用すると便利です。

[ボックス掛]にすると、指定した範囲に完全に含まれる図形だけが選択できます。

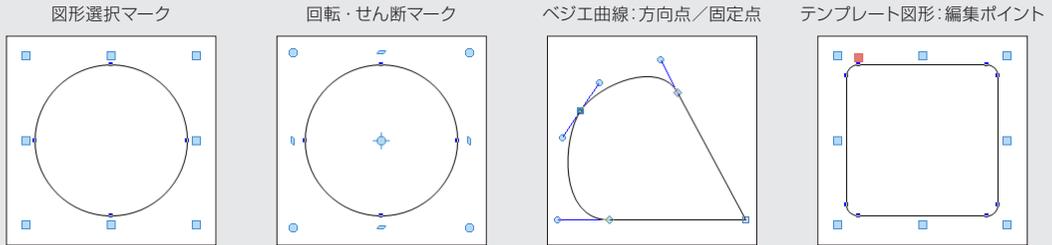
▶ [花子ヘルプキーワード] 選択-選択方法

★ポイント 図形選択マークの表示を大きくし、マークを使った操作をしやすくする

花子上で図形を選択したときに表示される図形選択マークは、使い勝手に合わせて大きなデザインに切り替えて利用できます。大きなデザインの表示に切り替えると、図形選択、回転・せん断のマークのほか、ベジエ曲線の方向点や固定点、テンプレート図形の編集ポイントなども表示が切り替わります。

設定項目 ▶ オプションパレット [図形選択マークを大きく表示する]

●大きなデザインに切り替えた場合の表示



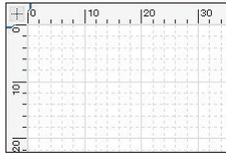
# 思ったとおりの位置に図形を描く／移動するために -グリッドの表示とスナップ-

花子には、図形を正確な位置に描画・編集するために、「グリッド」と「スナップ」と呼ぶ機能を用意しています。▶ [花子ヘルプキーワード](#) グリッド、スナップ

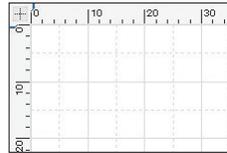
## ● グリッドの表示

「グリッド」は一定間隔の格子目で、位置関係を把握するために便利な機能です。  
画面上に表示する・しないを切り替えられます。

●グリッド間隔：10、  
グリッド間分割：5の場合



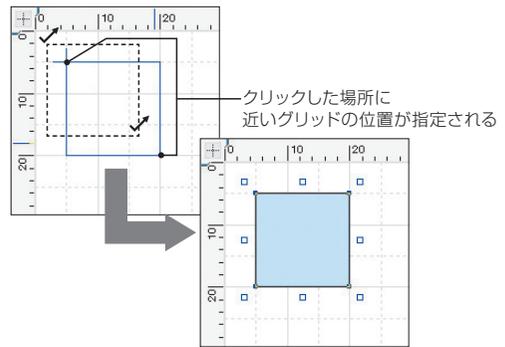
●グリッド間隔：10、  
グリッド間分割：2の場合



オプションパレットの項目名	初期値	備考
[グリッドの表示]	[しない]	グリッドの表示は、[表示] タブの [グリッド/ガイド表示]・[グリッドの設定] やオプションパレット/図面パレットでも切り替えられます。

## ● スナップ機能

「スナップ」は、マウスのポインターを自動的にグリッドや、図形上の点(端点や中点)などに合わせる機能です。「スナップ」機能を利用すると、ポインターを目当ての位置に確実に合わせられるので、図形を正確に描いたり移動したりできます。



オプションパレットの項目名	初期値	備考
[グリッドにスナップ]	[しない]	グリッドへのスナップは、[環境設定] タブの [グリッドにスナップ] や [表示] タブの [グリッドの設定]、オプションパレット/図面パレットでも切り替えられます。

### ★ポイント グリッドに必ずスナップさせる

[グリッドにスナップ] を [する] にしていても、位置によってはスナップできないことがあります。必ずスナップさせたいときは、オプションパレットなどで [グリッドスナップ時、常にスナップ] を [する] にします。また、ほかのスナップが優先され、期待するグリッドにスナップできないときは、[グリッドにスナップ] 以外のスナップをオフにします。

※ [表示] タブの [グリッドの設定] で [常にスナップ] をオンにするのも同じ機能です。

### ★ポイント 一時的にスナップを無効にする

スナップ機能が有効になっている場合、思った通りのマウス操作ができないことがあります。この場合は、**[Tab]** キーを押したまま描画や編集の操作をします。**[Tab]** キーを押すことで一時的にスナップが無効になるので、スナップの設定を変えずに、自由な位置への描画・編集をすることができます。

### ★ポイント スナップの機能を活用する

花子のスナップ機能には、グリッドのほか、延長線・図形・スケールガイドなどの種類があります。

図形領域の四隅の延長線上や図形の端点、スケールガイドにマウス位置を合わせて、複数の図形の縦・横をそろえたり、図形どうしをピッタリ重ねたりします。

花子のスナップは、[環境設定] タブの [設定] で設定します。利用できるすべてのスナップの有効/無効の切り替えや、スナップごとの詳細をまとめて設定できます。

※メニューとツールバーのインターフェースでは、[表示-スナップ-スナップの設定] です。

# ヘルプで調べる

ヘルプでは、マニュアルで紹介していない機能や、困ったときの対処方法などを説明しています。ヘルプを見るには、[ツール] タブで  [ヘルプ] をクリックします。

※コマンドを選択したときに表示されるダイアログボックスで意味がわからない項目があるときは、ダイアログボックスの  ヘルプ をクリックします。

※メニューとツールバーのインターフェースでは、[ヘルプ-花子のヘルプ] です。

## ● 質問文を入力して、ヘルプ・サポートFAQから探す –ヘルプ・WebFAQ一括検索–

知りたい内容を入力して、花子のヘルプとWebのサポートFAQを同時に検索し、関連ヘルプやサポートFAQを探ることができます。

※本機能を実行すると、ヘルプとWebのサポートFAQから質問の答えを検索するための「ヘルプ・WebFAQ一括検索ツール」が起動します。

※サポートFAQの情報を検索するには、インターネットに接続できる環境が必要です。インターネットに接続していない場合は、ヘルプの内容だけが検索されます。

### 1. 画面右側の [質問文を入力] の入力欄に質問文を入力し、ヘルプ・WebFAQ一括検索 をクリックします。

※ [質問文を入力] が表示されない場合は、画面上部の  [ホーム] をクリックします。



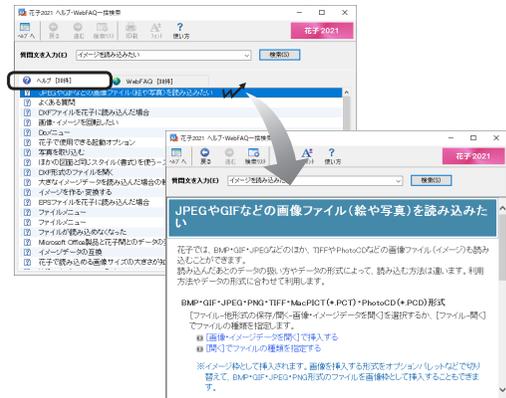
ヘルプ・WebFAQ一括検索ツールが起動し、検索結果が一覧表示されます。

### 2. ヘルプ、WebFAQの、検索結果一覧の見たいほうのタブをクリックします。

### 3. 検索結果一覧で、内容を表示したい項目上でダブルクリックします。

トピックの内容が表示されます。

※検索された内容の末尾には、アンケートが付いて表示されます。ヘルプやサポートFAQの内容をよりよいものにしていくために、アンケートにご協力ください。



※検索結果一覧の画面に戻るには、画面上部の  [検索リスト] をクリックします。ヘルプの最初の画面に戻るには、 [ヘルプへ] をクリックします。

## ● 目次から探す

画面左側の [目次] シートから、見たいタイトルをダブルクリックしていきます。

## ● マニュアルの説明に関するヘルプを見る

ヘルプの [キーワード] シートで、キーとなることばを入力して、関連するヘルプを探せます。マニュアル内の  [花子ヘルプキーワード] に続けて記載しているキーワードを入力して、マニュアルの説明に関連するヘルプを見ることができます。

## ● ヘルプの本文から探す –検索–

ヘルプの [検索] シートを使うと、入力した文字を本文中に含む、ヘルプのタイトルの一覧を表示できます。

# 基本操作を学習する -レッスン花子-

レッスン花子を利用すると、直線を描く・図形を選択するなど、花子の基本的な描画・編集操作を学習できます。操作手順の説明を確認したあと、🎧[やってみよう]のコーナーで実際に操作します。

## 1 レッスン花子を起動する

1. [ツール] タブをクリックし、[レッスン花子] をクリックします。  
[花子入門] の1ページ目が表示されます。

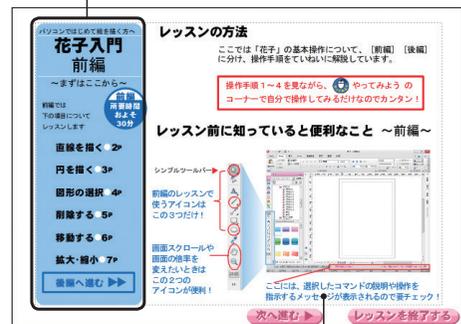
### レッスン花子の開始方法

- 花子をスタートしたときに表示される起動ガイダンスメニューで [レッスン花子] をクリックする  
▶ P.13 起動ガイダンスメニューについて
- [ファイル-レッスン花子を開く] を選択する

## 2 [花子入門] の内容や使い方を確認する

レッスンを始める前に、レッスンの内容や方法を確認します。

[花子入門] 前編の内容が表示されます



右側には、レッスンの方法や、知っていると便利なことなどが表示されます

### 編集画面を広げる

マルチコンテンツウィンドウは最小化して、画面を広くすることができます。

機能を使用しないときは、最小化します。

- ▶ P.25 マルチコンテンツウィンドウを最小化する/元のサイズに戻す

### ★ポイント レッスン花子を使うときの画面表示

画面表示がカタログ表示の状態ではレッスン花子を使うと、文字入力ウィンドウ・数値コマンド入力のウィンドウは自動的に閉じます。画面下部の **レッスンを終了する** をクリックすると、再び表示されます。

※レッスン花子起動中は、延長線スナップの機能も無効になります。

### ? 困った [次へ進む] [1ページ目に戻る] などのボタンをクリックしても反応がないときは

直線や楕円など、図形選択以外のモードになっているとボタンをクリックできません。マルチコンテンツウィンドウのシンプルツールバーで、図形を選択するアイコンをクリックして、図形選択のモードにしてからボタンをクリックします。

- ▶ P.30 描画ツールの機能 -シンプルツールバー-

## 3 レッスンを進める

1. 左側の目次で、レッスンする操作(「直線を描く 2P」など)をクリックします。



図面下部のボタンをクリックしても、目的のレッスンのページを表示できます。

2. 操作手順を見て、操作方法を理解します。  
操作方法を理解したら、👤[やってみよう]のコーナーで操作を実践します。

### 図形の描画や選択をするツールを切り替える

マルチコンテンツウィンドウのシンプルツールバーで、使用するツールを選択します。

▶ P.30 描画ツールの機能 -シンプルツールバー-

- 直線や円など、図形を描く  
レッスン花子では図形を描く操作も学習します。  
シンプルツールバーの [直線] / [全円] をクリックします。  
※ [全円] は、 [全楕円] 上でマウスの左ボタンを押し続け、別の機能の一覧が表示されたらマウスを動かして [全円] を選択します。
- 図形を選択する状態に戻す  
シンプルツールバーの [図形の選択(拡大/縮小)] をクリックします。



## 4 レッスン花子を終了する

1. 画面下部の「レッスンを終了する」をクリックします。



レッスン花子が終了します。

[拡大・縮小 7P] のあと、続けて学習を進めたいときは、 をクリックします。[花子入門] 後編の画面が表示されます。  
[花子入門] 後編では、次のことを学習します。

- 線の設定  
描いた図形の線の色を変更します。
- 塗りの設定  
描いた図形を色で塗りつぶします。
- 文字の入力  
文字枠を作成して文字を入力します。



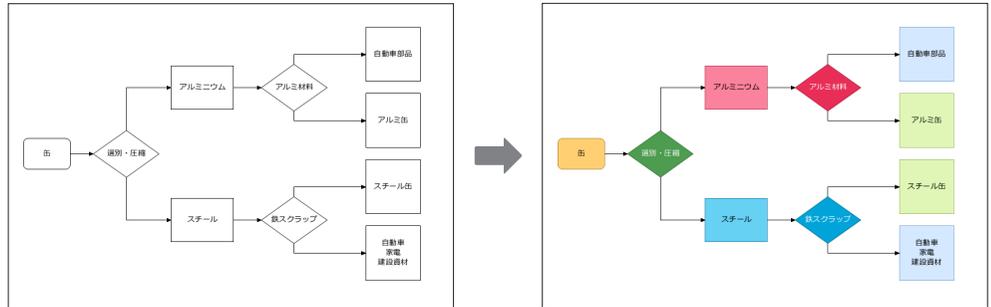


# 基本図形を配置してフロー図を作る

花子の基本的な作図手順を紹介します。

花子では、使用したい図形を配置してサイズや位置を調整し、色のスタイルを適用する操作で作図できます。図形を1から描く操作より手軽に作品を仕上げることができます。

▶ [花子ヘルプキーワード] 基本手順



## 手順

- 1 **用紙サイズを決める** ▶ P.44 図面スタイル
- 2 **基本図形を呼び出す** ▶ P.45 マルチコンテンツウインドウ [基本図形]  
▶ P.46 図形の複写
- 3 **サイズや位置を調整する** ▶ P.47 拡大縮小 移動 図形選択
- 4 **図形の中に文字を入力する** ▶ P.49 文字付き図形  
フォント 文字サイズ
- 5 **コネクタで図形をつなぐ** ▶ P.50 コネクタ
- 6 **クイックスタイルで色・スタイルを決める** ▶ P.52 クイックスタイル
- 7 **保存・印刷する** ▶ P.53 保存  
▶ P.54 印刷

### ★ポイント 図解パレットでチャート図を作る

チャート図などの図解を作成するときは、図解パレットを利用すると便利です。図解をことばやキーワードから作成したり、直列・包含などのスタイルを選択して作成したりできます。

図解パレットは、クリップウインドウの [図解] シートに配置されています。

▶ P.34 図解パレット、▶ [花子ヘルプキーワード] 図解パレット

# 手順1. 用紙サイズを決める

まず、使用する用紙のサイズを決めます。ここでは、A4の横置きに設定します。

▶[花子ヘルプキーワード] 図面スタイル

## 1 用紙を選択する

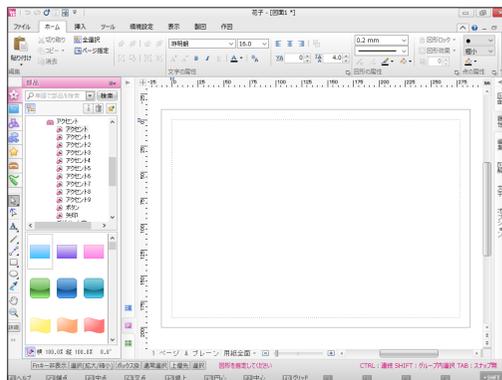
1. [ファイル-新規作成] を選択します。  
新しい図面が表示されます。すでに新しい図面を表示している場合、この操作は必要ありません。
2. [ファイル-図面スタイル(用紙の設定)] を選択します。  
※[表示] タブの [図面スタイル設定] をクリックするのも同じ機能です。
3. [用紙設定] シートの [用紙設定] で、用紙名の▼をクリックします。  
登録されている用紙の一覧が表示されます。
4. 一覧から、使いたい用紙を選択します。  
ここでは、[A4 単票・横方向] を選択します。



一覧から使用する用紙を選択

プリンターによって、設定できるマージンの範囲は異なります。

2. **OK** をクリックします。  
設定した内容が図面に反映されます。



### 編集画面を広げる

マルチコンテンツウィンドウの機能を使用しないときは、マルチコンテンツウィンドウを最小化すると、編集画面を広くすることができます。

▶ P.25 マルチコンテンツウィンドウを最小化する/元のサイズに戻す

## 2 マージン(余白)を設定する

1. [用紙設定] シートの [マージン] で、[上端]・[下端] を「10」mmに設定します。



### ★ポイント 使用したい用紙が一覧にない

使用したい用紙が一覧にない場合や、用紙のサイズを自由に設定したい場合は、使用したい用紙を一覧に追加します。[用紙設定] シートの **用紙** をクリックし、用紙の種類を選択したりサイズを変更したりします。

**新規登録** をクリックして、市販のラベル・タック用紙や自由なサイズの用紙を追加することもできます。

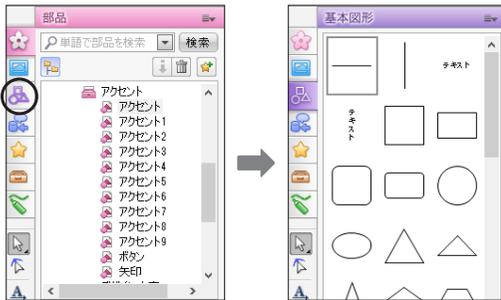
▶[花子ヘルプキーワード] 自由サイズの用紙

## 手順2. 基本図形を呼び出す

マルチコンテンツウィンドウを [基本図形] シートに切り替えて、図面に基本図形を呼び出します。  
 ※マルチコンテンツウィンドウには、図形のほか、部品や画像など花子で利用できるコンテンツが集まっています。図形を描いて配置したいときは、[作図] シートに切り替えます。▶ P.29 作図

### 1 マルチコンテンツウィンドウのシートを切り替える

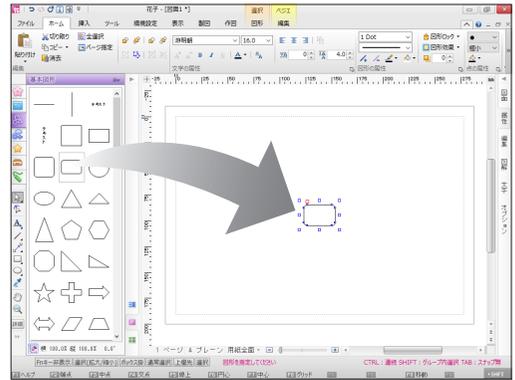
- 画面左側にあるマルチコンテンツウィンドウの、 [基本図形] のタブをクリックします。マルチコンテンツウィンドウが [基本図形] シートに切り替わります。



### 2 図形を呼び出す

図形は、クリック・ドラッグのどちらの操作でも呼び出せます。ここでは、クリック操作・ドラッグ操作の順に紹介します。

- 一覧で、呼び出したい図形をクリックします。画面中央に図形が呼び出されます。



- 編集画面上の、図形のない部分でクリックします。図形が何も選択されていない状態になります。

※インストール直後は、マルチコンテンツウィンドウから図形を呼び出すと、選択図形と置き換わる設定になっています。置き換わらないよう、図形を呼び出したら、図形の選択状態を解除しておきます。

▶ P.47 ★ポイント 図形の選択を解除する／何も指定していない状態に戻す

図形が回転して呼び出される／違う大ききで呼び出される

部品を呼び出す際の設定を変更します。

▶ P.68 部品に関するよくある質問

線や塗りを設定して図形を呼び出す

▶ P.27 ★ポイント 線や塗りの設定を反映して呼び出す

#### ★ポイント 操作を取り消す・やりなおす

**Ctrl** + **Z** (つ) キーを押すと、直前の操作を取り消すことができます。  
 描画の途中で操作を取り消す場合は、終点を指定する前に右クリックします。

#### ? 困った 画面が小さくて見づらい

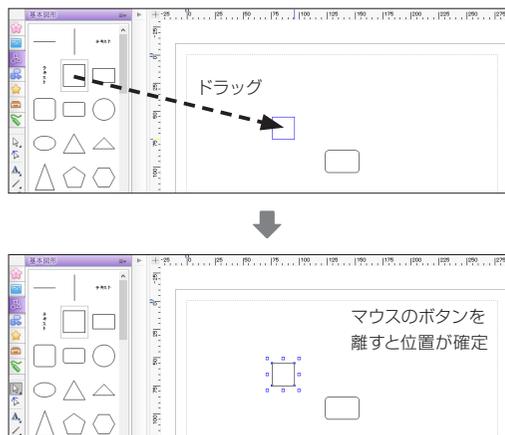
画面下部の **用紙全面** などと書かれた [表示倍率切替] をクリック、または右側のスライダーを使って表示倍率を変更できます。  
 ▶ P.21 ①表示倍率切替、▶ [花子ヘルプキーワード] ズーム

#### ★ポイント テンプレート図形を呼び出す

立体図形やブロック矢印・吹き出しなどのテンプレート図形を使用したいときは、マルチコンテンツウィンドウを [テンプレート図形] シートに切り替えます。 [テンプレート図形] のタブをクリックして、シートを切り替えます。  
 ※描画パレットのテンプレート図形 (基本図形・ブロック矢印・吹き出し図形) と、ほぼ同じ種類が用意されています。一部は、[基本図形] シートにあります。

続けて、別の図形を呼び出します。今度は、図面上の任意の位置に、ドラッグ操作で呼び出します。

- 3. 一覧の呼び出したい図形上でマウスのボタンを押し、図面上の、配置したい位置までドラッグします。**  
マウスのボタンを離れた位置に、図形が配置されます。



#### 縦横にグレーの線がチラチラ表示される

インストール直後は、[延長線スナップ]が有効になっています。この場合、延長線を示すグレーのガイド線が、最寄りの図形に対して引かれます。

縦または横の図形とそろえるときは、この延長線スナップの機能を利用すると便利です。延長線スナップを無効にすると、グレーのガイド線も消えます。

▶ P.39 ★ポイント スナップの機能を活用する

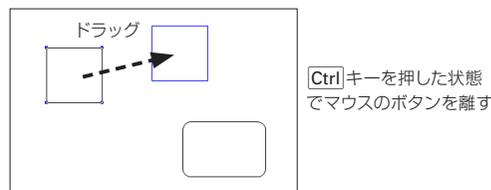
#### X,Yなどと表示された座標表示を消す

▶ P.21 ★ポイント 数値コマンド入力ウィンドウを消すには

## 3 図形を複写する

同じ図形が複数必要なときは、図面に配置した図形を複写すると便利です。

- 呼び出した図形が選択された状態であることを確認します。**  
図形が選択されていないときは、シンプルツールバーの [図形の選択(拡大/縮小)] をクリックして、対象の図形を選択します。
- マウスのボタンを押し、複写先の位置まで [Ctrl] キーを押したままドラッグします。**  
複写の状態になっているときは、ポインタが  になります。
- 位置が決まったら、マウスのボタンを離します。**  
ドラッグ先に図形が複写されます。



- 操作 2-3. や操作 3 を繰り返し、必要な図形をすべて呼び出します。**
- 必要な図形を呼び出せたら、編集画面上の図形のない部分でクリックし、何も選択されていない状態にします。**

#### 同じ図形(部品)を続けて呼び出す

マルチコンテンツウィンドウの図形や部品は、同じ内容を続けて呼び出すことができます。

1つ目をドラッグ操作で呼び出し、図面に貼り付けるときに [Ctrl] キーを押したままマウスのボタンを離します。

2つ目以降は、[Ctrl] キーを押したまま貼り付けたい位置でクリックします。最後の貼り付け位置では、[Ctrl] キーを離してクリックします。

#### ★ポイント 図形を削除するには

削除する図形を選択して、[Delete] キーを押すか、[ホーム] タブの [消去] をクリックします。選択している図形を削除できます。

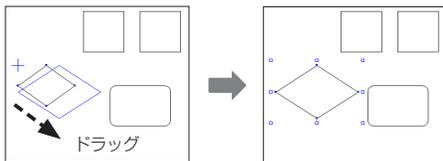
※ [作図] シートの [図形の編集]、または描画パレットの  [図形削除] で図形をクリックしても削除できます。

## 手順3. サイズや位置を調整する

図形のサイズや位置を調整し、用紙上での配置を整えます。▶ [花子ヘルプキーワード] 拡大縮小、移動-図形

### 1 図形のサイズを調整する

1. マルチコンテンツウィンドウのシンプルツールバーで、 [図形の選択 (拡大/縮小)] が選択されていることを確認します。  
▶ P.30 描画ツールの機能 -シンプルツールバー-
2. サイズを調整する図形をクリックし、図形を選択します。▶ P.37 図形の選択方法
3. 選択した図形の  マーク上にポインターを合わせ、ポインターの形が変わったらマウスのボタンを押します。
4. そのままドラッグし、大きさを決めてボタンを離します。



#### 図形を相似形に拡大縮小する

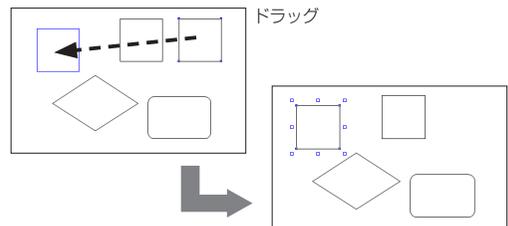
四隅の  マークを、**[Shift]** キーを押したままドラッグします。相似形で拡大縮小できます。

#### 基準位置を中心にして拡大縮小する

拡大縮小のドラッグ中に **[Alt]** キーを押します。キーを押している間は、図形の中心を基準位置にして拡大縮小することができます。

### 2 図形を移動する

1. 図形上にポインターを合わせ、ポインターが  になったらボタンを押します。
2. そのまま動かしたい位置までドラッグし、ボタンを離します。



水平・垂直に移動するときには、**[Shift]** キーを押したままドラッグします。

3. 編集画面上の、図形のない部分でクリックして、図形が選択されていない状態にします。

#### 矢印キー (・・・) で移動する

図形が選択されている場合は、矢印キーを使用して、選択図形を移動できます。初期設定では、キーを1回押すたびに、キーの方向に1.0mmずつ移動します。一度に大きく移動したいときは、**[Shift]** キーを押したまま矢印キーを押します。矢印キーだけを押したときに比べ、10倍大きく移動します。

※キーの移動幅は、オプションで調整できます。

▶ P.36 ★ポイント オプションの設定を使いこなす

#### ? 困った 図形を選択できない

マルチコンテンツウィンドウのシンプルツールバーで、 [図形の選択 (拡大/縮小)] が選択されているか確認します。選択されていないときは、 [図形の選択 (拡大/縮小)] をクリックします。それでもうまく選択できないときは、図形の選択方法が正しく設定できていない、指定する位置や範囲がまちがっているなどの原因が考えられます。詳しくは、花子のヘルプをご覧ください。

▶ [花子ヘルプキーワード] 図形を選択できない

#### ★ポイント 図形の選択を解除する/何も指定していない状態に戻す

図形の選択状態を解除し、何も指定していない状態に戻すには、次の方法があります。

- 図形の選択ツールが選択されている状態で、編集画面上の図形がない位置でクリックする
- 編集画面上で右クリックし、メニューから [図形選択の解除] を選択する
- **[Esc]** キー、または **[Shift] + [F8]** キーを押す

### ★ポイント 数値を指定して拡大縮小する・幅や高さをそろえる -サイズ/図形変形パレット-

図形の幅や高さは、数値を指定して拡大・縮小できます。対象の図形を選択し、[選択図形] タブの [選択図形の幅]・[選択図形の高さ] に数値を入力します。

適当な大きさで図形を描画したあとでも、正確なサイズに調整できます。複数の図形を選択しているときは、[平均幅揃え]・[平均高さ揃え] をクリックして、幅や高さを平均値にそろえることもできます。

※クリップウィンドウの [属性] シートにある図形変形パレットを利用すると、数値を指定して移動したり、比率を指定して拡大・縮小したりすることもできます。

また、変形の際の中心位置も指定できます。

※数値コマンド入力機能を利用して、拡大縮小・移動することもできます。

▶ [花子ヘルプキーワード] 数値コマンド入力

● [選択図形] タブの [サイズ]  
図形の幅や高さを  
変更  
複数の図形の幅や高さを  
平均値にそろえる



縦横比率を保持する/しない  
を切り替え



### ★ポイント 複数の図形の位置をそろえる -位置合せ/位置合せパレット-

複数の図形を、図形の中心線でそろえたり間隔をそろえたりするときは、「位置合せ」を利用すると便利です。

対象の図形を選択し、[選択図形] タブの [位置合せ] のアイコンをクリックするだけで位置を合わせられます。

用紙(印字領域)に対して図形の位置をそろえたり、選択図形の位置関係を保ったまま、用紙中央へ移動したりすることもできます。用紙の一方に図が偏ってしまっている場合などに便利です。

※クリップウィンドウの [属性] シートにある位置合せパレットでも同じことができます。

● [選択図形] タブの [位置合せ]  
複数の図形の位置を  
そろえる  
用紙に対して  
位置をそろえる



#### ● 位置合せパレット



### ★ポイント 図形の一部を変更する・削除する -切断/切断して削除-

図形の一部の線種を変更したり削除したりする場合は、「切断」の機能を利用します。図形を任意の位置で切り離したり、ほかの図形との交点や指定した範囲との交点で切り離したりすることができます。

図形の一部を切り離すと同時に、そのまま削除する「切断して削除」の機能もあります。

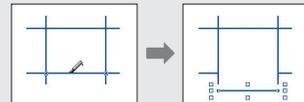
#### ● 指定した部分を切り離す (切断)

[作図] または [製図] タブで [切断/削除] をクリックし、[点で切断/交点で切断/長方形で切断] を選択します。削除するときは、[Delete] キーを押します。

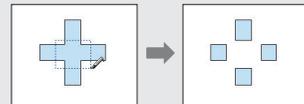
#### ● 指定した部分を切り離すと同時に削除する (切断して削除)

[作図] または [製図] タブで [切断/削除] をクリックし、[交点で切断して削除/長方形で切断して削除] を選択します。

※マルチコンテンツウィンドウの [作図] シートの [図形の編集]、または描画パレットの [図形削除] ~ [長方形で切断] も同じ機能です。



交点で切断



長方形で切断して削除

## 手順4. 図形の中に文字を入力する

図形の中には文字を入力できます。図形と文字をひとまとめに扱いたいときに便利です。図形と文字をまとめて扱えるようにした状態を「文字付き図形」と呼びます。

### 1 文字の設定をする

#### 1. [ホーム] タブで、文字のフォント・文字サイズを設定します。

ここでは、フォントは[メイリオ]、文字サイズは[14]にします。

※クリップウィンドウを表示して、カラースタイルパレットの[文字]シートやフォントパレットでも設定できます。

▶ P.31 クリップウィンドウの使い方、P.33 カラースタイルパレット、P.34 フォントパレット



和文フォントを変更したときに、文字枠内の欧文フォントにもその変更を適用する

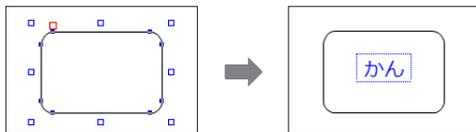
☑ [枠の和文フォントの変更を欧文フォントにも適用] をクリックし、ボタンが押された状態(☑)にします。

### 2 図形に文字を入力する

#### 1. 文字を入力する図形を選択し、文字を入力します。

図形の中に文字が入力されます。

※日本語を入力するときは、日本語の入力ができる状態にしてから入力します。

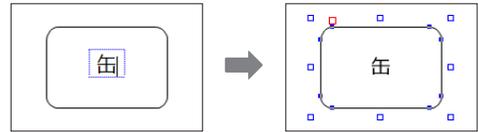


図形に文字を入力

#### 2. 文字入力が終わったら、[Esc] キーを押します。

文字入力できる状態が終わり、図形が選択された状態になります。

※画面上の何も無い場所をクリックしても、文字入力が終わります。



[Esc]キーで文字入力が終わる

#### 3. 残りの図形も、図形を選択して文字を入力します。

##### 文字を入力できないとき

図形を選択していないと、キーを押しても文字は入力されません。図形を選択してから文字を入力します。数値コマンド入力が有効で、数値コマンド入力ウィンドウに文字が入力されたときは、[Esc]キーを2回押してから文字を入力します。

▶ [花子ヘルプキーワード] 図形に文字が入力できない

##### 文字付き図形にする方法

操作②の方法以外にも、文字付き図形にする方法があります。詳しくはヘルプをご覧ください。ヘルプでは、文字付き図形を解除して、文字枠と図形に分ける操作なども紹介しています。

▶ [花子ヘルプキーワード] 文字付き図形

##### 文字がにじんで見える／指定したフォントと字形が違って見える

初期設定では、文字の表示品質を高くしているため、文字がにじんで見えたり、指定したフォントとは違って見えたりします。

▶ [花子ヘルプキーワード] 文字がにじんで見える

### ★ポイント 図形に対する文字の配置や折り返しなどを設定する -文字の入力設定 / 文字付き図形パレット-

文字を図形に入力したときの、図形に対する文字枠の配置を調整できます。文字枠の基準位置を右や下にしたたり、余白を設定したりできます。文字枠の大きさに合わせて、図形の幅や高さが連動するようにもできます。対象の図形を選択して右クリックし、メニューから[文字の入力設定]を選択します。

※クリップウィンドウの[編集]シートにある文字付き図形パレットでも同じことができます。



## 手順5. コネクタで図形をつなぐ

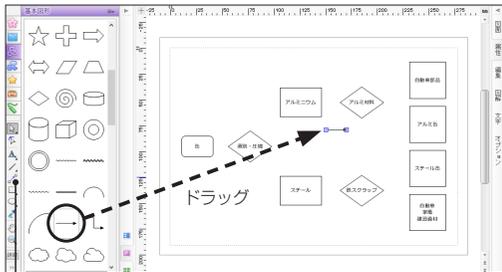
図形どうしを線や矢印で結ぶときは、コネクタを利用すると便利です。コネクタでつないだ図形を移動や拡大縮小しても、コネクタはその変化に応じて再配置されるため、線を引き直す必要はありません。コネクタも、マルチコンテンツウインドウの「基本図形」シートから利用できます。

▶「花子ヘルプキーワード」コネクタ

### 1 コネクタを呼び出す

1. 基本図形の一覧から、コネクタを呼び出します。  
直線でつなぐか（直線型）、線を折り曲げてつなぐか（カギ型）により、種類を使い分けます。ここでは、まず直線コネクタを選択します。

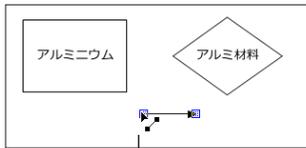
▶ P.45 操作 2 図形を呼び出す



シンプルツールバーの「コネクタ」で、図形をつなぐこともできます。

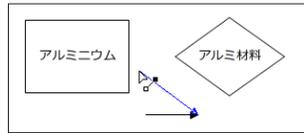
### 2 直線コネクタでつなぐ

1. 呼び出したコネクタの一方の端点にポインターを合わせます。



一方の端点にポインターを合わせる

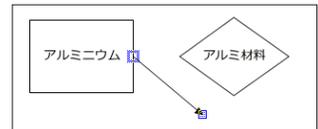
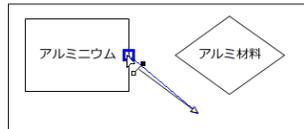
2. ポインターがになったら、マウスのボタンを押し、つなぎたい図形までドラッグします。



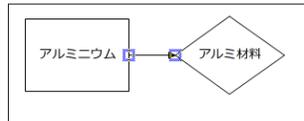
3. 図形の線上で、青色のマークが表示される位置でマウスのボタンを離します。

1つめの図形とコネクタがつながれます。

※図形の形によって、青色のマークの位置や数は異なります。



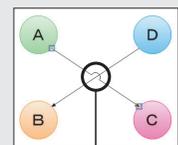
4. 同様にして、もう一方の端点を、2つめの図形までドラッグしてつなぎます。



#### ★ポイント 2本のコネクタが交差したときは

2本のコネクタが交差した場合は、一方のコネクタが他方のコネクタを飛び越します。飛び越し方向は、「選択図形」タブの「飛び越し方向-水平方向/垂直方向/しない」で選択します。※飛び越し方向は、「コネクタ属性の変更」ダイアログボックスの「経路のスタイル」でも変更できます。

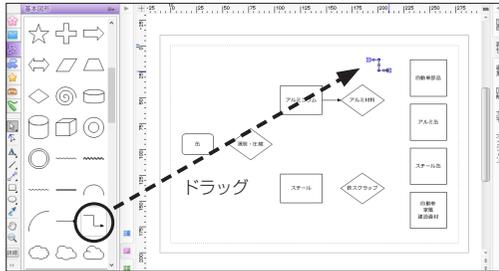
▶ P.51 ★ポイント コネクタの種類や方向、矢印のスタイルを変更する



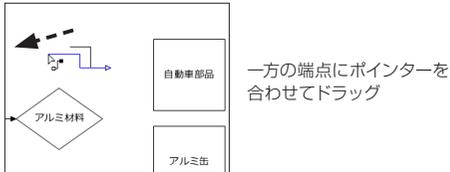
飛び越し

### 3 カギ型コネクタでつなぐ

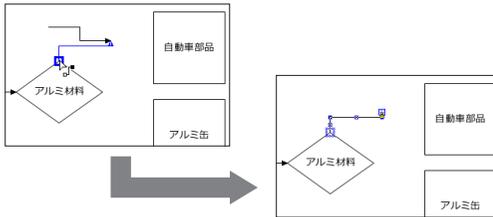
1. 基本図形の一覧から、カギ型コネクタを呼び出します。



2. 呼び出したコネクタの一方の端点にポインターを合わせ、ポインターが  になったら、マウスのボタンを押し、つなぎたい図形までドラッグします。

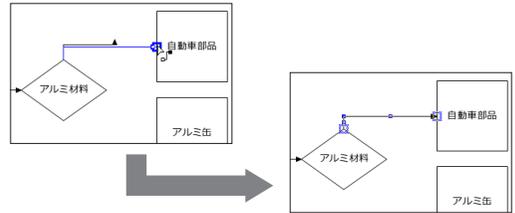


3. 図形の線上で、青色の  マークが表示される位置でマウスのボタンを離します。  
1つめの図形とコネクタが繋がれます。



4. 同様にして、もう一方の端点を、2つめの図形までドラッグしてつなぎます。

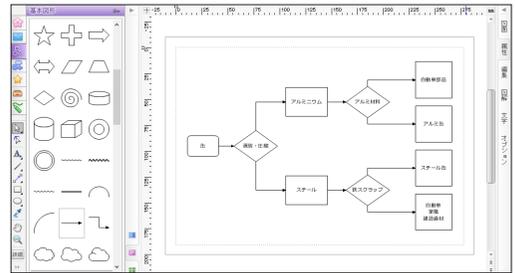
カギ型コネクタは、つなぐ図形の位置関係によって、最適な形状に変化します。



#### カギ型コネクタの形状を調整する

カギ型コネクタの両方の端点や、線分の中点にある青色の  や  をドラッグすると、コネクタの形状を調整できます。

5. 操作 **1** ~ **3** - **4**. を繰り返し、残りの図形も直線コネクタ、カギ型コネクタでつなぎます。



#### ★ポイント コネクタの種類や方向、矢印のスタイルを変更する

対象のコネクタを選択し、右クリックして表示されるメニューから [コネクタの変更] を選択します。コネクタの種類や方向、矢印のスタイルなどを変更できます。  
オフセットを設定すれば、コネクタの始点・終点と図形との間に距離をとることができます。  
※コネクタの矢印の方向やスタイルは、[選択図形] タブの [属性変更] やカラースタイルパレット [線] シートの矢印でも変更できます。



## 手順6. クイックスタイルで色・スタイルを決める

図形・文字の入力が完了したら、図形や文字に色を設定します。

花子では、線・塗り・文字色・図形効果を組み合わせたスタイル(クイックスタイル)を用意しています。ワンタッチで高品質な仕上がりにできます。

### 1 スタイルを選択する

#### 1. 対象の図形を選択します。

##### 複数の図形を選択する

[Ctrl]キーを押したまま図形の線上をクリックするか、対象にする図形の一部が掛かるように範囲をドラッグします。

▶ P.37 図形の選択方法

#### 2. [ホーム] タブで [クイックスタイル] をクリックします。

クイックスタイルの一覧が表示されます。

※クイックスタイルが [ホーム] タブの右端に見えないときは、 をクリックすると、続きのメニューが表示されます。



##### クイックスタイルに用意されている色・スタイル

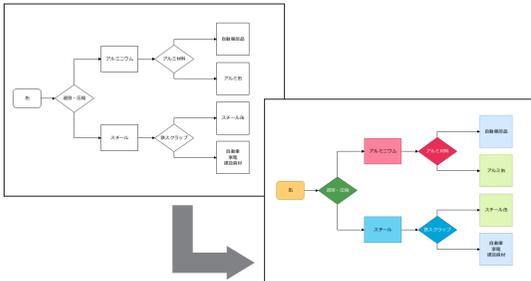
次の色・スタイルが用意されています。[色]・[スタイル]の  をクリックし、一覧を切り替えます。

- 色: 標準・フレッシュ・シック・ブルー・グリーン・レッド
- スタイル: シンプル・光沢・パターン・透過

#### 3. 組み合わせのサンプルを参考に、図形に適用したいスタイルをクリックします。

図形に、選択したスタイルが反映されます。

#### 4. 操作1.~3.を繰り返し、残りの図形の色も設定します。



### 2 スタイルを調整する

クイックスタイルで適用したスタイルは、あとから部分的に変更できます。対象の図形を選択し、[ホーム] タブの機能を利用します。

※クリップウィンドウの [属性] シートにあるクイックスタイルパレットでも同じことができます。

▶ P.31 クリップウィンドウの使い方、P.33 クイックスタイルパレット



#### ● 線幅を変える (①)

 [線幅プラス] または  [線幅マイナス] をクリックします。0.1mm単位で太さが変わります。※ [線幅] で太さを確認・設定できます。

#### ● 点線や破線、線なしなどに変わる (②)

[線種] をクリックし、一覧から種類を選択します。

#### ● 文字サイズを変える (③)

 [文字サイズプラス] または  [文字サイズマイナス] をクリックします。2ポイント単位でサイズが変わります。

※ [文字サイズ] で大きさを確認・設定できます。

#### ● 色合いを調整する (④)

 [カラースキーマ] をクリックします。

▶ P.63 カラースキーマで色を変える

#### ● 図形効果を調整する／まとめて解除する (⑤)

[図形効果] をクリックし、[ドロップシャドウ] など、調整する効果を選択します。

[すべて解除] を選択すると、テキストチャ塗りも含め図形効果をすべて解除します。

## 手順7. 保存・印刷する

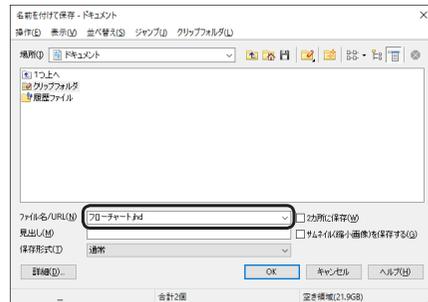
作成した図に名前を付けて保存し、印刷します。 ▶ **花子ヘルプキーワード** 図面の保存、印刷

### 1 保存する

1. **[ファイル-名前を付けて保存]** を選択します。  
[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

保存する場所を変更したいときは、[場所]の▼をクリックして、保存するフォルダーを選択します。

2. **[ファイル名/URL]** に、ファイル名を入力します。  
必要に応じて**[見出し]**を入力します。  
ファイルの内容がわかるような見出しを入力しておけば、ファイルを開くときに便利です。



3. **OK** をクリックします。  
作成した図が、設定した名前で保存されます。  
▶ P.54 ★ポイント [バックアップ] 画面が表示されたときは

#### ★ポイント 保存した図面を開く

保存した図面は、**[ファイル-開く]**を選択し、表示された一覧から開くファイルを選択します。花子ファイル以外の他形式のファイルを開く場合は、**[ファイル-他形式の保存/開く]**を選択します。 ▶ **花子ヘルプキーワード** 花子で扱える形式

#### ★ポイント GIFやJPEGなどの画像ファイルを開く

GIFやJPEGなどの画像ファイルを使いたいときは、**[ファイル-他形式の保存/開く-画像・イメージデータを開く]**を選択します。**[ファイル-開く]**を選択し、**[ファイルの種類]**の▼をクリックして、一覧から**[イメージファイル]**を選択しても、画像ファイルを開くことができます。イメージ枠・画像枠のどちらで挿入するかは、オプションパレットなどで切り替えることができます。  
※マルチコンテンツウインドウの**[画像]**シートからも、画像ファイルを図面に挿入できます。

▶ **花子ヘルプキーワード** イメージ読込

#### ★ポイント いろいろな保存方法

##### ● 選択した図形だけを保存する

保存したい図形を選択し、**[ファイル-一部保存-選択図形]**を選択します。花子形式以外の形式でも保存することができます。  
▶ **花子ヘルプキーワード** 一部保存

##### ● GIFやJPEGなどの画像ファイル(イメージ)として保存する

画像ファイル(イメージ)の形式にしたい図形を選択し、**[ファイル-他形式の保存/開く-画像・イメージデータで保存]**を選択します。このコマンド以外にも、画像ファイル(イメージ)として保存する機能がいくつかあります。詳しくは、ヘルプをご覧ください。

画像ファイル(イメージ)の形式で保存すると、ほとんどのアプリケーションで、イメージになったデータを利用できます。  
▶ **花子ヘルプキーワード** イメージ保存

##### ● 文字だけを保存する

テキストファイルにしたい文字枠を選択し、**[ファイル-一部保存-文書]**を選択します。  
▶ **花子ヘルプキーワード** テキスト保存

##### ● PDF形式で保存する

PDF形式で保存すると、花子のない環境でも、Adobe® Reader® などのPDFファイル閲覧ソフトで、花子で作成した図面を見ることが出来ます。**[ファイル-PDF保存]**を選択します。

▶ **花子ヘルプキーワード** PDF

## 2 印刷する

1. [ファイル印刷] を選択します。
2. [プリンタ名] に、使用するプリンター名が表示されているか確認します。  
変更するときは、[プリンタ名] の  をクリックして、プリンター名を選択します。



### 使用しているプリンター名がないときは

[プリンタ名] の  をクリックしても、使用しているプリンター名がないときは、使用しているプリンターを登録します。  
※プリンターの登録方法は、使用しているOSによって異なります。  
詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

3. 印刷する部数などを確認し、**OK** をクリックします。  
印刷が実行されます。

### ★ポイント [バックアップ] 画面が表示されたときは

インストール直後の設定では、図面を終了するたびに自動的に図面のバックアップが作成され、10回前までのバックアップがバックアップの履歴として管理されます。

バックアップを作成するタイミングや回数など、バックアップに関する設定を変更するときは、**[バックアップの設定]** をクリックします。

また、図面を保存した際に [バックアップ] 画面を表示しないようにするときは、[次回から表示しない] をオンにします。

▶ [花子ヘルプキーワード] バックアップ履歴

### ? 困った 正常に印刷できないときは

使用しているプリンター名が、[ファイル印刷] の [設定] シートの [プリンタ名] に表示されていることを確認します。  
変更したいときは、[ファイル印刷] の [プリンタ名] の  をクリックして、使用するプリンター名を選択します。**OK** をクリックすると、印刷が実行されます。

印刷に関するトラブルや対処方法について、花子のヘルプにまとめています。必要に応じて参照してください。

▶ [花子ヘルプキーワード] 印刷のトラブル

### ★ポイント 縁なし印刷をする

縁なし印刷に対応したプリンターを使用している場合は、マージン(余白)を0にした、縁のない印刷ができます。先に、プリンターのプロパティを縁なし印刷できる設定に変更します。そのあと、花子の [ファイル-図面スタイル (用紙の設定)] で、マージン(余白)の設定を変更します。

縁なし印刷するための設定は、プリンターによって異なります。詳しくは、プリンターのマニュアルやヘルプをご覧ください。

▶ [花子ヘルプキーワード] 縁なし印刷

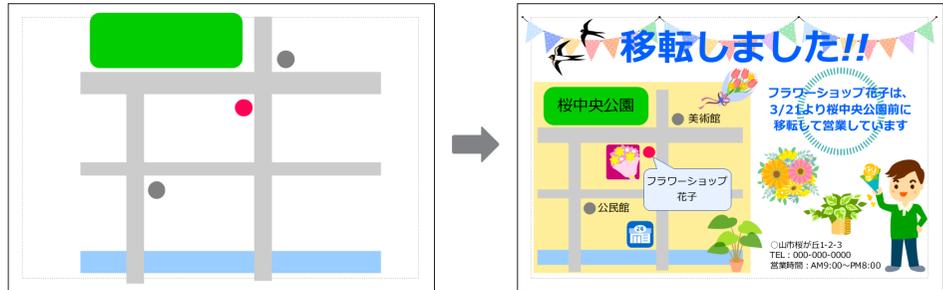


# 部品を活用して簡単な地図を作る

基本図形を利用した作図に慣れたら、豊富な部品をアクセントにして、簡単な地図を作成し案内文に仕上げてみます。

部品は、一部を切り出したり、色を調整したりするなど、編集して利用することもできます。

▶ P.63 部品を編集して利用する

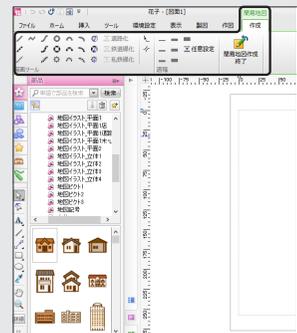


## 手順

- |   |                   |                     |  |
|---|-------------------|---------------------|--|
| 1 | 用紙サイズを決める         | ▶ P.56              | 図面スタイル                                   |
| ▼ |                   |                     |  |
| 2 | 地図の下地を作る          | ▶ P.56              | マルチコンテンツウィンドウ [基本図形]<br>[ホーム] タブ [図形の属性] |
| ▼ |                   |                     |  |
| 3 | 目印やアクセントの部品を呼び出す  | ▶ P.57              | マルチコンテンツウィンドウ [部品]<br>拡大縮小   移動          |
| ▼ |                   |                     |  |
| 4 | 説明文を付ける           | ▶ P.58              | 文字入力   文字付き図形                            |
| ▼ |                   |                     |  |
| 5 | タイトルや飾りを配置して、仕上げる | ▶ P.61              | 図形上下<br>[ホーム] タブ [文字の属性]                 |
| ▼ |                   |                     |  |
| 6 | 保存・印刷する           | ▶ P.53 手順7. 保存・印刷する |  |

### ★ポイント 簡易地図作成モードで地図を描く

花子で図面を作成するときの編集モードの1つに、「簡易地図作成」があります。簡易地図作成のモードでは、簡易地図作成用の描画ツールが表示され、 [部品] シートに地図作成に便利な部品一覧が表示されます。道路や鉄道線などを接続しながら描画したり、道幅に合わせた橋や道しるべを付けたりできます。[ツール] タブで「簡易地図作成」をクリックして編集モードを切り替えます。元の編集モードに戻るときは、「簡易地図作成」タブの「簡易地図作成終了」をクリックします。※メニューとツールバーのインターフェースでは、ツールボックスの [簡易地図作成] をクリックして編集モードを切り替えます。 [通常編集] をクリックすると、元の編集モードに戻ります。



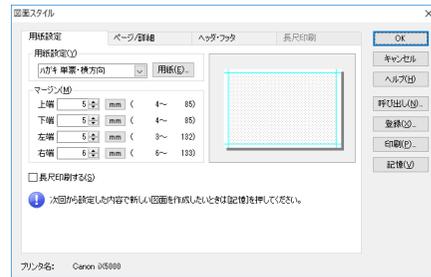
## 手順1. 用紙サイズを決める

はじめに、使用する用紙サイズを決めます。ここでは、ハガキの横置きに設定します。

### 1 用紙を選択して、マージン(余白)を設定する

マージンは、プリンターの設定値内で調整します。

- ▶ P.44 操作 1 用紙を選択する
- ▶ P.44 操作 2 マージン(余白)を設定する

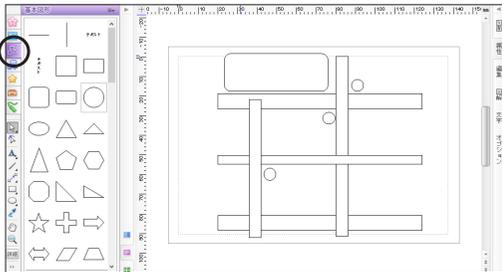


## 手順2. 地図の下地を作る

基本図形を使って、地図の下地になる道路や区画・領域を作図します。  
あとから地図を縮小してサイズ調整するので、用紙いっぱいに作図してかまいません。

### 1 図形を呼び出し配置する

1. マルチコンテンツウィンドウの [基本図形] シートから図形を呼び出し、図形のサイズや位置を調整します。  
ここでは、長方形・丸め長方形・円を使用しています。  
▶ P.45 手順2. 基本図形を呼び出す、P.47 手順3. サイズや位置を調整する



### 2 色を付ける

1. 色を付ける図形を選択します。  
複数の図形を選択する場合 ▶ P.52 複数の図形を選択する

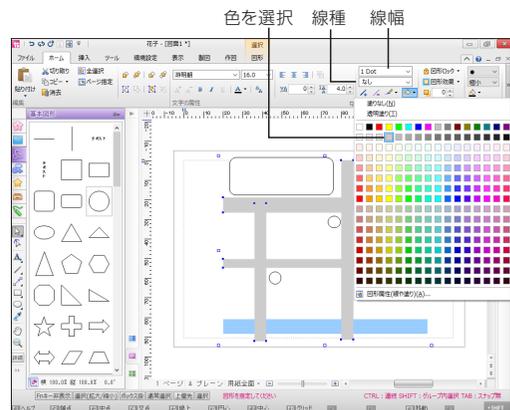
### 2. 図形の線と塗りを設定します。

[ホーム] タブで、線種・線幅・線色・塗り色などを設定できます。

ここでは、線種は「なし」、塗りはベタ塗りのまま色だけ選択します。

※クリップウィンドウを表示して、カラースタイルパレットの[線]シート・[塗り]シートでも設定できます。

- ▶ P.31 クリップウィンドウの使い方、P.33 カラースタイルパレット



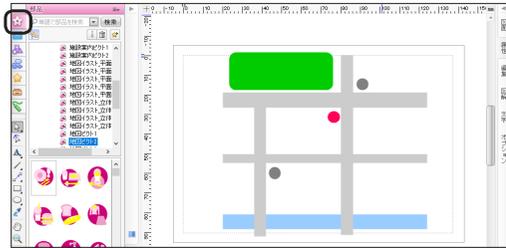
3. 操作1.~2.を繰り返し、すべての図形に色を付けます。
4. 編集画面上の図形のない部分をクリックし、図形が何も選択されていない状態にします。

## 手順3. 目印やアクセントの部品を呼び出す

部品を使って、目印やアクセントなどを入れます。部品を配置できたら、地図全体のサイズや位置を調整し、用紙上での配置を整えます。▶[花子ヘルプキーワード] 部品-呼出

### 1 部品を呼び出す

1. マルチコンテンツウィンドウの  [部品] シートのタブをクリックします。部品一覧が表示されます。
2. 部品ファイルを選択します。  
ここでは、[地図・国旗] の [地図作成-地図ピクト2] をクリックします。

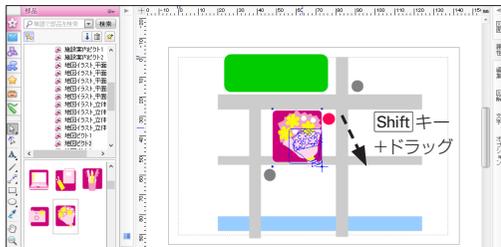


#### 部品を検索する

キーワードを入力して、全部品ファイルの中から該当する部品を検索できます。[部品] シートの [単語で部品を検索] にキーワードを入力し、**検索** をクリックします。

▶[花子ヘルプキーワード] 部品-検索

3. 部品をクリックして呼び出し、配置したい位置までドラッグします。
4. 部品の四隅の  マーク上にポインターを合わせ、ポインターが  などに变化したら、[Shift] キーを押したままドラッグしてサイズを調整します。  
▶P.47 図形を相似形に拡大縮小する



5. 編集画面上の、図形の無い部分でクリックします。

### 2 別の部品ファイルの部品を使う

1.  [部品] シートのフォルダー一覧で、[店舗・広告] の [不動産-不動産ピクト] を選択します。



2. 操作 **1**-**3**~**5**.と同様にして、部品を呼び出し、サイズと位置を調整します。  
地図に合わせて、部品ファイルを切り替えます。

部品が回転して呼び出される／違う大きさで呼び出される

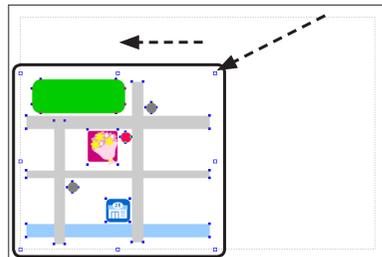
▶P.68 部品に関するよくある質問

### 3 地図全体を縮小し、移動する

1. シンプルツールバーの  [図形の選択(拡大/縮小)] が選択されていることを確認します。
2. 地図全体を囲むようにして、範囲を指定します。

[ホーム] タブの [全選択] をクリックしても、地図全体を選択状態にできません。

3. 地図の四隅の  マークのどれかにポインターを合わせてドラッグし、サイズを調整します。  
地図全体が縮小されます。
4. 地図全体が選択された状態のまま、ドラッグして位置を調整します。



サイズを調整したら、そのままドラッグして移動

## 手順4. 説明文を付ける

目印や場所に関する説明文を付けます。ここでは、図面と図形の両方に文字を入力します。また、文字を入力したあとで、文字サイズやフォントなどを整えます。

### 1 図面上に、目印などの名称を入力する

図面に文字を入力するときも、マルチコンテンツウィンドウの [基本図形] シートを利用できます。

1. マルチコンテンツウィンドウの  [基本図形] シートのタブをクリックします。
2. 基本図形の一覧から「横書きテキスト」を選択して、図面に配置します。

#### 図面に文字を直接入力する

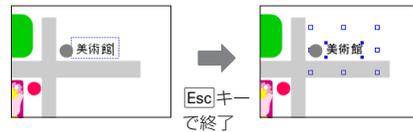
シンプルツールバーの  [横組文字枠作成] /  [縦組文字枠作成] をクリックし、図面をクリックします。文字枠が表示されるので、文字を入力します。

3. 文字枠が選択された状態のまま、文字の上をクリックします。  
文字枠が開きます。



4. **Delete** キーや **Backspace** キーで文字を消し、目印などの名称を入力します。

5. 入力できたら、**Esc** キーを押します。  
文字枠が閉じ、文字入力できる状態が終わります。



6. 操作2.~5.を繰り返し、残りの名称も入力します。

#### X,Yなどと表示された座標表示を消す

▶ P.21  **ポイント** 数値コマンド入力ウィンドウを消すには

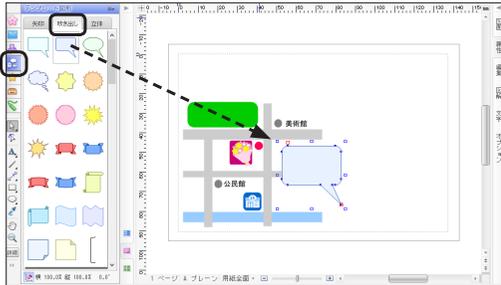
#### ★ポイント 指定した位置を基準に図面を拡大して見る

指定した位置を基準に図面を拡大して表示するときは、シンプルツールバーの  [ズームイン・アウト] を利用します。シンプルツールバーで  をクリックし、拡大表示したい位置でクリックします。クリックした位置を中心にして、図面が拡大表示されます。右クリックすると、縮小表示されます。

なお、マウスのホイールを利用して、マウス位置を中心にして拡大や縮小表示することができます。**Ctrl** キーを押したまま、ホイールを奥側へ回転すると拡大、手前側へ回転すると縮小表示されます。

## 2 吹き出しなどに文字を入力する

1. マルチコンテンツウィンドウの [テンプレート図形] シートで [吹き出し] シートをクリックし、丸め長方形吹き出しを呼び出します。



2. 吹き出しのサイズや位置を調整します。

▶ P.47 手順3. サイズや位置を調整する

3. 吹き出しの赤い □ マークをドラッグし、吹き出し口の位置を調整します。

▶ P.27 ★ポイント 編集ポイントを利用して、傾きや長さなどの形を調整する



4. 吹き出しが選択された状態で文字を入力します。入力できたら [Esc] キーを押し、文字枠を閉じます。

▶ P.49 操作 2 図形に文字を入力する



文字を入力できないとき ▶ P.49

文字がにじんで見える／指定したフォントと字形が違って見える ▶ P.49

5. ほかの図形を選択し、同様に文字を入力します。

### ★ポイント 文字をまとめて入力する

長い文章など、文字をまとめて入力するときは、文字入力ウィンドウを使用すると便利です。また、エディターなどで文字だけのデータを作成していた場合は、そのファイルを利用することもできます。[ファイル-挿入 読込-文書] を選択して、花子にテキストファイルを挿入します。なお、内容が多く1ページに収まらない場合は、2ページ目以降に続けて挿入されます。

※文字入力ウィンドウは、インストール直後の状態では最小化されています。▶ P.23 文字入力ウィンドウとサムネイル

### ? 困った 文字付き図形を拡大縮小しても、文字サイズが変化しない

文字付き図形など、図形と文字をいっしょに拡大縮小しても文字サイズが変化しないときは、[文字と枠サイズを連動させる] がオンになっているか確認します。

オンなのに変化しないときは、文字属性を解除して文字枠スタイルの設定を有効にしてください。

▶ [花子ヘルプキーワード] 文字属性

### 3 文字サイズやフォントを整える

1. 文字枠、または文字を入力した図形を選択します。
2. [ホーム] タブで、フォントや文字サイズを変更します。

※カラースタイルパレットの [文字] シートやフォントパレットでも変更できます。

- ▶ P.31 クリップウィンドウの使い方、P.33 カラースタイルパレット、P.34 フォントパレット

3. 操作1.~2.を繰り返し、すべての文字を整えます。



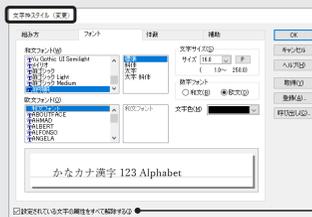
#### ★ポイント 文字サイズやフォント(文字枠スタイル)を整える

文字枠全体のフォントや文字サイズなどは、「文字枠スタイル」として、文字枠ごとに設定します。文字枠を新しく作成するときは、文字を入力する前に、[ホーム] タブの [文字の属性] にある  [文字枠スタイル] をクリックします。表示された画面の左上に [文字枠スタイル(入力)] と表示され、これから入力する文字サイズやフォント、字間・行間などを設定できます。作成済みの文字枠スタイルを変更するときは、設定を変更する文字枠を選択してから右クリックし、メニューから [文字枠スタイル] を選択します。表示された画面の左上には [文字枠スタイル(変更)] と表示されます。文字単位で変更した文字サイズなどの設定を解除して、文字枠スタイルの設定に戻すこともできます。

##### ●文字枠スタイル(入力)



##### ●文字枠スタイル(変更)



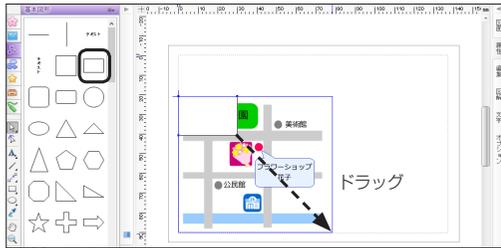
オンにすると、部分的に変更した設定を解除して、文字枠スタイルの設定に戻る

## 手順5. タイトルや飾りを配置して、仕上げる

地図が完成したので、案内のタイトルや飾りを配置して仕上げます。

### 1 地図を枠で囲む

1. マルチコンテンツウィンドウの  [基本図形] シートで、長方形を選択し、図面へ配置します。
2. 長方形の四隅の  マークのどれかをドラッグし、地図が隠れる大きさまで拡大します。

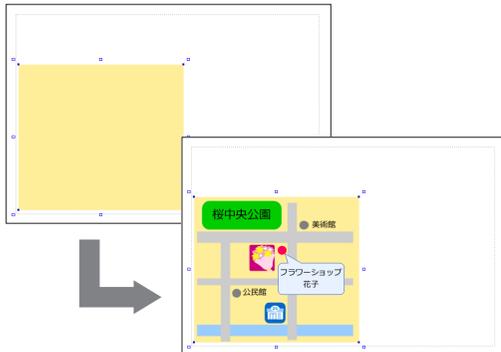


3. [ホーム] タブなどで、線・塗りを設定します。
4. 丸め長方形上で右クリックし、表示されたメニューから [図形上下-最下] を選択します。  
※下になっている図形が1つだけの場合は、[図形上下-1つ下] でもかまいません。

#### 塗りを設定していない図形を選択する

塗りを設定していない図形をクリック操作で選択するときは、線上をクリックします。  
右クリックしてメニューを表示するときは、図形を選択状態にしてから右クリックします。

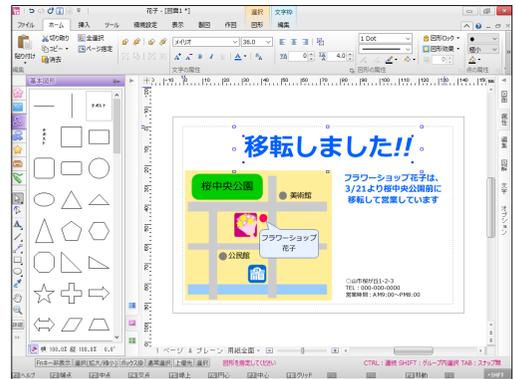
図形の上下が入れ替わり、隠れていた図形が見えるようになります。



5. 編集画面上的、図形のない部分でクリックして、選択状態を解除します。

### 2 お知らせの案内文や飾りを配置して仕上げる

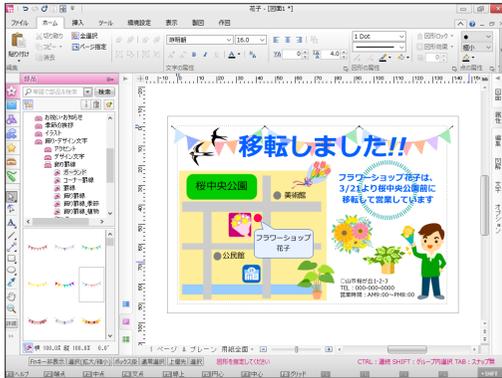
1. P.58の操作 **1**-1.~5.と同様にして、お知らせの案内文を入力します。
2. [ホーム] タブなどで、文字サイズやフォント・文字色を整えます。



文字サイズが小さいときは、文字枠を選択して [ホーム] タブの  4.0  [行間] の値を狭くします。間延びした感じが少なくなります。

### 3. 飾りの部品を呼び出し、サイズを調整して配置します。

▶ P.57 操作 ① 部品を呼び出す



すべての調整が完了したら、作成した地図を、名前を付けて保存しておきます。

▶ P.53 操作 ① 保存する

#### ★ポイント POP文字やエフェクト文字、モジグラフィでタイトルを作る

POP文字・エフェクト文字を使って、文字にフチ取りや影・ぼかしを付けたり、変化させたりして、効果的なタイトルを作ることができます。文字を簡単に加工できるよう、さまざまなテンプレートも用意されています。

また、モジグラフィを使えば、自由変形・光彩・ドロップシャドウなどを組み合わせたテンプレートを使ってインパクトのあるタイトルにできます。

[挿入] タブの [タイトル文字] をクリックし、[POP文字/エフェクト文字/モジグラフィ] を選択します。

▶ [花子ヘルプキーワード] POP文字、エフェクト文字、モジグラフィ

●POP文字



●モジグラフィ



●エフェクト文字



[例] 上記案内文タイトルをPOP文字に差し替えた場合



#### ★ポイント 写真や図形効果を活用する

写真や図形効果などを使うと、さらに見栄えが変わります。花子のいろいろな機能を使って、見栄え良く仕上げます。

また、より多くの情報へアクセスできるように、QRコードを入れることもできます。

写真の挿入方法については、P.69で紹介しています。

▶ [花子ヘルプキーワード] ドロップシャドウ、ぼかし、線のオフセット、ラフ化、領域塗り、QRコード



# 部品を編集して利用する

花子部品は、色や組み合わせる図形を変えるなど、自由に編集して利用できます。

## カラースキーマで色を変える

色違いにしたり、部分的に色を変えたりするときは、カラースキーマを使います。カラースタイルパレットで色の変更ができる、すべての図形種類の色を調整できます。

▶ [花子ヘルプキーワード] カラースキーマ

ここでは、「表」の「ランキング表2」に登録されている「アイコン2\_1位」で色違いを作ります。

### 1 カラースキーマを表示する

1. 図面に部品を呼び出し、色を変えたい部品を選択状態にします。

▶ P.57 操作 1 部品を呼び出す

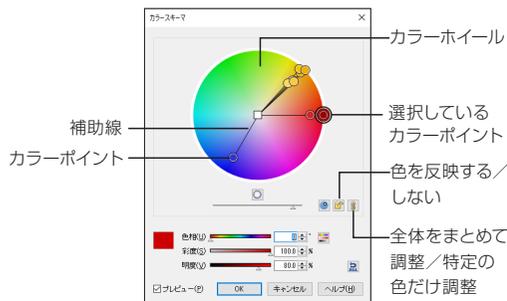


2. [ホーム] タブで [カラースキーマ] をクリックします。

カラースキーマの画面に、部品から抜き出された色がカラーポイントとして表示されます。

※カラースキーマが [ホーム] タブの右端に見えないときは、[>>] をクリックすると、続きのメニューが表示されます。

※クイックスタイルパレット・カラースタイルパレットの [カラースキーマ] も同じ機能です。



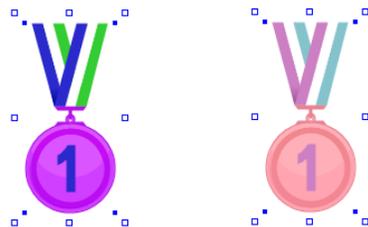
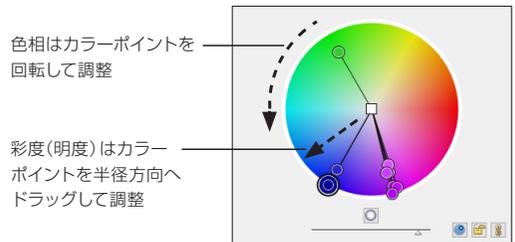
※周囲が太く表示されたカラーポイントが、現在選択されているカラーポイントです。

### 2 色をまとめて調整する

1. まとめて調整するので、[すべてのカラーポイントを連動させる] になっていることを確認します。クリックするたびに、[全体をまとめて調整する] / [個別調整] が切り替わります。



2. カラーポイントをドラッグし、色を調整します。色相を変更するときは回転方向に、彩度(または明度)を調整するときは半径方向にドラッグします。※ [色相] / [彩度] / [明度] で調整することもできます。



#### 色相だけ、または彩度(明度)だけを変更する

[色相] を [色相] にします。または [彩度/明度] のときに、補助線をクリックしてドラッグするか、[Shift] キーを押したままカラーポイントをドラッグします。

### 3 特定の色だけを調整する

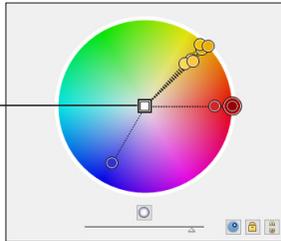
次に、白色の部分だけを別の色にしてみます。  
 なお、白色・黒色は、カラースキーマの画面を表示した時点で、自動的に色を反映しない設定になります。色を反映する設定に変更してから調整します。

1.  をクリックして、 【選択したカラーポイントだけを変更する】にします。  
 クリックするたびに、 /  が切り替わります。



2. 白色のカラーポイントをクリックします。  
 色を反映しない設定のときは、カラーポイントは□の形で表示されています。

カラーポイントが□の形の色は、変更内容が反映されない設定



3. 選択したカラーポイントの色に変更内容が反映されるように、 【色を反映する】にします。  
 クリックするたびに、 /  が切り替わります。



4. 白色のカラーポイントをドラッグし、色を調整します。

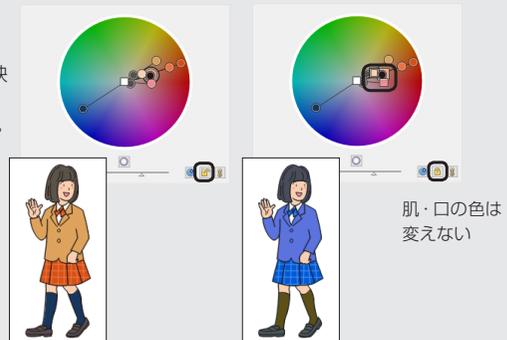


#### 黒色文字など、黒色の色を変更する

カラーホイールを  【彩度で表現】にしているときは、色を反映する状態にしたあと、【明度】を高くしてから色相などを調整します。

#### ★ポイント 特定の色だけ、変更内容が反映されないようにする

白黒やグレー、人物の肌色など、元の色をそのまま使いたいときは、変更しない色のカラーポイントを個別に選択し、 【色を反映する】をクリックして  【色を反映しない】にします。カラーポイントの形が○から□に変わり、色が反映されない設定になります。



## グループ化された部品の一部を切り出す

部品の多くは、部品を構成する図形をひとまとめで扱えるように「合成」や「グループ化」して登録されています。グループ化された部品は、グループ内の図形を直接選択して編集できます。

▶ [花子ヘルプキーワード] 部品-編集、グループグループ化

ここでは、「表」の「ランキング表1」に登録されている「ランキング表7」を使います。

### 1 図形の種類を確認する

部品の編集方法は、図形の種類に応じて異なります。編集を始める前に、部品の図形の種類を確認します。

#### 1. 図面に部品を呼び出し、部品が選択された状態にします。

▶ P.57 操作 1 部品を呼び出す  
点線枠で表示された場合は、グループ化された部品です。それ以外の場合は、P.66の方法で種類を確認します。



### 2 部品を編集する

グループ化を解除する必要はありません。グループ内の図形を直接選択して編集できます。

#### 1. シンプルツールバーの [図形の選択(拡大/縮小)] をクリックし、目的の図形上でクリックを繰り返し、目的の図形だけを選択します。

グループ図形は、図形上でクリックを繰り返すと、グループ全体→個々の図形...のように図形の選択状態が移ります。

※複数の合成図形がグループ化されているなど、目的の図形上でクリックを繰り返しても図形を選択できない場合は、合成を解除してから編集します。



グループ全体が選択された状態



グループを構成する図形に選択が移る

#### 2. ここでは、[Delete] キーを押して図形を削除します。

#### 3. 同様に、残りの図形も選択して削除します。



#### グループ内の図形を直接選択する

[図形の選択(拡大/縮小)] のときは、[Shift] キーを押したまま目的の図形をクリックします。

[作図] シートなどの [図形の選択(グループ内選択)] を利用すると、クリックした図形がすぐに選択状態になります。

#### グループ化を解除する

部品を選択して、[ホーム] タブの [グループ解除] をクリックします。

#### ★ポイント 複数の図形をまとめて扱う機能、「合成」と「グループ化」の違い

- 合成……合成を解除するまでは、1つの図形として扱い、図形の一部だけの選択・編集はできません。例えば、線や塗りを変更すると、すべての線・塗りが変更されます。また、合成できる図形の数やサイズに上限があります。
- グループ化……グループ化を解除しなくても、直接個々の図形を選択して編集できます。また、グループ化を解除しても、個々の図形の属性はそのまま保たれます。図形の数やサイズにも制限はありません。グループは階層化できるので、グループ化した図形に、別の図形やグループをさらにまとめることができます。



合成/合成の解除  
グループ化/グループ解除

## 合成を解除して部品を編集する

図形の種類が「合成図形」の場合は、合成を解除してから編集します。図形の種類が「塗りつぶし」の場合は、複数の図形が連結して塗りつぶしされているのを解除します。

▶「花子ヘルプキーワード」合成、連結塗り

ここでは、「表」の「ランキング表2」に登録されている「アイコン1\_1位」を使います。

### 1 図形の種類を確認する

1. 図面に部品を呼び出します。  
▶ P.57 操作 1 部品を呼び出す
2. 部品上で右クリックし、表示されたメニューから「図形情報(位置とサイズ)」を選択します。  
メニューの「図形情報(位置とサイズ)」が淡色で表示されて選択できない場合は、グループ図形です。
3. 左上の、図形の種類を確認します。



### 2 合成を解除する

合成図形の場合は、合成を解除します。

1. シンプルツールバーの「図形の選択(拡大/縮小)」をクリックし、合成を解除する部品を選択します。
2. 「ホーム」タブで「合成の解除」をクリックします。  
部品の合成が解除されます。



### 3 個々の図形を編集する

1. シンプルツールバーの「図形の選択(拡大/縮小)」をクリックし、編集する図形を選択します。
2. 不要な図形の削除や塗りの調整などをします。  
編集が完了したら、図形をひとまとまりで扱えるよう、[ホーム] タブの「グループ化」でグループ化や「合成」で合成しておきます。



#### ★ポイント 「塗りつぶし」図形の連結塗りを解除する

図形の種類が「塗りつぶし」の場合は、連結塗りを解除して、個々の図形の状態に戻します。対象の部品を選択したら、[作図] タブの「連結塗り/解除」をクリックします。連結して塗りつぶすが解除され、塗りが付いた個々の図形に分かれます。

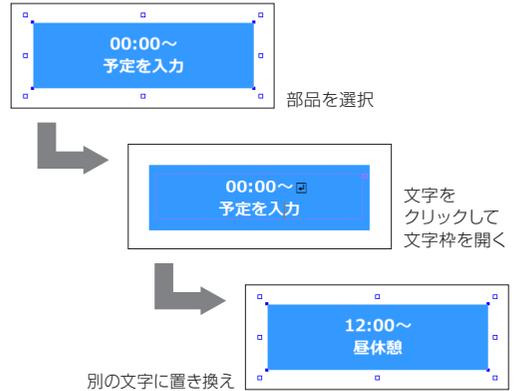


## 文字付き図形の文字を変えて活用する

部品の中には、数字などの文字を入れ替えて利用できるものがあります。文字付き図形になっている部品の場合は、別の数字や文字に置き換えて利用します。

※数字などの文字部分がアウトライン化された図形データの部品もあります。

1. 図面に部品を呼び出し、部品が選択された状態にします。
2. 部品上の文字部分をクリックします。  
クリックした部分が文字データの場合は、文字枠が開きます。
3. 別の数字や文字に置き換えます。
4. **[Esc]** キーを押して、文字枠を閉じます。

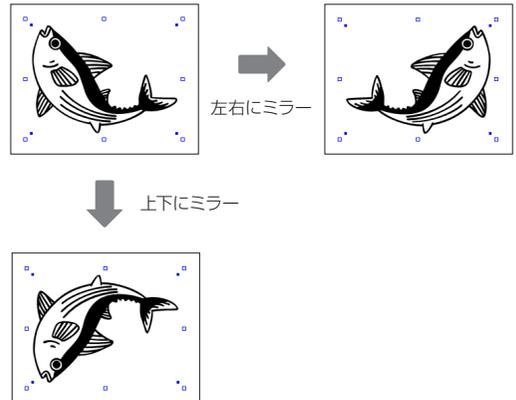


## ミラー機能を活用する

図形領域の中心を通る垂直線、または水平線を軸として、左右・上下に図形を移動できます。左右・上下が対称になる部品を作りたい場合に利用します。

▶ **[花子ヘルプキーワード]** ミラー

1. 図面に部品を呼び出し、部品が選択された状態にします。
2. **[選択図形]** タブの **[上下にミラー]** / **[左右にミラー]** をクリックします。  
部品が上下、または左右対称な位置に配置されます。



### 自由な方向にミラーを実行する

**[作図]** タブの **[ミラー]** を選択すると、自由な方向にミラーを実行できます。

また、元図を残してミラーを実行することもできます。

## 部品に関するよくある質問

**Q** 部品や図形が回転して呼び出される／  
違う大きさで呼び出される

**A** [部品] シートなどの下部にある  [選択部品  
の縮尺で呼出] の設定を確認します

 のように、ボタンが押された状態(オン)のときは、  
図面上で最後に選択した部品\*1 と同じ拡大縮小率・  
回転角の設定で呼び出されます。

部品ファイルに登録されているとおりの大きさ・角度  
で呼び出すときは、 をクリックして  (オフ: ボタ  
ンが押されていない状態) にします。

※[部品] シート右上部の  をクリックしてメニューから [部品呼出  
設定] を選択し、[選択部品の縮尺で呼出] でオン/オフを切り替  
えるのも同じです。

\*1 マルチコンテンツウィンドウの [基本図形] ・ [テンプレート図形]  
シートの図形も部品に含まれます。



ボタンの右横に表示されている、  
拡大縮小率・回転角を確認

**Q** 作成した図形や編集した部品を、オリジナル  
部品として登録して利用したい

**A** 部品ファイルを指定し、 [部品に登録] を  
クリックします

オリジナル部品を登録するときは、新しく部品ファイル  
を作成しておくと、部品の管理がしやすくなります。

1. [部品] シートで、登録する部品ファイルが選択  
されていることを確認します。

※登録の操作途中で、新しい部品ファイルを作成することも  
できます。

2. 図面上で、部品として登録したい図形や部品を  
選択します。

3. [部品] シートの  [部品に登録] をクリックし  
ます。

[部品登録] ダイアログボックスが表示されます。

4. [部品名] を入力し、**OK** をクリックします。

※[部品登録] ダイアログボックスで  [部品ファイル作成] をクリッ  
クすると、新しい部品ファイルを作成して部品を登録できます。

 [部品に登録] をクリックする前に、シート右上部の  [メ  
ニュー] をクリックし、メニューから [部品ファイル新規作成] を選択す  
るのも同じ機能です。

**Q** 部品一覧で部品をクリックすると、図面上の  
部品や図形が置き換わってしまう

**A** 図面上で何も選択されていない状態にして  
から部品や図形をクリックします

インストール直後は、部品の一覧をクリックすると、  
図面上に部品が呼び出される設定になっています。  
このため、図面上で部品や図形が選択されていると、  
クリックした部品や図形とすぐに置き換わります。

● 部品一覧をクリックしても、図面上の選択図形と置  
き換わらないようにするには

部品一覧をクリックしても部品や図形が呼び出さ  
れないように、動作を変更します。

1. [部品] シートを表示し、部品一覧の上で右クリ  
ックします。

2. 表示されたメニューから、[一覧をクリックした  
ときの動作-選択部品を変更] を選択して、  
チェックマーク(  ) が付いた状態にします。

動作の変更後は、部品一覧から、選択した部品を  
図面までドラッグするか、選択した部品の上で2回  
クリックして呼び出します。

● クリック操作で、部品を連続して呼び出すには

部品一覧でクリックした部品を連続して呼び出し  
たい場合は、部品を挿入するときに、選択図形と  
置き換わらないように動作を変更します。

1. [部品] シートを表示し、シート右上部の  [メ  
ニュー] をクリックします。

2. 表示されたメニューから、[挿入時に選択図形  
と置換] を選択して、チェックマークが付いてい  
ない状態にします。

**Q** 配布する冊子やチラシ・ホームページなどに、  
花子の搭載部品・イラストを使用することは  
できるか

**A** 製品の使用許諾契約書に記載の、「●フォ  
ント及びクリップアート」の「<クリップアート>」  
項を参照してください

# 写真を効果的に使う

花子の図面には写真を利用できます。写真を効果的に使うと、お知らせなどがより具体的で見栄えのよい作品に仕上がります。

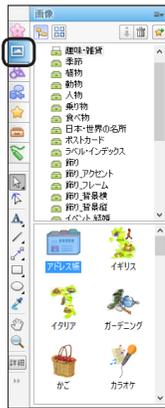
※写真を使う場合は、あらかじめ写真のデータをパソコンのハードディスクにコピーしておきます。

## 1 [画像]シートを表示する

写真などの画像ファイルは、マルチコンテンツウィンドウの[画像]シートから呼び出します。

1. マルチコンテンツウィンドウの[画像]シートのタブをクリックします。

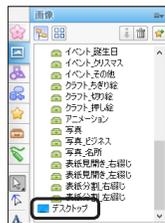
※インストール直後は、花子イメージフォルダが表示されます。



## 2 挿入する写真を選択する

写真のデータをコピーした場所を、画像一覧のフォルダーに表示します。

1. フォルダー一覧のスクロールバーを下方へ移動し、[デスクトップ]をクリックします。
2. [PC]、または[ドキュメント]をクリックし、写真のデータをコピーした場所をたどります。選択したフォルダーにある画像が、シート下部の画像一覧に表示されます。



### ピクチャにコピーしている場合

[画像]シートの[メニュー]をクリックし、[ショートカットフォルダを表示-マイピクチャフォルダを表示]を選択します。画像一覧に、ピクチャにある画像が表示されます。

3. 画像一覧から、花子の図面に挿入したい写真を選択します。

写真が図面に挿入され、[イメージ枠のサイズ指定]ダイアログボックスが表示されます。

※写真のサイズや設定によっては、サイズ指定の画面は表示されません。表示されなかった場合は、P.70の操作4へ進みます。

▶ P.69 ★ポイント 写真などの画像ファイルを挿入する際のサイズ指定

## 3 表示サイズ(縦横)を決めて挿入する

解像度の高い画像をそのまま挿入すると、用紙からはみ出してしまうことがあります。ここでは、図面上での表示サイズを決めて挿入します。

1. [横]・[縦]に、( )の範囲でサイズを直接入力します。  
[横]または[縦]に数値を入力すると、もう一方も連動して、相似形になる値が入力されます。

縦横のサイズを印字領域に収まるサイズにする場合は、[印字領域サイズ]をオンにします。



### ★ポイント 写真などの画像ファイルを挿入する際のサイズ指定

写真などを挿入する際に、表示サイズを指定する画面を表示するかしないかなどは設定できます。[画像]シートの、[メニュー]をクリックし、メニューから[挿入時のサイズ指定オプション]を選択します。一定の大きさ以上のときにだけ、サイズ指定の画面を表示する設定にもできます。

## 2. [解像度]が[推奨(200dpi)]になっていることを確認します。

特に問題がない限り、[推奨(200dpi)]にしておくことをお勧めします。携帯電話で撮った写真など、解像度が200dpiに満たない場合は、[最大]を選択します。

## 3. OK をクリックします。

指定した大きさと、写真が図面に挿入されます。ドラッグして、好きな位置に移動します。



## 2. 画像一覧で、挿入したい写真の上でマウスのボタンを押してドラッグし、図面上の任意の位置でマウスのボタンを離します。



## 3. サイズや解像度を確認、または変更して、OK をクリックします。

## 4. ほかに写真を挿入する場合は、操作1.~3.を繰り返します。



# 4 別の写真を挿入する

画像一覧から画像をドラッグすると、任意の位置に挿入できます。

## 1. 編集画面上的図形のない部分でクリックして、何も選択されていない状態にします。

**注意** 画像が選択されたまま、画像一覧をクリックすると、クリックした画像と置き換わってしまいます

### ★ポイント 解像度の設定

デジタルカメラで撮影した写真は、高品質な出力が求められるため、非常に大きな解像度(ピクセル数)でデータが保存されています。解像度を小さくすると、データが間引かれ、その分データサイズは小さくなります。ただし、元の画像に比べて画質が落ちます。花子に写真を挿入するときは[推奨]を選択すると、画質を保って挿入できます。

なお、解像度の高い写真を多数貼り付けている場合、花子の動作が遅くなる、印刷や操作が正しくできないなどの現象が起きることがあります。このような場合は、写真の解像度を下げてどうかお試しください。

※一般のプリンターで出力する際に必要な解像度は、200~300dpi程度です。

### ★ポイント 画像の必要なところだけを切り抜いて挿入する -トリミング-

画像の一部を切り抜いて使いたいときは、「トリミング」を使います。画像一覧の、挿入したい画像の上で右クリックし、表示されたメニューから[トリミングして挿入]を選択します。切り抜く範囲を指定する画面が表示されるので、画面上的の□マークをドラッグして切り抜く範囲を指定します。▶[花子ヘルプキーワード] トリミング

# 写真を修整する ～花子フォトレタッチ～

花子の図面にイメージ枠として貼り付けた画像ファイル(イメージ)は、花子フォトレタッチを使って編集できます。うまく撮れなかった写真の修整や、飾り・効果を加えてインパクトのある写真に上げることができます。▶[花子フォトレタッチヘルプ](#) 写真や画像を修整する・加工する

## 明るさを調整する

ここでは、自動的に最適な明るさにする方法を紹介します。明るさを手動で調整する方法もあり、選んだ方法によって結果は変わります。思ったような明るさにならなかった場合は、ほかの方法を試してみてください。▶[花子フォトレタッチヘルプ](#) 暗い写真を明るくする/明るさの調整

### 1 写真を選択して、花子フォトレタッチの画面にする

1. 挿入した写真の上でダブルクリックします。  
花子フォトレタッチの画面になり、選択した写真が表示されます。



#### 花子フォトレタッチを単独で起動する

- ▶ P.12 ★ポイント 花子フォトレタッチを起動する

### 2 明るさを調整する

1. [画像-色-自動明るさ補正] を選択します。  
すぐに明るさが調整されます。



思ったような結果にならなかったときは、次の方法を試します。  
画面上部の [取り消し] をクリックして、直前の状態に戻してから操作をやり直します。

- 明暗のバランスを自動的にコントロールするフラッシュをたかずに撮影した暗すぎる写真など、全体的に暗い写真のバランスを調整します。

1. [画像-自動レベル補正] を選択します。  
すぐに実行されます。  
※写真によっては、変化のない場合もあります。

#### ? 困った コマンド名やツールバーのアイコンが淡色で表示されて選択できない

機能によっては、編集する領域を範囲選択しないと、メニューやアイコンを選択できないものがあります。範囲選択してどうか確認します。

また、花子フォトレタッチでは、画像の色数がフルカラーのデータを前提に機能が構成されています。このため、画像の色数が256色・16色・モノクロの場合、一部の機能は利用できません。画面左下に [×1 256色 640×480ドット] などと表示されている部分の色数を確認し、[フルカラー] 以外になっている場合は、画像をフルカラーに変換します。[画像-画像の色数] を選択して [色] で [フルカラー] を選択し、確認メッセージが表示されたら **OK** をクリックします。必要に応じて、フルカラーのパレットが扱えるように、[ツール-カラーパレット編集-ファイル選択] で、[基本パレット] を読み込みます。

● 色を変えたサンプルから選ぶ

1. [画像-色-バリエーション(色み)] を選択します。
2. [調整部分] で、調整する部分を選択します。  
[調整量] で、変化させる量も調整できます。
3. [現在の画像] を参考に、[明るく] または [暗く] をクリックします。



調整前の状態に戻りたいときは、[元の画像]のサンプルをクリックします。

4. 必要に応じて、[明るく] または [暗く] のクリックを繰り返します。
5. 調整が完了したら、OK をクリックします。

3 花子フォトレタッチを終了して花子に戻る

1. [ファイル-花子フォトレタッチの終了] を選択します。  
花子の画面に戻り、修整したデータが図面上の写真に反映されます。

★ポイント 花子フォトレタッチで修整したデータを別に残す

花子フォトレタッチ上で、[ファイル-名前を付けて保存] を選択し、元の写真とは別の名前にして保存しておきます。デジタルカメラで撮影された写真の多くはJPEG形式です。JPEG形式は、ファイルサイズを抑えることができますが、画質を落としてデータを圧縮するため、保存を繰り返すと画質が悪くなります。保存を繰り返さないようにします。なお、データの画質を落とさない場合は、PNG形式が最適です。  
※デジタルカメラで撮影した写真を花子フォトレタッチで上書き保存すると、デジタルカメラの撮影情報(Exif)は失われます。オリジナルの撮影情報を残しておきたい場合は、編集した画像に別の名前を付けて保存します。

★ポイント 部分的に写真を修整する/範囲を選択するツールのいろいろ

部分的に写真を修整する場合は、先に範囲を指定してから各機能を使います。範囲を部分的に選択するツールには、次の4種類があります。▶[花子フォトレタッチ利用ガイド] 範囲を選択する

[長方形選択]



ドラッグした長方形を範囲にします。

[自由選択]



ドラッグした範囲の内側を範囲にします。

[多角形選択]



クリックした点を結んだ直線の内側を範囲にします。  
※簡易レタッチモードの場合、[自由選択] を2回クリックして、[多角形選択] を選びます。

[同色選択]



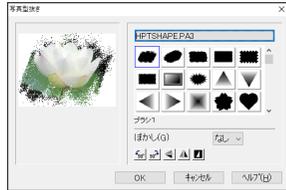
同じ色の領域を範囲にします。  
※上記の例では、複数の範囲を追加しています。

## 写真を修整する、そのほかのテクニック

### ●写真を決まった型で抜く

雲やハートなど、決まった型で写真を切り抜くことができます。[画像-写真型抜き]を選択します。型の縁をぼかして型抜きすることもできます。▶[花子フォトレタッチ利用ガイド] 写真に飾りをつける  
また、[画像-変形-レンズ]を使って正円に型抜きしたり、選択範囲パレットで [透明]をクリックして楕円に型抜きしたりできます。

#### ●写真型抜き

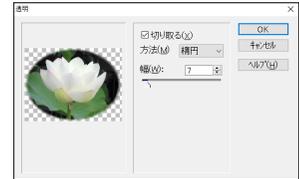


#### ●レンズ



※[ひずみ]を「1」にし、[緑を切り取る]をオンにします。

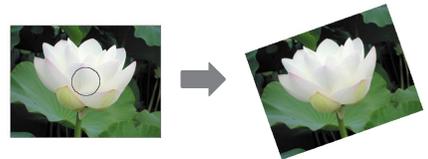
#### ●透明



※[切り取る]をオンにし、[方法]で[楕円]を選択します。[幅]で縁をぼかす量を調節できます。

### ●自由な角度で回転する

選択した範囲を、自由な角度で回転できます。回転したい範囲を指定したあと、選択範囲パレットの [回転]や [数値で拡大縮小/回転]を選択して任意の角度に回転します。



なお、これらの機能で画像全体を回転した場合、余白が足りずに画像の縁が切れてしまうことがあります。[画像-画像のサイズ]で領域を広げておくか、[画像-自由回転]を使います。

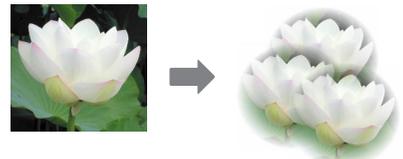
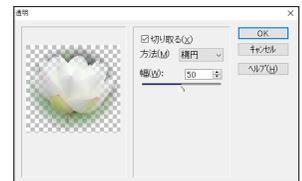
※ツールバーの [左へ90度回転]や [右へ90度回転]でも90度単位で、画像全体を回転できます。

### ●写真全体、または輪郭をぼかす/透明

写真全体、または写真の一部や輪郭を透明にすることができます。別の画像ファイルを開いておき、透明を実行した直後の画像をドラッグして重ねると、下の画像が透けて見えるようになります。選択範囲パレットの [透明]をクリックします。

▶[花子フォトレタッチ利用ガイド] 写真の風合いを変える

※レイヤーパレットの [透明] を使って、重ねた画像を透かした状態にすることもできます。



透明にした画像を重ね合わせる

### ●そのほかのテクニック

花子フォトレタッチ利用ガイドや花子フォトレタッチヘルプでは、次の使い方についても説明しています。

- ・点線で描画する ▶[花子フォトレタッチヘルプキーワード] 点線
- ・透過した状態で貼り付ける ▶[花子フォトレタッチヘルプキーワード] 透過して貼り付け
- ・画像や写真をぼかす ▶[花子フォトレタッチヘルプキーワード] ぼかす(透明)
- ・電線や看板などを写真から消す ▶[花子フォトレタッチ利用ガイド] 電線や看板などを写真から消す
- ・写真にかぶった色を取り除く ▶[花子フォトレタッチ利用ガイド] 写真にかぶった色を取り除く
- ・文字を入力する ▶[花子フォトレタッチ利用ガイド] 文字のいろいろ

# 花子で描いた図形を ほかのアプリケーションで使う

花子で作成した図は、一太郎やPowerPoint®などの製品に貼り付けて利用できます。これらの製品では、花子の図形を編集できる図形として貼り付けることができます。▶[花子ヘルプキーワード] 連携

## クリップボードを使った連携

花子の図形をクリップボードにコピーする場合、通常のコピーと画像形式だけをコピーする方法があります。画像形式でコピーしたデータを貼り付けた場合、編集することはできませんが、花子で作図した見た目に近い状態を再現します。

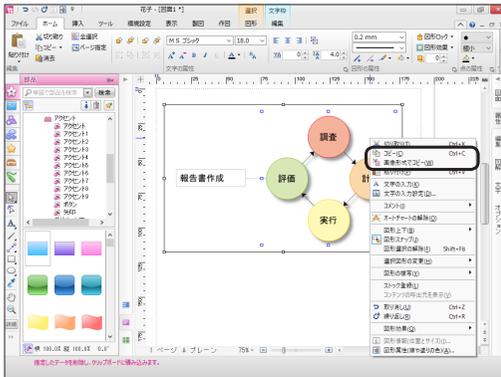
### PowerPoint 2007とデータをやりとりする場合

データをコピーする前に、データの変換方法を、Microsoft® Office 2007で追加された形式に切り替えて利用します。[環境設定] タブで [オプション] をクリックし、[操作環境-他形式変換] で、次の項目を変更します。

- [Microsoft Office 描画オブジェクトを作成する] を [しない] に設定する
- [Microsoft Office グラフィックオブジェクトを作成する] を [する] に設定する

## 1 クリップボードにコピーする

1. シンプルツールバーの  [図形の選択(拡大縮小)] をクリックし、花子で作成した図形を選択します。
2. 右クリックして表示されるメニューから [コピー] を選択します。  
図形効果を設定しているなど、見た目の状態を優先する場合は、[画像形式でコピー] を選択します。クリップボードに図形がコピーされます。



## 2 ほかのアプリケーションに貼り付ける

1. 一太郎、またはPowerPointなどを起動します。

**!** 注意 図形の種類や属性によっては、ほかのアプリケーションに花子のデータを貼り付ける際に、一部制限があります

データの変換方法を調整したほうがよい場合があります。  
▶[花子ヘルプキーワード] データの変換方法

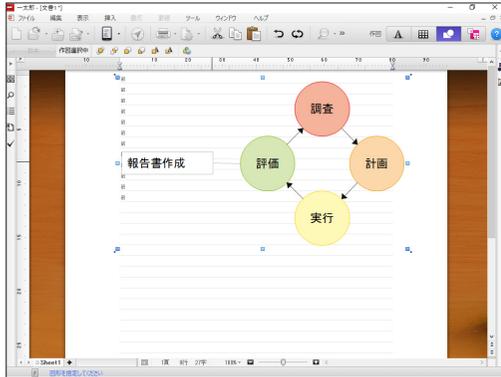
2. 一太郎、PowerPointなどで、右クリックして表示されるメニューから [貼り付け] を選択します。各製品で編集できる図形として貼り付けられます。[画像形式でコピー] で図形をコピーしていた場合は、画像形式で貼り付けられます。

**?** 困った Excelなどに貼り付けると、線種・線幅などの表示が変わる

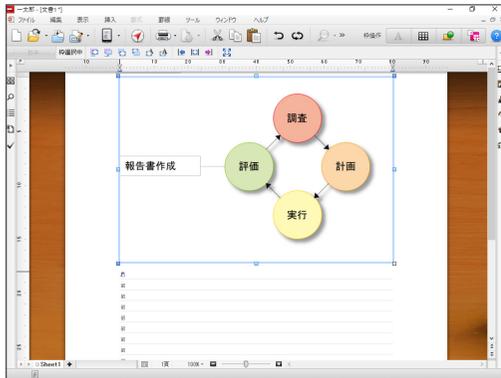
▶ P.78

●一太郎2021の場合

…作図データとして貼り付け

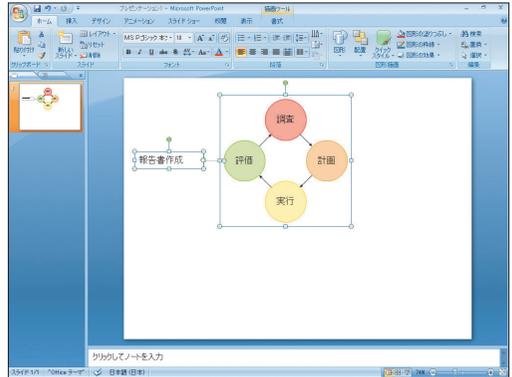


● [画像形式でコピー] でコピーした図形を、一太郎2021に貼り付けた場合

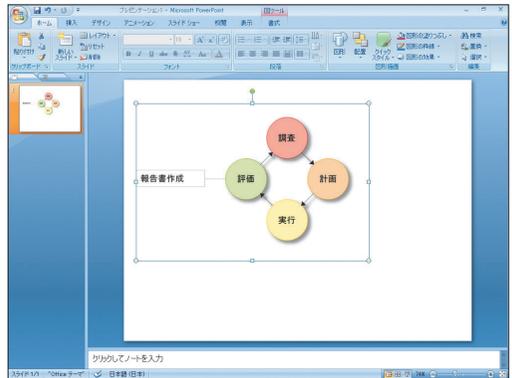


●PowerPoint 2007の場合

…Microsoft Officeの図形として貼り付け



● [画像形式でコピー] でコピーした図形を、PowerPoint 2007に貼り付けた場合



？困った 一太郎に貼り付けると「簡易作図では扱えない図形が含まれています」とメッセージが表示された

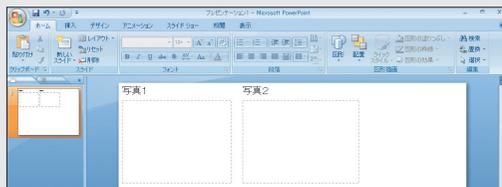
画像枠やオブジェクト枠が含まれている場合に表示されます。そのまま貼り付けたいときは、一太郎で [編集-形式を選択して貼り付け-形式を選択] を選択して、花子図面オブジェクトなど、データの形式を選択してから貼り付けます。

？困った 画像枠・グラフ枠を含むデータがPowerPointなどMicrosoft Office製品に貼り付けられない

花子に挿入した画像枠・グラフ枠などを複数個指定していた場合は、Microsoft Office製品で表示できる形式には変換できません。この場合、グレーの点線枠で表示されます。Microsoft Office製品でも見た目を同じにしたい場合は、1つずつ貼り付けるか、データをコピーする際に画像形式でコピーしてから貼り付けます。

▶ [花子ヘルプキーワード] PowerPointに枠が貼り付かない

●そのまま貼り付けた場合



●画像形式でコピーしたデータを貼り付けた場合

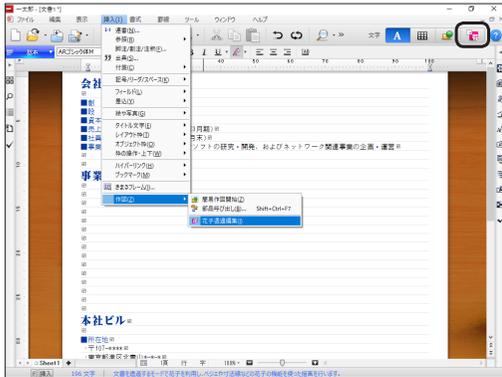


# 一太郎で花子の機能を利用する -花子透過編集-

一太郎と花子が同じ環境にインストールされている場合は、花子透過編集の機能を使って、一太郎上で花子の機能を使うことができます。一太郎の文書を表示したまま、花子の機能を使えるので、図形と文書のバランスを見ながら編集することができます。

## 1 花子を透過編集モードで起動する

1. 一太郎を起動し、[挿入-作図-花子透過編集] を選択します。



透過編集モードで花子が起動します。

次のアイコンをクリックしても、透過編集モードで花子が起動します。

- ツールバーの [花子透過編集]
- [作図] ツールパレット [作図] の [花子透過編集]
- ツールボックスの [花子透過編集] など

※画面タイプによっては、表示されないアイコンがあります。

## 2 花子で作図し、一太郎に反映する

1. 透過編集パレットが表示されていることを確認します。



### ? 困った 花子図面を一太郎のシートとして追加した場合

花子図面を一太郎のシートとして追加した場合、追加した花子図面シートでは、次の機能が制限されます。

- メニューとツールバーのインターフェースで表示されます。リボンインターフェースでは表示できません。
- マルチコンテンツウィンドウ・クリップウィンドウは表示されません。部品や画像などを利用するときはコンテンツパレットを、作図や編集をするときはカラースタイルパレットや図形変形パレット・位置合せパレットなどを使います。[表示-パレット] を選択し、コンテンツやカラースタイルなどのパレットを図面に呼び出します。

### 透過編集パレットが表示されていないときは

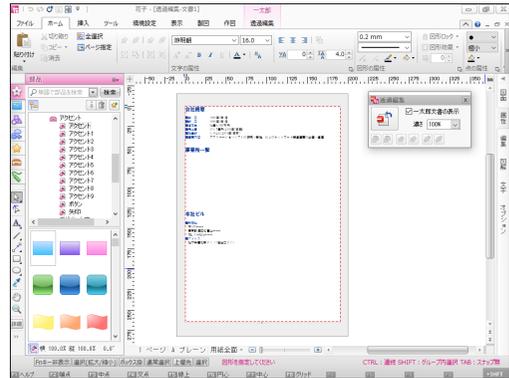
透過編集パレットは、画面右側のクリップウィンドウから呼び出します。パレットレイの をクリックし、メニューから [透過編集] を選択します。

※メニューとツールバーの場合は、[表示-パレット-透過編集] を選択するのと同じ機能です。

▶ P.32 ★ポイント パレットの使い方

2. 透過編集モードで図を作成・編集します。

一太郎文書に反映できるのは、1ページの赤色点線枠内にあるデータです。グレーの領域は、用紙に対し、透過編集の対象にならない領域です。グレーの領域にかかった図形は、赤色点線枠内に収まるよう移動します。

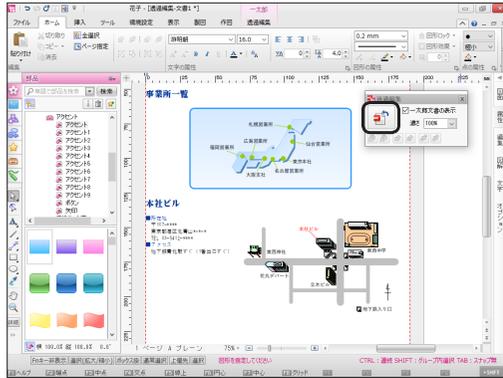


### 一太郎文書の表示を淡くして、花子の作図を見やすくする

透過編集パレットの [濃さ] で、透過編集中的一太郎文書の表示を淡くできます。10%が最も淡い状態です。見やすい濃さを選択します。

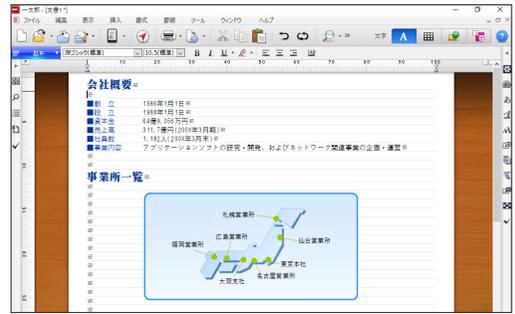
**3. 作成・編集が完了したら、透過編集パレットの [花子を終了して一太郎に戻る] をクリックします。**

編集結果を反映するかしないかを確認するメッセージが表示されます。



**4. はい をクリックします。**

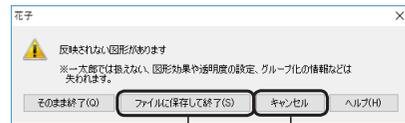
花子が終了し、花子で作成・編集した図形が、一太郎の文書に反映されます。



一太郎に反映されない図形が含まれている場合は、「反映されない図形があります」とメッセージが表示されます。

**5. 透過編集モードに戻る場合は キャンセル をクリックし、データを修正します。**

作図したデータを花子形式で保存してから一太郎に戻る場合は、[ファイルに保存して終了] をクリックします。花子形式で保存したあと、反映できるデータだけが一太郎文書に反映されます。



作図したデータを花子形式で保存して一太郎に戻る

透過編集モードに戻って編集を継続

**！ 注意** 一太郎文書に反映されないデータがあります

図形効果は、花子図形の状態で一太郎文書には反映できません。見た目だけでも反映させたい場合は、作図が完了してからイメージデータに変換します。  
[作図] タブの [図形変換] をクリックし、[図形のイメージ化] を選択します。

▶ P.78 ？ 困った 一太郎文書に反映されないデータと対処方法

イメージデータに変換



**★ ポイント** 作図したデータを、一太郎文書の下に表示する

花子で作成した図形は、一太郎文書の下に表示して、背景や飾りのように見せることができます。透過編集パレットの [上下(文書下)] をクリックします。選択した図形が、一太郎文書の下に表示されます。



**? 困った 一太郎文書に反映されないデータと対処方法**

一太郎文書に反映させたいときは、データに応じて次のように対処します。

なお、グループ化した情報やブロック図形・オートチャートなどの図解の情報、コネクタ・寸法線の接続情報、非表示にしているプレーンのデータなども失われますが、一太郎文書に反映する見た目には問題ありません。

詳しくは、表示されたメッセージの **ヘルプ** をクリックして確認します。

▶ **[花子ヘルプキーワード]** 透過編集

一太郎に反映されないデータ	対処方法
グラフ枠/オブジェクト枠のデータ	見た目だけでも反映させたい場合は、それぞれをイメージデータに変換します。 [作図] タブの [図形変換] をクリックし、[図形のイメージ化] を選択します。
図形効果 (ドロップシャドウ・光彩・反射・ぼかし・テクスチャ塗り)	
画像枠のデータ	イメージ枠で挿入しなおします。
参照図形	合成図形にします。 参照図形パレットのパレットメニューで [合成図形化] を選択します。
背景ページのデータ	背景ページのデータを通常ページに移動します。 [ツール] タブの [ページ] をクリックし、[ページの移動] を選択します。

**? 困った Excelなどに貼り付けると、線種・線幅などの表示が変わる**

ExcelなどのMicrosoft Office製品に、花子のデータを花子オブジェクト形式<sup>\*1</sup>で貼り付けると、貼り付けたデータが以下のような場合があります。

- 線の種類や太さが変わる、グラデーションの表示が花子での表示と異なる
- 斜線や円・楕円などで、花子での表示に比べてがたつきが目立つ

このような場合は、花子での設定を変更して、データを貼り付けた結果を確認します。

1. Microsoft Office製品が起動している場合は、終了します。
2. 花子で、[環境設定] タブの [オプション] を選択します。  
※ [メニューとツールバー] の場合は [ツール-オプション] を選択します。  
[オプション] ダイアログボックスが表示されます。
3. 画面左側の [グループ] で [操作環境-他形式変換] を選択して、画面右側の [項目一覧] で [メタファイル形式で貼り付けるときグラデーションを再現する] の設定を、現在、設定されている選択肢とは異なる方に変更します。  
[する] が選択されている場合は [しない] を、[しない] が選択されている場合は [する] にします。  
※ [する/しない] の主な相違点について  
[する] の場合、貼り付けたデータの線種やグラデーションのパターンが花子上と同じような表示になります。  
[しない] の場合、線種やグラデーションの設定は反映されませんが、斜線や円などがより滑らかに表示されるようになります。
4. 設定が完了したら **OK** をクリックします。

このあと、貼り付けたい図形をコピーし、Microsoft Office製品を起動して花子データを貼り付けて結果を確認します。設定を変更しても貼り付けた結果が変わらないときは、Microsoft Office製品に貼り付けた花子データから花子を起動し、編集起動した花子上で設定を変更してどうか確認します。

▶ **[花子ヘルプキーワード]** 線種や線幅などの表示が変わる

\*1 クリップボードにコピーした花子のデータを、花子以外のアプリケーションで [編集-形式を選択して貼り付け] などのコマンドから、[花子図面オブジェクト] として貼り付けたデータです。

この形式で貼り付けた花子データは、ダブルクリックすると同じパソコン内の花子が起動して、貼り付けた図形の編集ができます。

## 索引

## あ

アンインストール	16, 17
位置合せ (パレット)	33, 48
一太郎	74, 75, 76, 78
位置をそろえる	48
移動 (図形・ページ)	24, 39, 47, 48, 57
イメージ枠	53, 69, 71
色	27, 33, 52, 56, 63, 64, 71, 72
印刷	54
インストール	2, 7
インターフェース切り替え	13, 19
エフェクト文字	62
円	27, 30, 56
延長線スナップ	46
大きさ	47, 48, 61, 68, 69
お気に入り	5, 26, 28
オプション	5, 13, 14, 36, 47, 74
オプションパレット	35, 36

## か

回転	30, 33, 68
拡大縮小	33, 47, 48, 59, 68
拡大表示	58
画像 (シート)	26, 69
画像ファイル	26, 53, 69, 71
カタログ表示	24
画面	13, 19, 20, 22
カラスキーマ	52, 63
カラースタイルパレット	27, 33
簡易地図作成モード	55
環境を元に戻す	15
起動	12
起動ガイダンス	13
基本図形 (シート)	27, 45, 50, 56, 58, 61
基本操作	36, 41
旧バージョン	4, 5, 10, 11, 13, 14
クイックスタイル	52
クイックスタイルパレット	33
クリック	36, 45
グリッド	32, 35, 39
クリップウィンドウ	21, 31
グループ	65
検索	26, 57
原点	20
効果パレット	34
合成 (解除)	65, 66
コネクタの変更	27, 30, 50, 51
コンテンツパレット	35, 76

## さ

最小化	23, 25, 31
サイズ	47, 48, 57, 69
削除	4, 11, 16, 17, 24, 46, 48
作図 (シート)	29
座標	20, 21
サムネイル	21, 23
参照図形 (シート)	29
参照図形パレット	35
シート	25, 26, 31
写真	69, 71, 73

終了	14, 42, 72, 77
シリアルナンバー	3, 9
新規作成	44
シンプルツールバー	19, 30
数値コマンド入力ウィンドウ	21, 49
ズーム	30, 58
図解パレット	34, 43
スクロールパレット	32
図形加工パレット	34
図形効果	33, 52, 62
図形削除	46, 48
図形上下	61
図形情報	66
図形選択の解除	47
図形の選択	30, 37, 38, 47, 52, 65, 66
図形の選択方法	29, 35, 37
図形変形パレット	33, 48
図形リストパレット	35
図形を描く	36, 42
図形を選択できない	47
ストック (シート)	5, 28
スナップ	32, 35, 39
スポイト	30
図面切替パレット	32
図面スタイル (用紙の設定)	44
図面パレット	32
図面ファイル	4
切断	48
切断して削除	48
線	27, 33, 52, 56
選択部品の縮尺で呼出	68
操作を取り消す	45

## た

タイトル文字	62
楕円	30
地図	55, 56
長方形	27, 30, 56
直線	27, 30
ツールボックス	5, 14, 22
テキストファイル	53, 59
デジビュー	4
テンプレート図形 (シート)	27, 45, 59
透過編集パレット	76
ドラッグ	36, 46
トリミング	70

## な

名前を付けて保存	53, 72
塗り (つぶし)	27, 33, 36, 37, 52, 56, 66

## は

背景ページ	21
バックアップ	54
花子コンテンツ	4, 10, 18, 26
花子透過編集	76
花子フォトレタッチ	6, 12, 18, 71
パレット	32
パレットメニュー	32
描画	29, 30
描画パレット	19, 30

表示倍率切替	21, 45
開く	53
ファンクションキー表示	21
フォント	18, 33, 34, 49, 60
フォントパレット	34
吹き出し	27, 45, 59
複写 (図形・ページ)	24, 46
縁なし印刷	54
部品	4, 26, 28, 55, 57, 63, 65, 66, 68
部品ファイル	4, 26, 57
プレーン切替	21
プレーンパレット	32
ページ	24
ページ切替	21
編集画面	13, 23, 24, 44
編集ポイント	27, 38
保存	53, 72, 77
ボックス掛	37

## ま

マージン	44, 54
マージンライン	21
マルチコンテンツウィンドウ	20, 25, 44, 45
ミラー	67
メニュー	クリップウィンドウ 31, 32 マルチコンテンツウィンドウ 25, 27, 29, 68, 69 文字入力ウィンドウ/サムネイル 23, 24
メニューとツールバー	19, 22
モジグラフィ	62
文字サイズ	33, 34, 49, 52, 60, 61
文字付き図形	49, 59, 67
文字付き図形パレット	34, 49
文字入力ウィンドウ	21, 23, 24, 59
文字枠	27, 30, 33, 49, 53, 58, 59, 60, 67
文字枠スタイル	60
文字を入力	23, 49, 58
元のサイズに戻す	23, 24, 25, 31

## や

矢印	27, 30, 45
ユーザー登録	12
用紙	13, 21, 32, 33, 44, 48

## ら

リボンインターフェース	19, 20
リボンメニュー	20
連結塗り	66

## わ

ワークスペース	21, 32
---------	--------

## 数字・アルファベット

1図形選択	37
JUSTオンラインアップデート	3, 14
PDF形式	53
POP文字	62
PowerPoint	74, 75
User ID	3, 9, 15

ジャストシステムでは、製品に関するご意見・ご要望を広くお待ちしております。  
今後の製品への参考とさせていただきますので、ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。  
ご意見・ご要望は、下記のジャストシステムホームページで承っております。

<https://www.justsystems.com/jp/contact/ask/>

なお、個別の返答はいたしておりませんので、あらかじめご了承ください。

#### 写真、イラスト、地図などの著作権等に関するお知らせ

～著作物を利用するときは、著作権者の承諾を得ることが必要です。

写真、イラスト、地図などの創作物の多くは著作物として著作権法により保護されています。本製品のご使用に当たり、第三者の権利を侵害することのないよう、ご注意ください。

##### ●複製について

第三者が作成した著作物を、私的使用の範囲を超えて複製したり、送信したりする場合には、著作権者の承諾が必要です。

複製とは、電子的な著作物をコピーする他、出版物に掲載された著作物をスキャナー等で電子化したり、電子化された著作物をホームページのデスクにアップロードするような行為を含みます。

##### ●改変について

同様に、著作物を改変する場合も、著作者や著作権者に確認してください。著作物の内容を変えたり省いたりすることはもちろん、題名を変えたり、写真をトリミングすることも改変にあたります。

##### ●人物の写真には肖像権が発生します

写真に判別可能な人物が撮影されている場合、その写真には肖像権が及びます。人物写真を利用するときは、撮影者の承諾を得るだけでなく、写っている人物からも肖像を利用することへの承諾を得る必要があります。

##### 本製品に組み込まれているクリップアートについて

##### ●イラストに含まれる図記号・マークに関するお知らせ

本製品に含まれる図記号・マーク(JIS規格で定められた記号・地図記号・道路標識・標準案内用図記号等)には、実際にご使用になる際に関連団体の許諾を必要とするものや、使用ガイドラインが定められているものがありますので、改変・頒布行為の可否も含めてお客様の責任で各種関連団体より情報を得てご利用ください。

##### ●その他のご使用条件に関しては、使用許諾契約書をお読みください。

- 「花子2021」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「花子2021」にかかると著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- 「花子」「一太郎」「ATOK」「デジビュー」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPoint、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Photo CD Portion Copyright Eastman Kodak Company,1995
- This application uses the Live Picture Corp.enhanced Toolkit for the FlashPix™ format. FlashPix is a trademark of Eastman Kodak Company. Portions copyright Eastman Kodak Company,1996
- Borland C++ 5.01 32ビット再配布ファイル Copyright © 1987,1997 Borland Software Corporation, All rights reserved.
- 本製品で提供される部品には、Imageline,Inc./International Microcomputer Software,Inc.の著作物が含まれており、これらにかかると著作権などは同2社に帰属します。
- JavaScript 1.2 Compatible Portions © Netscape Communications Corporation 1996, All Rights Reserved.
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- 資料提供 交通エコロジー・モビリティ財団
- QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- Adobe、Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本マニュアル(紙媒体または電子データで提供するものを含みます)は株式会社ジャストシステムが作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社ジャストシステムに帰属します。使用許諾契約書の条項のほか、以下の点も合わせてご確認ください。
  1. お客様は、マニュアルを現状の内容のまま、もしくは編集・修正して、画面上もしくは紙資料として利用することができます。ただし、これを第三者へ提供したり、貸し出しすることはできません。
  2. マニュアルの内容の一部または全部を、株式会社ジャストシステムの書面による許可なく複製、複製して頒布することは、その形態を問わず禁じます。
- マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。

## 花子2021

発行者 関瀬 恭太郎

発行所 株式会社ジャストシステム

〒163-6017 東京都新宿区西新宿6-8-1

住友不動産新宿オークタワー

2021年2月5日第1版発行

©2021 株式会社ジャストシステム



# 花子2021

## 数値コマンド入力のコマンド一覧

数値コマンド入力を利用して、図形を描画することができます。  
図形種類や描画方法は、次のコマンド名を入力して切り替えます。

描画モードを変更するコマンド	
図形種類	コマンド名
選択	SELECT
部分選択	PART
直線	LINE
連続直線	LINES
自由曲線	SPLINE
矢印	ARROW
長方形	BOXRECTANG
正方形	SQUARE
円	CIRCLE
楕円	ELLIPSE
円弧	ARC
点	DOT/POINT
点集合	DOTS

位置指定のモードを変更するコマンド	
位置指定のモード	コマンド名
絶対座標	/A
相対座標	/B
長さ	/L

作図操作のコマンド	
作図操作	コマンド名
線分を閉じる	C
1つ前の状態に戻す	U

形状を変更するコマンド		
図形種類	形状	コマンド名
直線	直線	/BASE
	直線(水平/垂直/斜線)	/FIXED
矢印	終点矢印	/END
	始点矢印	/START
	両端矢印	/BOTH
長方形・正方形	長方形・正方形	/BASE
	面取長方形・面取正方形	/CHAMFER
	丸め長方形・丸め正方形	/FILLET
円	全円	/BASE
	半円	/HALF
	1/4円	/QUART
	円弧	/CIRARC
楕円	全楕円	/BASE
	左右半楕円	/LR
	上下半楕円	/TB
	1/4楕円	/QUART
	楕円弧	/ELLARC

描画方法を変更するコマンド		
図形種類	描画方法	コマンド名
直線・矢印	端点	/EG
	中心	/CE
	点通過	対応していません
	2円接線	対応していません
長方形・正方形	端点	/EG
	中心	/CE
面取長方形・面取正方形	端点	/EG
	中心	/CE
	切り取り長さ	/VAL数値
丸め長方形・丸め正方形	端点	/EG
	中心	/CE
	丸め半径	/VAL数値
	作成データ-通常(ベジエ)	/BEZ
	作成データ-直線+円弧	/ARCLIN
円	中心	/CE
	直径	/2P
	3点	対応していません
	領域	/RG
	作成データ-通常	/CIR
	作成データ-ベジエ	/BEZ
楕円	端点	/EG
	中心	/CE
	領域	/RG
	回転	/TURN
	作成データ-通常	/ELL
	作成データ-ベジエ	/BEZ